



EPSON



マルチメディア・プロジェクター

MULTIMEDIA PROJECTOR

ELP-9000/9000NL/8000/8000NL

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

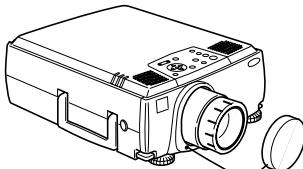
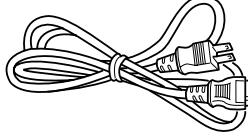
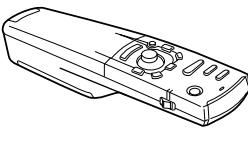
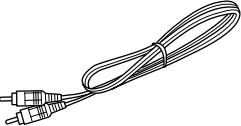
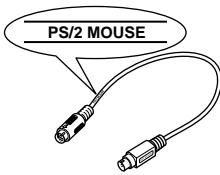
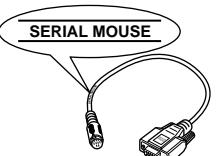
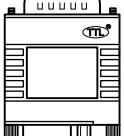
お使いになる前に

安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。読んだ後は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見れる場所に、保証書とともに大切に保存してください。

保証書別添

同梱品の確認

プロジェクターと付属品を箱から取り出し、次のものが同梱されていることを確認してください。万一、不足しているものがあった場合、お手数ですがお買い上げの販売店または「エプソンサービスセンター」までご連絡ください。

・プロジェクター本体 ・ひも付きレンズカバー		・リモコン	・リモコン用乾電池 (単3形アルカリマンガン乾電池LR6)
・電源ケーブル		・コンピュータケーブル	
・A/V ケーブル 黄色		・A/V ケーブル 赤/白色	
・PS/2 マウスケーブル		・シリアルマウスケーブル	
・PC シリアルケーブル		・MAC デスクトップアダプタ	
・クイックリファレンスラベル		・取扱説明書 (本書)	・お客様情報 + 正式保証書発行カード

本書の構成

安全上のご注意、各部の名称と働き	ご使用になる前に
設置方法、スクリーンサイズと投写距離	設置
コンピュータとの接続、投写のしかた、調整のしかた	コンピュータ映像を写す
ビデオ機器との接続、投写のしかた、調整のしかた	ビデオ機器映像を写す
プレゼンテーション時の便利な使いかた	プレゼンテーションを演出する
メニュー画面を使った調整や設定方法	その他の設定
基本的なメニュー画面・メニューの基本操作	メニュー画面の操作
付属されている「Projector Software」の機能や使いかた	Projector Software を使う
投写されない、映像が乱れるなどのトラブルや、困ったときの対処方法	困ったときに
日常のお手入れや保守のしかた、ランプの交換のしかた	メンテナンス
オプション品、運搬方法、用語解説、索引、仕様、保証とアフターサービス	その他

目次



本書の構成	i
目次	ii
特長	v
本書の見かた	viii
ご使用になる前に	1
安全上のご注意	2
各部の名前と働き	6
設 置	13
設 置	14
コンピュータ映像を写す	19
接続できるコンピュータ	20
コンピュータとの接続	23
外部オーディオ機器で音を出す	27
投写する	28
調整する	32
終了する	57

ビデオ機器映像を写す

59



ビデオ機器との接続	60
外部オーディオ機器で音を出す	62
投写する	63
調整する	66
終了する	76

プレゼンテーションを演出する

77



ワイヤレスマウスを使う	78
映像を部分拡大する	81
エフェクト機能を使う	82
ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使う	92
フリーズ機能を使う	94
ユーザー口ゴを投写する	95
ヘルプ機能を使う	102

その他の設定

105



設定メニュー	106
高度な設定メニュー	111
情報メニュー	115
全初期化	116

メニュー画面の操作

119



メニューを使う	120
---------------	-----

Projector Software を使う

127



はじめに	128
コンピュータとの接続	130
インストール	131

困ったときに

143



故障かなと思ったら	144
インジケータを見てもわからないとき	146

メンテナンス

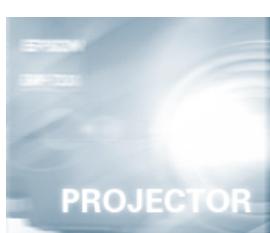
155



本体の掃除・レンズの掃除・エアーフィルタの掃除 ...	156
エアーフィルタの交換	158
ランプの交換	159

その他

163



オプション品	164
輸送方法について	166
用語解説	167
索引	169
仕様	174
保証とアフターサービス	175
国際保証制度	176

くっきり鮮やかな画面

明るさを当社従来製品と比較して大幅にアップしました。
明るいところでも、くっきり鮮やかなプレゼンテーションが可能です。

UXGA対応

新開発の高精細液晶パネルを採用し、VGA～UXGAまでの解像度に対応しています。
BNC入力を装備し、ワークステーション画面も忠実に投写できます。

小型で軽量

小型(17リットル)、軽量(8.3kg)のコンパクトボディーで、持ち運びが簡単にできます。

解像度の自動変換が可能 [参照](#)39ページ

エプソンオリジナル画像圧縮技術DAR(Digital Active Resizing)を採用し、VGA～UXGAまでのコンピュータ信号を、画面いっぱいに投写することができます。

全世界のビデオ信号に対応

NTSC、NTSC4.43、M-PAL、N-PAL、PAL(60Hz)、SECAMと全世界で使われているほとんどのビデオ信号を投写することができます。

ビデオ映像の鮮明さを追求

新クロマ回路の採用により、コンポジットビデオ、Sビデオ入力はもとより、コンポーネントビデオ(色差)や、RGBビデオ入力にも対応し、鮮明なビデオ映像が投写できます。

3Dサウンド(SRS*)機能搭載[参照](#)55ページ

(●)**SRS™**の搭載により、広がりのある3次元ステレオ音声で、プレゼンテーションが可能です。

キーストーン補正機能[参照](#)34ページ

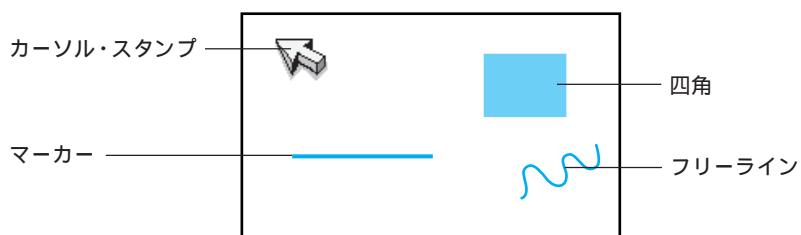
簡単な操作で、投写角度による台形歪みを補正する機能を内蔵しました。

ワイヤレスマウスリモコン装備[参照](#)78ページ

プロジェクターの操作はもちろん、画面のページめくりや映像を拡大するなど、さまざまな機能をワイヤレス操作できます。

プレゼンテーション装飾機能(リモコンのEffectボタン) [参照82ページ](#)

プレゼンテーションを効果的に演出できます。

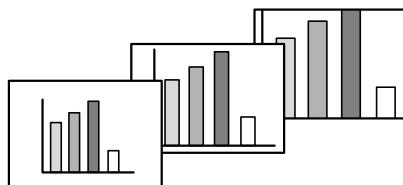


もっと高度な装飾機能を使いたいときは、付属の「Projector Software」をお使いください。([参照127ページ](#))

Eズーム機能(リモコンのE-Zoomボタン)

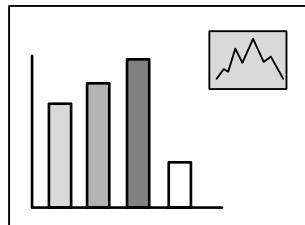
[参照81ページ](#)

映像の拡大ができます。(標準 縦、横のサイズで4倍)



ピクチャー・イン・ピクチャー機能 [参照92ページ](#)

現在表示されているコンピュータ映像の中に、ビデオ映像を子画面として表示することができます。



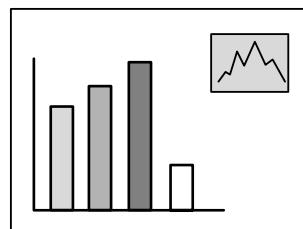
ユーザー口ゴ設定機能^{参照}96ページ

企業ロゴなどを画像から取り込み、スタートアップ時やプレゼンテーションの準備中に写し出すことができます。



レンズシフト機能^{参照}36ページ

投写映像を、台形歪みを起こさず上下に移動することができます。この機能を使うと、2台のプロジェクターを上下に重ねて設置（スタッツ）し、更に明るい映像を投写できます。また、プロジェクターの投写角度を変えなくても簡単に投写位置を調整できます。



本書の見かた

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人の危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

制限
ポイント

説明の追加・覚えていると便利な内容などを記載しています。



説明文が次ページに続くことを示します。



参照ページを示します。



操作手順です。

*

用語解説をご覧ください。(167 ページ ~ 168 ページ)

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに付属品や別売品も含まれる場合があります。

イラストおよびスクリーンサイズと投写距離は、標準レンズを使用したものになっています。

ご使用になる前に

安全上のご注意

2

各部の名前と働き

6

安全上のご注意

本機を安全に正しく使用していただくために、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

⚠ 警告

次のような異常のときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスセンターにご相談ください。



- ・煙が出ている、変な臭い、変な音がする。

・投写されない、音がでない、などの故障状態になった。

・本機内部に水や異物が入った。

・本機を落としたり、ケースを破損した。

そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

サービスマン以外の方は、本機のキャビネットを開けたりしないでください。

また、本機の分解・改造は、絶対にしないでください。

内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。



表示されている電源電圧以外は使用しないでください。

指定以外の電圧を使うと、火災・感電の原因となります。



電源ケーブルは、仕様を確認してください。

電源ケーブルは、販売国の電源仕様に基づき同梱されています。販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧やコンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルをお買い求めください。



破損した電源ケーブルは、使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

また、取り扱いの際は、次の点を守ってください。

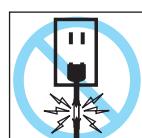
・電源ケーブルを加工しない。

・電源ケーブルの上に重いものを乗せない。

・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。

・電熱器の近くに配線しない。

電源ケーブルが破損したら、販売店またはエプソンサービスセンターに相談してください。



電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。

強い光で、視力障害などの原因となります。小さなお子様のいるご家庭では特に注意してください。



電源プラグ・電源コネクタの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。

取り扱いの際には、つぎの点を守ってください。

- ・たこ足配線はしない。
- ・電源プラグ・電源コネクタはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- ・電源プラグ・電源コネクタは根元まで確実に差し込む。
- ・濡れた手で電源プラグ・電源コネクタの抜き差しをしない。
- ・電源プラグ・電源コネクタを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない。必ず、プラグやコネクタ本体を持って抜く。



本体内部には、レンズやランプなどのガラス部品を数多く使用しています。

万一、部品が割れた際には、破片だけがなどをしないよう取り扱いに注意し、お買い上げの販売店またはエプソンサービスセンターに修理を依頼してください。



本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。



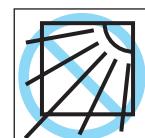
本機の吸気口・排気口から、金属類・燃えやすい物・異物などを差し込んだり、落としたりしないでください。

火災・感電の原因となります。



本機または電池の入ったリモコンを、窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。



⚠ 注意

本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



ぐらついた台の上・傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



小さなお子様の手の届くところには、設置・保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

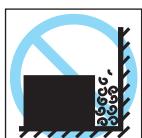


湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような場所には設置しないでください。

- ・押し入れ・本箱の中など、風通しの悪い狭いところ。
 - ・じゅうたん・布団・毛布などの上。
 - ・毛布・カーテン・テーブルクロスのような布をかけない。
- また、壁際に設置する場合は、壁から20cm以上の隙間を開けてください。



連休や旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。



本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線をはずしたことを確認してからおこなってください。
火災・感電の原因となることがあります。



使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。電源を切ってから約60分間経過して、プロジェクター本体が十分冷えてからおこなってください。
・熱で、やけど・けがの原因となることがあります。



乾電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。

- ・種類の違う電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- ・取扱説明書指定の電池以外は使用しない。
- ・電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。
- ・交換時期がきたら、電池をすぐに取り出す。
- ・長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- ・電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まない。
- ・極性(+、 -)を正しく入れる。
- ・もれた液が手などに付着した場合は、すぐに水で洗い流す。

乾電池を廃棄するときは、その地域の回収ルートに従ってください。



お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクタをコンセントから抜いておこなってください。

感電の原因となることがあります。



使用上のご注意

使用温度範囲(+5 ~ +40)以外の環境では、表示が不安定になったり、ファンに負担がかかり、故障の原因となることがあります。

保存温度範囲(-10 ~ +60)以外の環境では、故障したり、ケースが変形することがあります。特に直射日光が当たる場所には長時間放置しないでください。

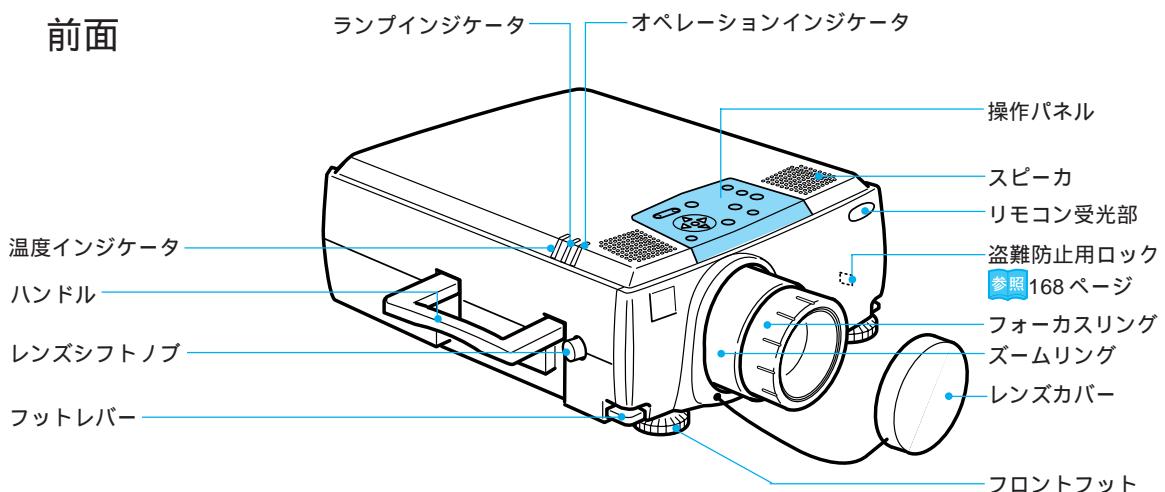
レンズカバーを取り付けたままで投写しないでください。熱でレンズカバーが変形することがあります。

液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素がありますのであらかじめご了承ください。

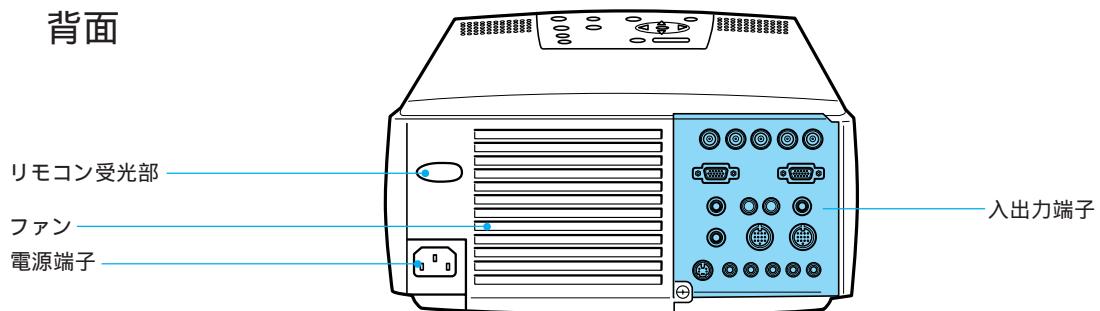
各部の名前と働き

プロジェクター本体

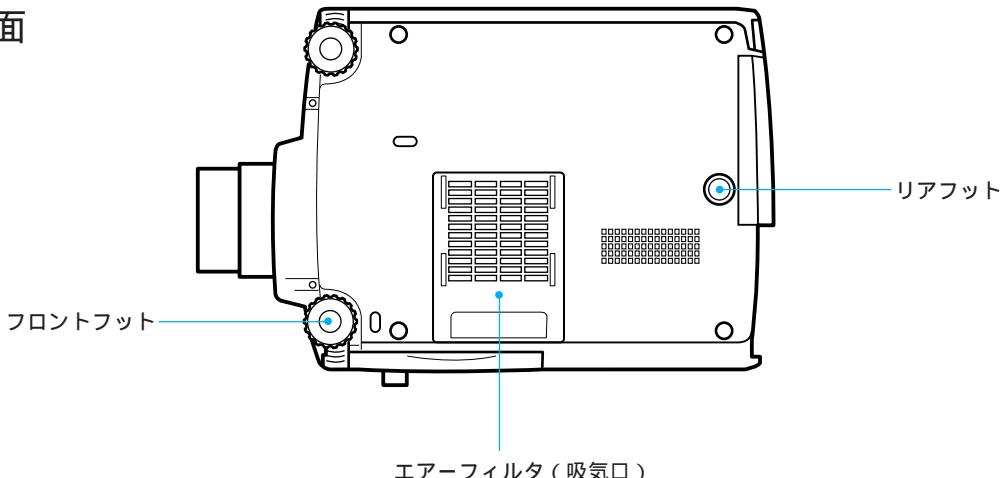
前面



背面



裏面



操作パネル

Help ボタン

[参照 102 ページ](#)

トラブルが起こったときの対処方法を項目別に説明します。困ったときに押してください。

Power ボタン

[参照 29, 57, 63 ページ](#)

電源のON/OFFを切り替えます。

Computer ボタン

[参照 30 ページ](#)

映像を切り替えます。

Computer 1 の映像、BNC (RGB) の映像を切り替えます。

A/V Mute ボタン

[参照 95 ページ](#)

映像と音声を一時的に消します。このときユーザーロゴを投写することもできます。

もう一度押すか、音量を調整すると解除されます。

Resize ボタン

[参照 39, 66 ページ](#)

ウィンドウ表示とリサイジング表示を切り替えます。ビデオ映像入力時はアスペクト比4:3と16:9を切り替えます。

Sync ボタン

[参照 37 ページ](#)

画面全体がぼやけていたり、ちらついているとき調整します。メニュー やヘルプが表示されている場合は、上下方向キーとして動作します。

Shift ボタン

[参照 51 ページ](#)

Volume ボタンと一緒に押すと音量を調整します。

Video ボタン

[参照 64 ページ](#)

ビデオの映像(Video)、Sビデオ(S-Video)、コンポーネントビデオの映像(BNC(YCrCb))の映像を切り替えます。

Menu ボタン

[参照 124 ページ](#)

メニューを表示または終了します。

Esc ボタン

現在実行中の機能を終了します。メニュー やヘルプが表示されている場合は、現在の階層から 1 つ上の階層に戻ります。

Tracking ボタン

[参照 37 ページ](#)

画面に縦の縞模様が出たとき調整します。

メニュー やヘルプが表示されている場合は、左右方向キーとして動作します。

← (Enter) ボタン

[参照 37 ページ](#)

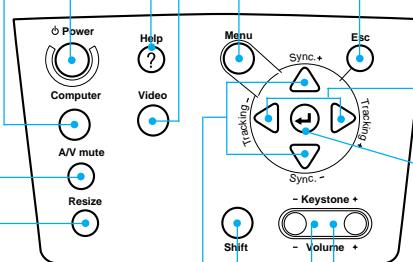
- メニューの項目を決定します。下に階層がある場合は、現在の階層から 1 つ下の階層に進みます。

- メニュー やヘルプが表示されていない場合は、コンピュータの映像の最適化を行います。
- 入力解像度を Manual に設定しているときは Auto に切り替わります。

Keystone ボタン

[参照 34 ページ](#)

画面が台形に歪んだ時に調整します。



入出力端子

BNC 端子

- R/R-Y
- G/Y
- B/B-Y
- H/C Sync
- V Sync

ワークステーションの BNC 映像信号、またはビデオのコンポーネント映像信号(色差信号*)を入力します。

Monitor Out 端子

映像信号を出力します。
Computer、BNC 端子から入った信号が出力されます。

Audio Out 端子

プロジェクターの音声信号を出力します。

Remote 端子*

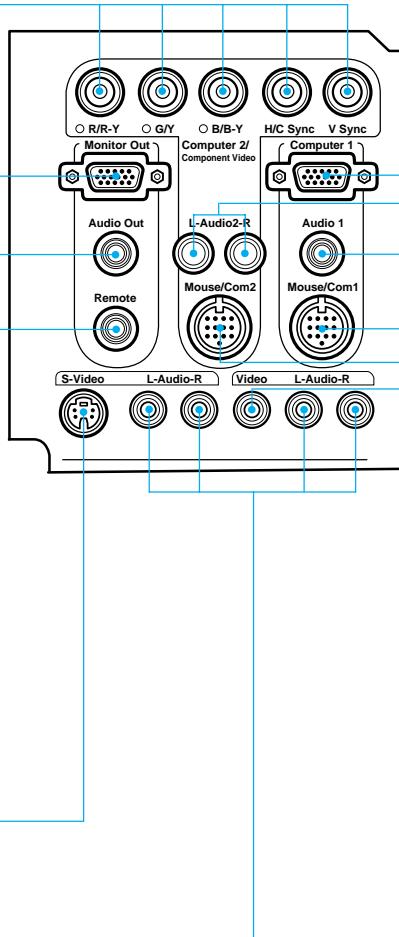
オプションのリモコンレシーバー(ELPST02)が接続できます。

S-Video 端子

A/V 機器の S 映像信号を入力します。

L-Audio -R 端子

A/V 機器からの音声信号を入力します。



Computer1 端子

コンピュータからの映像信号を入力します。RGBビデオ信号を入力します。

L-Audio2-R 端子

コンピュータとコンポーネントビデオからの音声信号を、RCA ピンジャックで入力します。

Audio1 端子

コンピュータからの音声信号を、ステレオミニジャックで入力します。

Mouse/Com1/2 端子
ワイヤレスマウスとしてリモコンを使うときや、付属の Projector Software を使うときにコンピュータと接続します。

Video 端子

A/V 機器の映像信号を入力します。

リモコン

表側

Freeze ボタン

[参照 94 ページ](#)

動いている映像を一時停止します。
もう一度押すと解除します。

A/V Mute ボタン

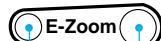
[参照 95 ページ](#)

映像と音声を一時的に消します。このときユーザーロゴを投写することもできます。もう一度押すか、音量を調整すると解除します。

E-Zoom ボタン

[参照 81 ページ](#)

E ズーム機能を実行します。
ピクチャーリンピクチャーの映像を拡大します。[Esc] ボタンを押すと解除します。



縮小

拡大

Effect ボタン

割り当てた装飾機能を実行します。
[Esc] ボタンを押すと解除します。

照光 (照光) ボタン

[参照 31, 65 ページ](#)

リモコンの全ボタンを約 10 秒間イルミネーション表示します。

Esc ボタン

- 現在実行中の機能を終了します。
- メニュー や ヘルプ が表示されている場合は、現在の階層から 1 つ上の階層に戻ります。
- 映像がコンピュータの場合、マウスの右クリックとして動作します。

リモコン発光部

リモコン信号を出力します。

インジケータ

リモコン信号を出力しているときに発光します。

Power ボタン

[参照 29, 57, 63 ページ](#)

本体電源の ON/OFF を切り替えます。

R/C ON OFF スイッチ

[参照 29, 58, 63 ページ](#)

リモコン電源の ON/OFF を切り替えます。

このスイッチが「ON」になっていないとリモコンの各操作ができません。

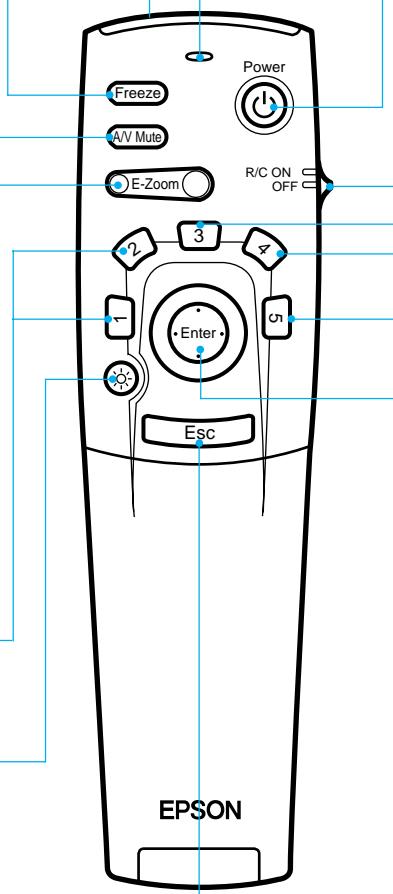
Effect ボタン

[参照 82 ページ](#)

割り当てた装飾機能を実行します。

Enter ボタン

- 押した場合メニューの項目を決定します。下に階層がある場合は、現在の階層から 1 つ下の階層に進みます。
- 映像がコンピュータの場合、マウスの左クリックとして動作します。
- Enter ボタンの上下、左右に倒すとワイヤレスマウスとして倒した方向にポインタが移動します。
- メニューが表示されている場合、調整項目の選択をします。Enter ボタンの上下、左右を倒すと倒した方向にバーが移動します。



カバー内部

Menu ボタン [参照 124 ページ](#)

メニューを表示または終了します。

Comp 1 ボタン [参照 30 ページ](#)

Computer 1からの映像に切り替えます。

S-Video ボタン [参照 64 ページ](#)

S-Video からの映像に切り替えます。

Auto ボタン [参照 37 ページ](#)

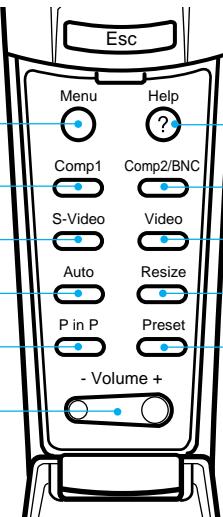
コンピュータ映像の最適化を行います。

P in P ボタン [参照 92 ページ](#)

コンピュータ映像の中にビデオ映像を子画面として表示します。もう一度押すか、[Esc] ボタンを押すと解除します。

Volume ボタン [参照 51 ページ](#)

音量を調整します。



Help ボタン [参照 102 ページ](#)

トラブルが起こったときの対処方法を項目別に説明します。困ったときに押してください。

Comp2/BNC ボタン

[参照 30, 64 ページ](#)

BNC 端子からの映像に切り替えます。

Video ボタン [参照 64 ページ](#)

Video 端子からの映像に切り替えます。

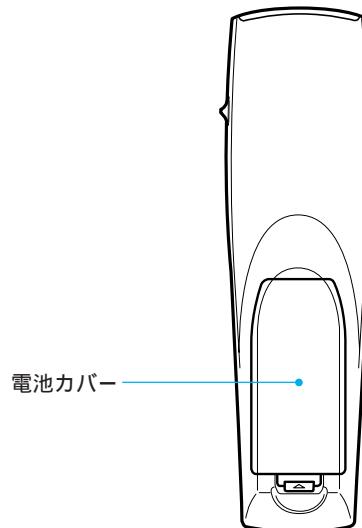
Resize ボタン [参照 39, 66 ページ](#)

コンピュータ映像入力時は、ウインドウ表示とリサイジング表示を切り替えます。ビデオ映像入力時は、アスペクト比 4:3 と 16:9 を切り替えます

Preset ボタン [参照 38 ページ](#)

プリセットされているコンピュータ入力信号値を呼び出して簡単に画面調整をします。

裏面



リモコンで操作できる範囲

本体受光部との距離角度によっては、リモコンで操作できない場合があります。以下の条件で使用してください。

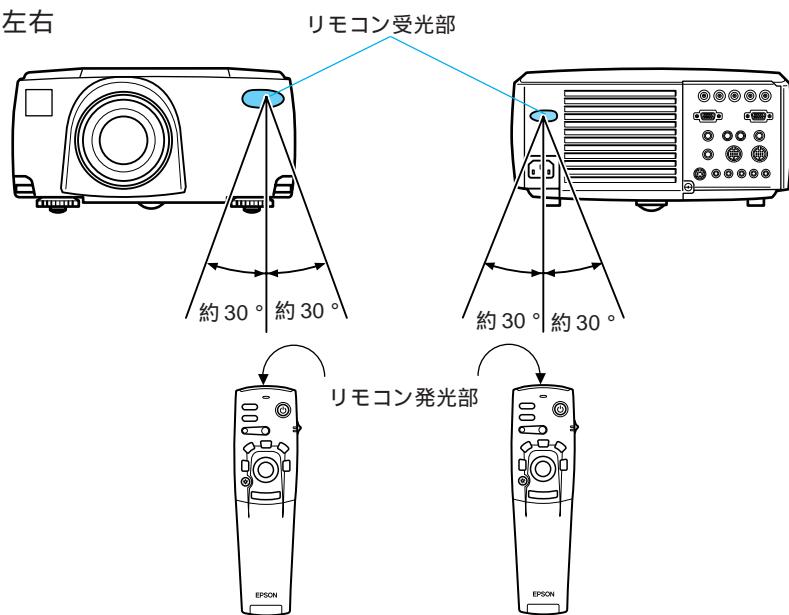
操作可能距離:約10m

ポイント >>

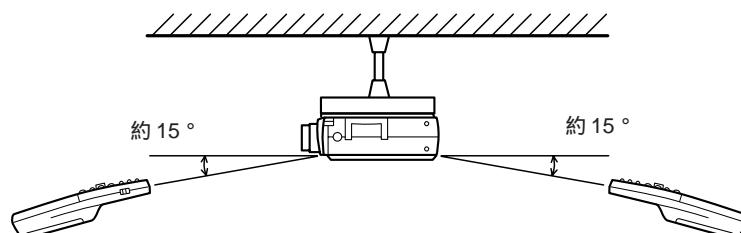
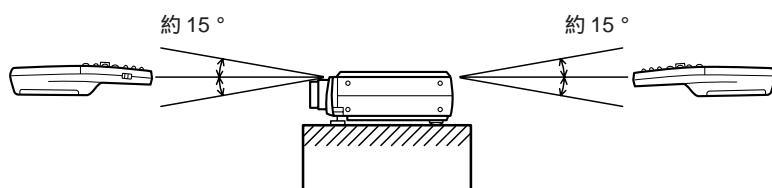
- ・リモコンをご使用になる場合は、リモコンのR/C ON OFFスイッチ「ON」にする必要があります。
- ・リモコンは本体のリモコン受光部に向けてお使いください。
- ・リモコンをスクリーンに向けて、信号を反射させてお使いのときは、スクリーンの種類により操作可能距離(約10m)が短くなることがあります。
- ・リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。リモコンが誤動作することがあります。
- ・リモコンが操作できなかったり、誤動作するときは、電池の交換時期と考えられます。電池を新しいものに交換してください。

操作可能範囲

左右



上下



リモコンへの電池の入れかた

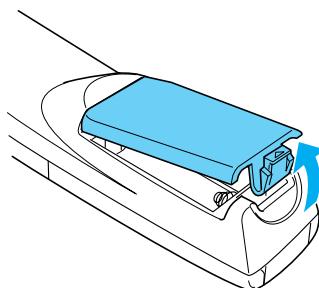
リモコンに電池を入れる方法について説明します。

⚠ 注意

種類が同じで新しい乾電池を入れてください。

① 電池カバーを外します。

電池カバーのひっかけ部を、矢印の方向へスライドさせます。

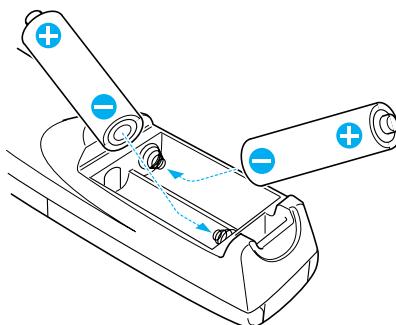


ポイント >>

- ・指定乾電池
単3形アルカリマンガン
乾電池 (LR6) 2本
- ・電池の交換時期は、1日
30分使用した場合で約
3ヶ月後です。

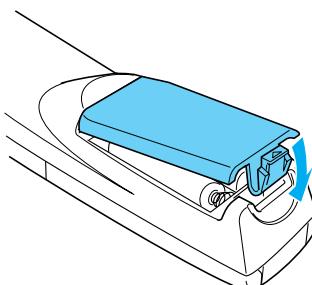
② 電池を入れます。

必ずリモコンの $(+)$ $(-)$ の表示に合わせてください。



③ 電池カバーを収納します。

カチッと音がするまで、電池カバーを本体に押し付けます。



設置

設置

14

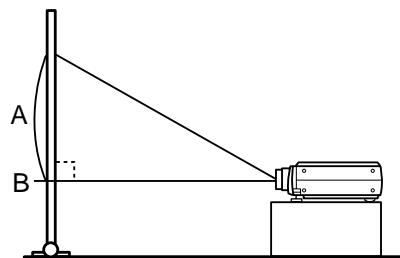
設置時の注意

プロジェクターとスクリーンを下図のように直角に設置したときに、最適な画面になります。このように本体とスクリーンを設置してください。

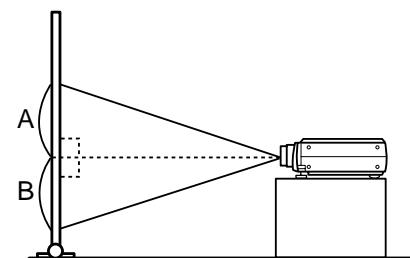
⚠ 注意

- ・本体後方の排気口や、本体裏側のエアーフィルタ（吸気口）をふさがないようにしてください。
- ・本体裏側のエアーフィルタに、布や紙などが吸着されることもありますので、投写中確認してください。
- ・本体に、エアコンやヒーターなどの風が直接当たらないようにしてください。
- ・壁際に設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をあけてください。
- ・本機の上には毛布・カーテン・テーブルクロスなどの布をかけないでください。

左または右から見たとき



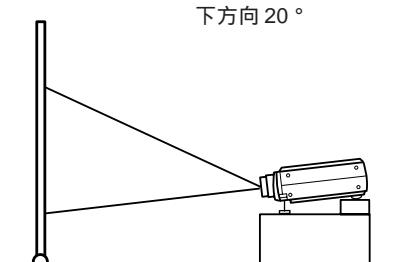
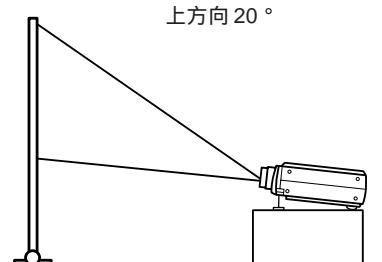
* A:B=10:0 になります。



* A:B=5:5 になります。

レンズシフト機能により投写位置を上下に移動することができます。

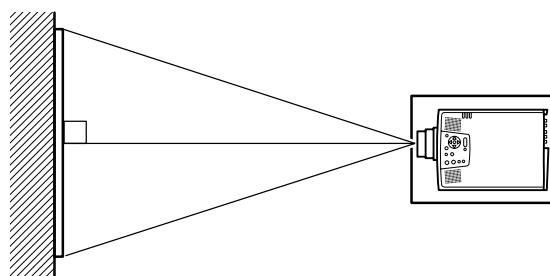
[参照 36 ページ](#)



キーストーン補正により台形歪みを補正できます。

[参照 34 ページ](#)

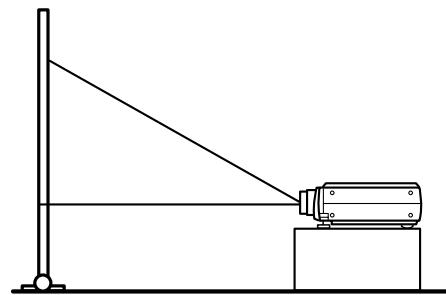
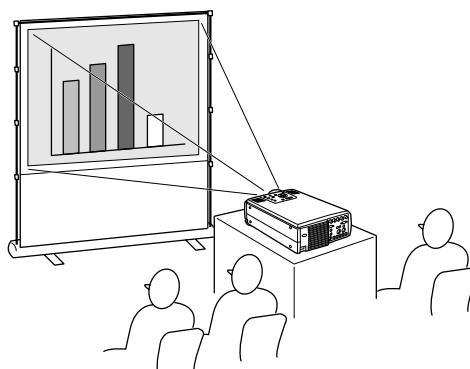
上または下から見たとき



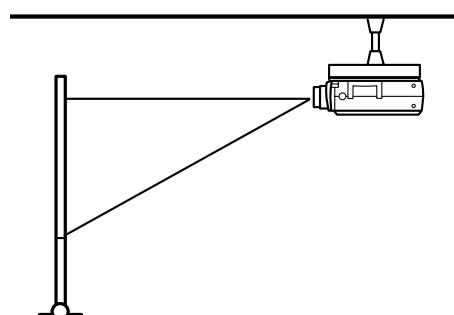
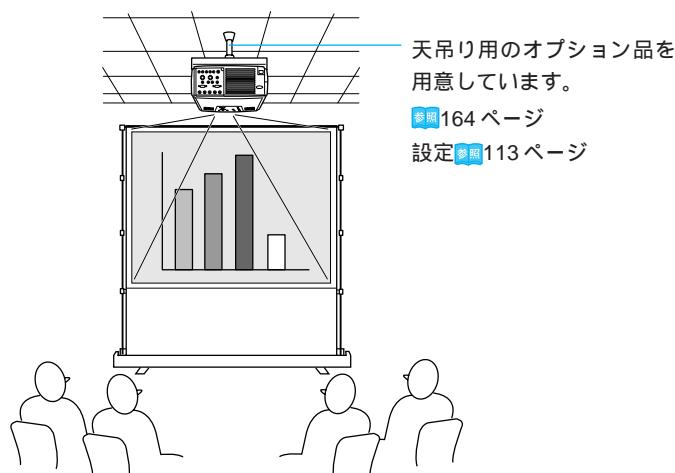
設置方法

本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

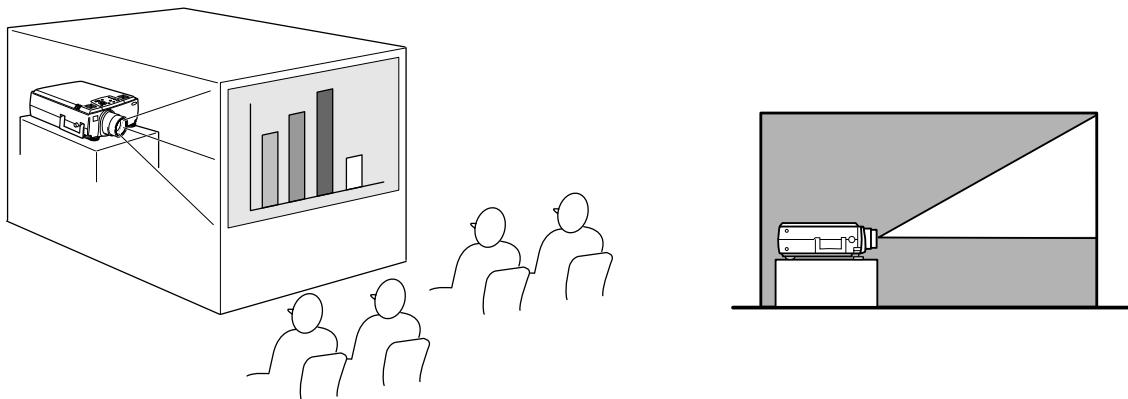
正面から映像を見るとき



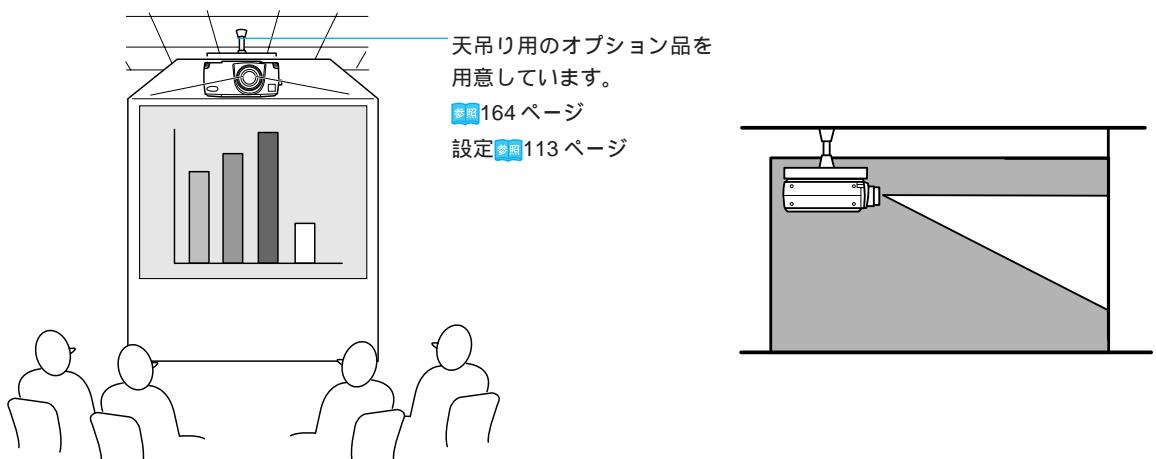
天吊りして正面から映像を見るとき



半透過性のスクリーンへ投写し、裏側から映像を見るとき



天吊りして半透過性のスクリーンへ投写し、裏側から映像を見るとき



スクリーンサイズと投写距離について

お好みの画面サイズになるように、レンズからスクリーンまでの距離を決めます。

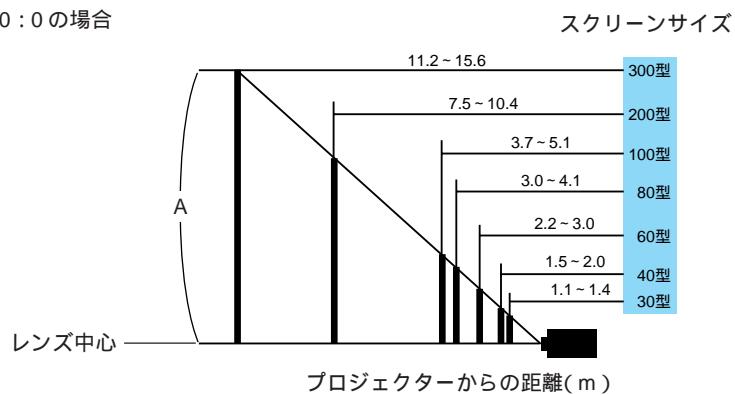
プロジェクターの標準レンズはおよそ1.4倍ズームですので、最大拡大時は、最小時の約1.4倍のサイズで投写できます。

推奨範囲は1.1m - 15.6mです。下の表を参考に設置してください。

スクリーンサイズ(cm)	およその投写距離(m)	下図Aの寸法(cm)	下図Bの寸法(cm)
300型(610 x 460)	11.2 ~ 15.6	460	230
200型(410 x 300)	7.5 ~ 10.4	300	150
100型(200 x 150)	3.7 ~ 5.1	150	75
80型(160 x 120)	3.0 ~ 4.1	120	60
60型(120 x 90)	2.2 ~ 3.0	90	45
40型(81 x 61)	1.5 ~ 2.0	61	30.5
30型(61 x 46)	1.1 ~ 1.4	46	23

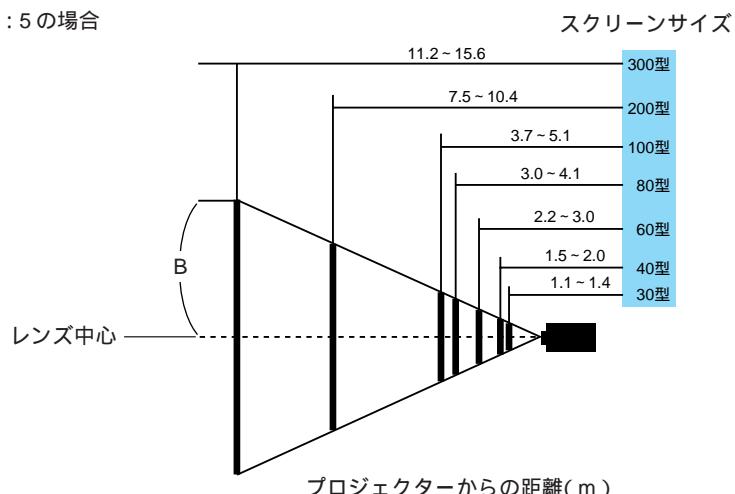
* 「およその投写距離」は設置のめやすにしてください。投写条件などで変わる場合があります。

10 : 0 の場合



- ポイント >>**
- この投写距離は、標準レンズを使用した場合の投写距離です。
 - オプションレンズ使用の場合には、オプションレンズに付属の取扱説明書を参照してください。
 - キーストーン補正をすると画面が小さくなります。

5 : 5 の場合



コンピュータ映像を写す

接続できるコンピュータ	20
コンピュータとの接続	23
外部オーディオ機器で音を出す	27
投写する	28
調整する	32
終了する	57

接続できるコンピュータ

コンピュータのモデルによっては、接続できないものや接続はできても投写できないものがあります。接続するコンピュータの仕様が、下の2条件にあてはまるか確認してください。

- 条件1：接続するコンピュータに映像信号の出力ポートがあること
コンピュータに、映像信号を出力させるポートが付いているか確認してください。映像信号を出力させるポートは、「RGBポート」「モニタポート」「ビデオポート」などと呼ばれています。接続するコンピュータの取扱説明書「外付けのモニタを接続する」などをご覧になり、映像信号の出力ポートがあるか確認してください。
コンピュータとモニタが一体型のタイプや、ノートパソコンによっては外部出力ポートを別途購入していかなければならぬ場合があります。また、外部出力ポートが取り付けられない場合があります。

ポイント >>

21ページ記載の一覧表に載っていない解像度と周波数のときは、接続するコンピュータの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。

- 条件2：コンピュータの解像度と周波数が21ページの記載仕様範囲内であること
コンピュータから出力される映像信号の解像度と周波数が、本プロジェクトで対応できないものは投写ができません。(一部投写できるものもありますが、鮮明な投写はできません。)
接続するコンピュータの取扱説明書で、映像信号の解像度と周波数を確認してください。

接続できるコンピュータの対応モード表

	モード	水平表示解像度 Hor[Pixels]	垂直表示解像度 Ver[Lines]	水平走査周波数 H[KHz]	垂直走査周波数 V[Hz]	9000 9000NL	8000 8000NL
PC98	PC98	640	400	24.82	56.42		
PC/AT	VGACGA			31.46	70.00		
DOS/V	VGAEGA		350	31.46			
	VGA60		480	31.47	59.94		
	VESA72			37.86	72.81		
	VESA75			37.50	75.00		
	VESA85			43.27	85.01		
	SVGA56	800	600	35.16	56.25		
	SVGA60			37.88	60.32		
	SVGA72			48.08	72.19		
	SVGA75			46.88	75.00		
	SVGA85			53.67	85.06		
	XGA43i	1024	768	35.52	43.48		
	XGA60			48.36	60.00		
	XGA70			56.48	70.07		
	XGA75			60.02	75.03		
	XGA85			68.68	85.00		
	SXGA1_70	1152	864	63.85	70.01		
	SXGA1_75			67.50	75.00		
	SXGA1_85			77.09	85.00		
	SXGA2-60	1280	960	60.00	60.00		
	SXGA2-75			75.00	75.00		
	SXGA2-85			85.94	85.00		
	SXGA3_43i		1024	46.43	43.44		
	SXGA3_60			63.98	60.02		
	SXGA3_75			79.98	75.03		
	SXGA3_85			91.15	85.02		
	UXGA48i	1600	1200	62.50	48.04		
	UXGA60			75.00	60.00		
	UXGA65			81.25	65.00		
	UXGA70			87.50	70.00		
	UXGA75			93.75	75.00		
	UXGA80			100.00	80.00		
	UXGA85			106.25	85.00		
Mac	MAC13	640	480	35.00	66.67		
	MAC16	832	624	49.73	74.55		
	MAC19-60	1024	768	48.19	59.28		
	MAC19			60.24	74.93		
	MAC21	1152	870	68.68	75.06		

フル対応

ELP による圧縮表示

	モード	水平表示解像度 H[Pixels]	垂直表示解像度 V[Lines]	水平走査周波数 H[KHz]	垂直走査周波数 V[Hz]	9000 9000NL	8000 8000NL
Video	SDTV480P (ANSI/SMPTE)	720	483	31.47	59.94		
	SDTV480P (ATSC)	704	480				
	SDTV480I (ANSI/SMPTE)	720	487	15.73			
	SDTV480I (ATSC)	704	480				
	HDTV720P (SMPTE)	1280	720	44.96			
	HDTV1080P (ANSI/SMPTE)	1920	1080	67.43			
	HDTV1080I (ANSI/SMPTE)			33.72			
	NTSC	1024	480	15.734	60		
	PAL		576	15.625	50		
	SECAM						

フル対応 ELP による圧縮表示

コンピュータとの接続

パソコンと接続

注意

- 接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。
電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子形状を確認して接続してください。
形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損につながります。

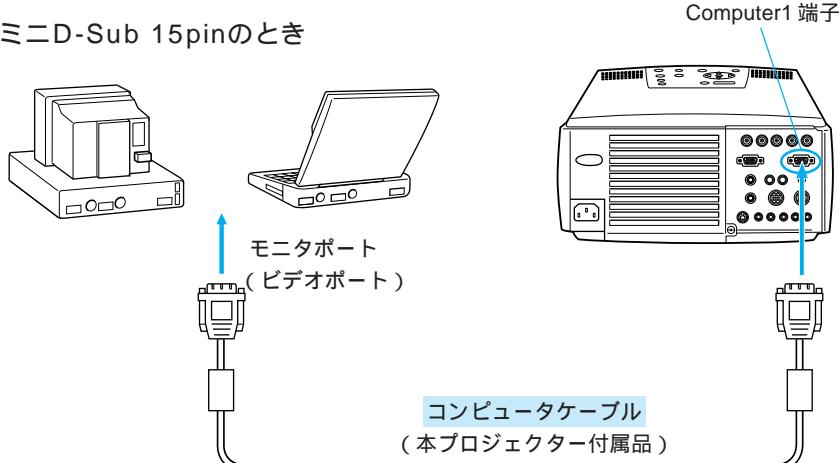
ポイント

- 本プロジェクターを使用するときは、電源ケーブルとコンピュータケーブルは、一緒にに結束しないでください。誤動作の原因になります。
- 接続の際、コンピュータのモデルによっては、コンピュータに付属または市販のアダプタ類が必要になる場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください。
- コンピュータをもう1台接続するときは、Computer 2/ Component Video 端子を使い接続します。

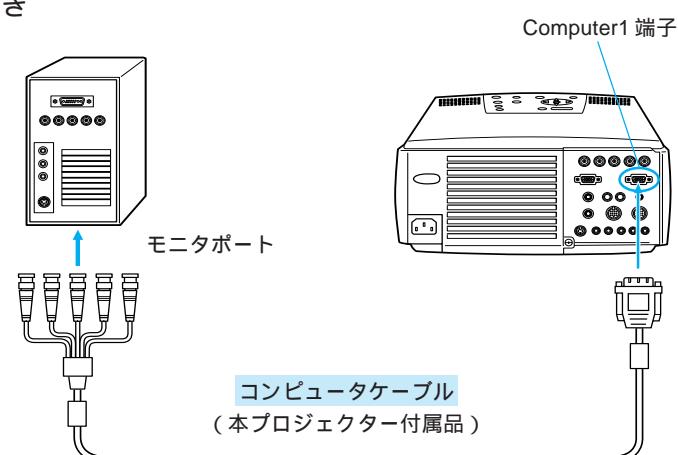
コンピュータの映像を写す

コンピュータの映像をプロジェクターから投写すると大画面でプレゼンテーションすることができます。

ミニD-Sub 15pinのとき



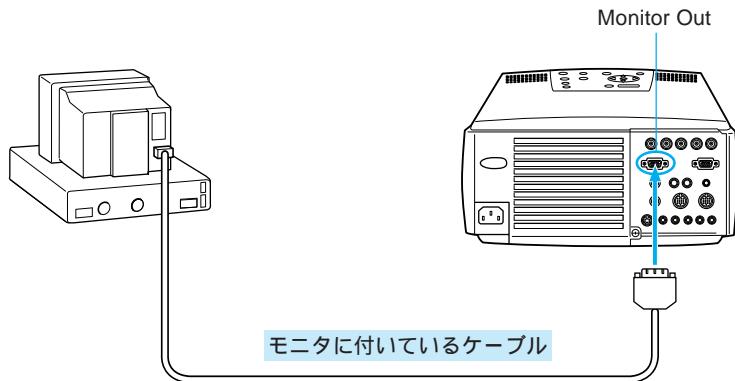
5BNCのとき



ポートの形状が (ミニ D-Sub 15 pin) 以外のときは、コンピュータに付属または市販のアダプタ等を使い、ポートの形状を (ミニ D-Sub 15 pin) に変換してください。

Macintoshと接続するときは、本プロジェクター付属品のMACデスクトップアダプタおよびMACモニタアダプタが必要になる場合があります。

プロジェクターの投写画像をコンピュータのモニタで見る
プロジェクターの投写画像をコンピュータのモニタに写すことができます。



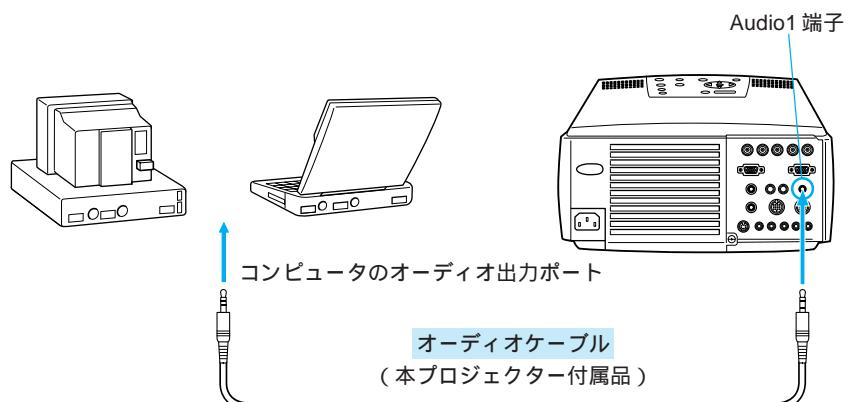
ポートの形状が (ミニ D-Sub 15 pin) 以外のときは、コンピュータに付属または市販のアダプタ等を使い、ポートの形状を (ミニ D-Sub 15 pin) に変換してください。
Macintosh と接続するときは、本プロジェクター付属品の MAC デスクトップアダプタおよび、MAC モニタアダプタが必要になる場合があります。

ポイント >>

オーディオ信号は、選択されている映像の音声を出力します。

コンピュータの音声をプロジェクターから出す

コンピュータの音声をプロジェクター内蔵のスピーカから出力することができます。本プロジェクターでは、2 個のスピーカから最大 3W で出力することができます。



ワークステーションとの接続

接続方法、接続するケーブル類など、必ずお買い上げの販売店またはワークステーションのメーカーに確認してください。

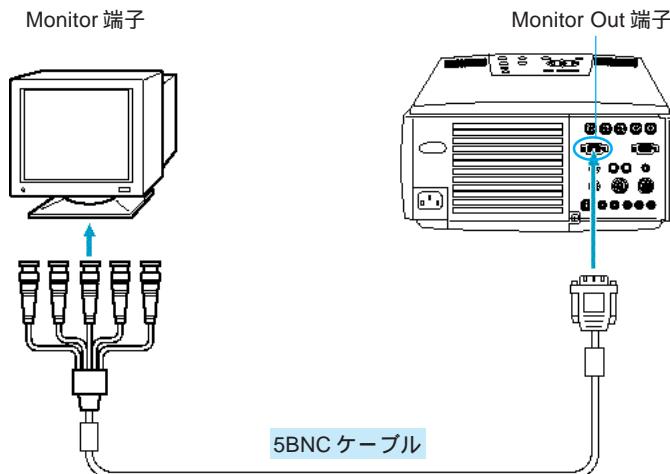
接続の一例

ポイント >>

- ・ワークステーション機能を持ったパソコンの場合は、「コンピュータとの接続」を参照のうえ接続してください。
参照23ページ
- ・5BNC 端子からの映像を投写するときは必ず次ページの操作で「RGB」を選択してください。

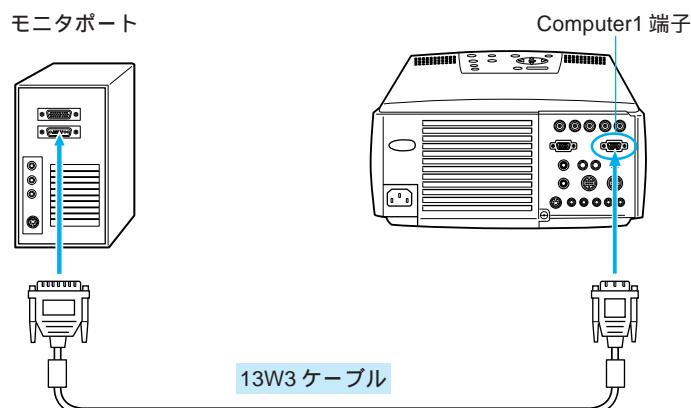
モニタのポートが5BNC端子のとき

5BNC[オス] ミニD-Sub15pin[オス]ケーブルを使い接続します。



ワークステーションのモニタポートが13w3のとき

13w3[オス] ミニD-Sub 15ピンケーブルを使い接続します。



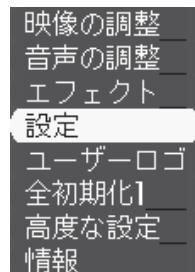
ポイント >>

BNC ケーブルの接続
参照25 ページ

BNC端子の入力モード設定(BNC)

BNC 端子を使うときの入力映像信号のモードを設定します。

- 1 [Menu] ボタンを押し、表示されたトップメニューからの本体の [Sync +、 -] (リモコンの場合は[Enter])ボタンで「設定」を選択します。



- 2 本体の [← Enter] (リモコンの場合は[Enter])ボタンを押します。
- 3 本体の [Sync +、 -] (リモコンの場合は[Enter])ボタンで「BNC」を選択します。



- 4 本体の [Tracking +、 -] (リモコンの場合は[Enter])ボタンで、「RGB」を選択します。



RGB : コンピュータ信号を使うとき
YCrCb : ビデオ信号を使うとき

- 5 [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
設定の他のサブメニューを設定するときは、 [Sync +、 -] (リモコンの場合は[Enter])ボタンでサブメニューを選択します。

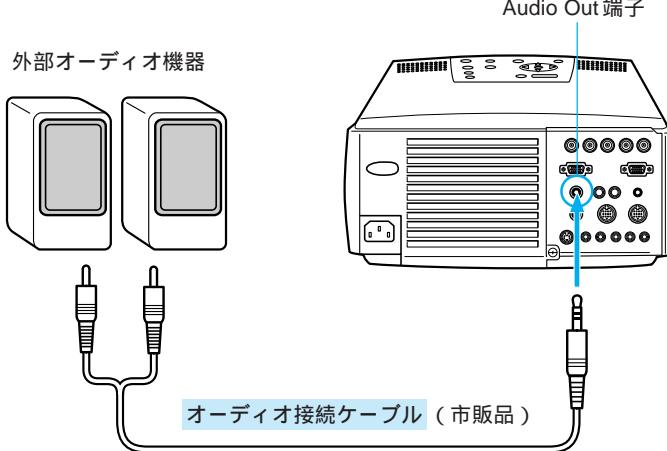
外部オーディオ機器で音を出す

本機の「Audio Out」端子とPAシステムやアクティブスピーカーシステムなどのアンプ内蔵スピーカーを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。

市販の **オーディオ接続ケーブル(ピンプラグ) 3.5mm(ステレオミニジャックプラグ)**などを使用します。

ポイント >>

- ・音声出力端子へピンプラグを入れると、音声は外部へ自動的に出力されます。このとき本体のスピーカから音声は出力されません。
- ・投写されている映像の音量が出力されます。
- ・オーディオ接続ケーブルは、接続する外部オーディオ機器の接続部形状をよく確認してからお買い求めください。



プロジェクターを投写する

それでは、コンピュータからの映像を写してみましょう。

準備

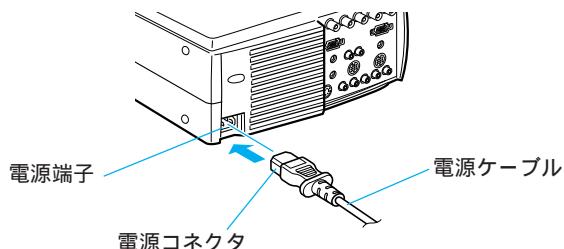
⚠ 警告

- ・電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。強い光で視力障害などの原因となります。
- ・電源ケーブルは、付属品を使用してください。付属品以外を使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

レンズカバーを取り付けたままで投写しないでください。熱でレンズカバーが変形することがあります。

- ① プロジェクターとコンピュータが接続されていることを確認します。
- ② レンズカバーをはずします。
- ③ プロジェクターに「電源ケーブル(本プロジェクター付属品)」を取り付けます。
プロジェクターの電源端子と、電源コネクタの形状に合わせて、
しっかりと奥まで差し込んでください。

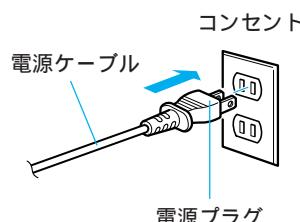


ポイント >>

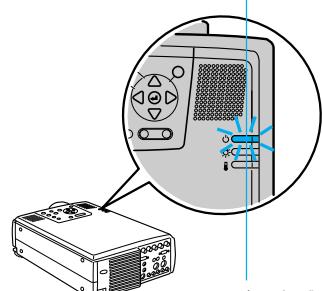
「オペレーションインジケータ」がオレンジに点滅中はボタン操作ができません。

- ④ 「電源プラグ」をコンセントに差し込みます。

「オペレーションインジケータ」が2~3秒オレンジに点滅した後、
点灯に変わります。



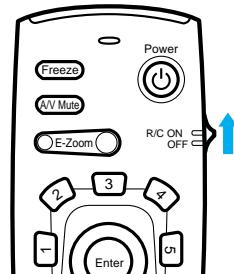
オペレーションインジケータ



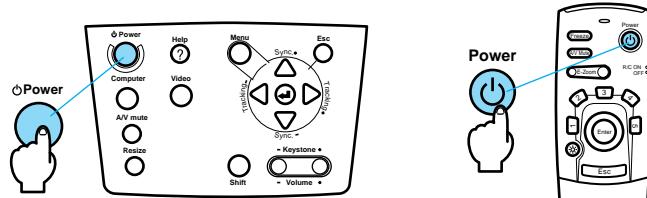
投写

準備ができたら実際に投写してみましょう。

- リモコンのR/C ON OFFスイッチを「ON」にします。



- Power ボタンを押し電源を入れます。
「オペレーションインジケータ」が緑の点滅に変わり、投写が始まります。



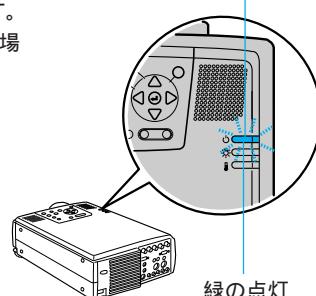
約30秒後「オペレーションインジケータ」が緑色の点滅から点灯に変ります。



「映像信号が入力されていません」と表示されます。
設定により表示されない場合があります。

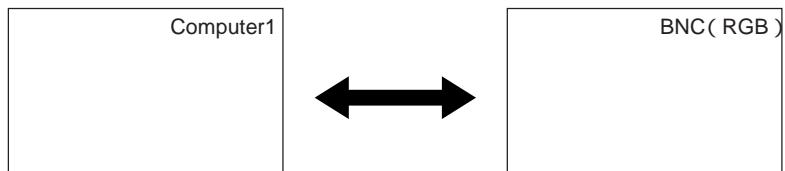
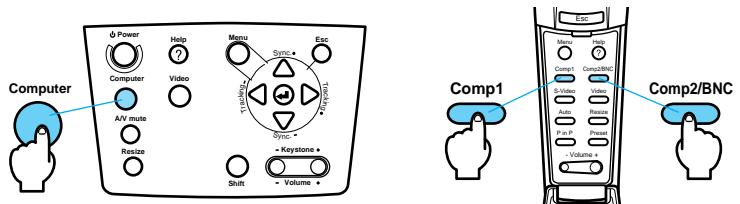
[参照 107 ページ](#)

オペレーションインジケータ



- ③ Computerボタンを押し、投写するコンピュータが接続されている端子を選びます。(リモコンのときは、Comp1またはComp2/BNCボタン)

Computerボタンは一回押すごとにComputer1、BNC(RGB)の映像を切り替えます。(BNCがRGB入力の場合)



ポイント ➤

- ・「映像信号が入力されていません」と表示されたままのときは、接続をもう一度確認してください。
- ・同一の静止画像を長時間投写していると、投写映像に残像が残る場合があります。

- ④ コンピュータの電源を入れ、投写を開始します。

「映像信号が入力されません」の表示が消え、コンピュータからの映像信号が投写されます。

ノートタイプや液晶一体型タイプの設定

ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータを接続したときには、映像が投写されないことがあります。

コンピュータの信号を外部に出力させる設定をおこなってください。設定のしかたは、それぞれのコンピュータにより異なりますので、接続したコンピュータの取扱説明書「外部出力のしかた」「外部モニタへの出力」などをご覧ください。

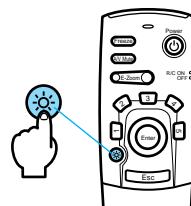
なお、コンピュータの信号を外部に出力させる設定をおこなうと、LCD画面に映像が出なくなるものがあります。

コンピュータの信号を外部に出力させる設定の詳細は、コンピュータ付属の取扱説明書をご覧ください。

リモコンのボタンを光らせる (照光) (リモコンのみ)

リモコンのボタンを約 10 秒間光らせます。

- ①  ボタンを押すとリモコンのイルミネーションが点灯します。
(約 10 秒間、何も操作しないと消灯します。)



EPSON PROJECTOR 調整する

映像の調整

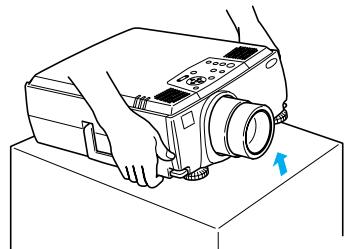
映像や音声を最適な状態にする方法です。

投写位置の調整

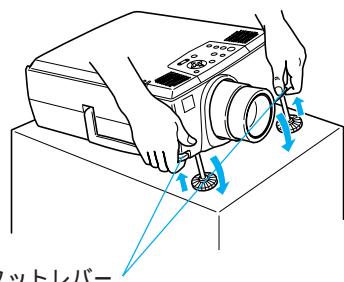
プロジェクターの投写角度を修正します。

投写ができるだけスクリーンと直角になるように調整してください。

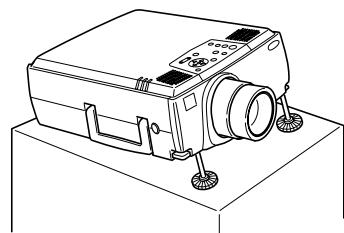
- 1 プロジェクターを投写したい角度に持ち上げます。



- 2 フットレバーを指で引き上げます。フロントフットが出てきます。



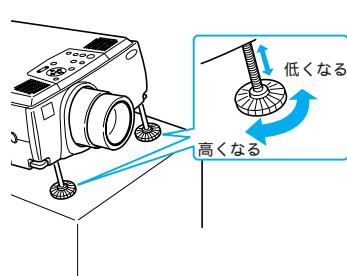
- 3 フットレバーから指を離した後、本体から手を離します。



ポイント >>

収納のしかた
参照 58 ページ

- 4 高さを微調整します。フロントフット下部を回して、高さを微調整します。

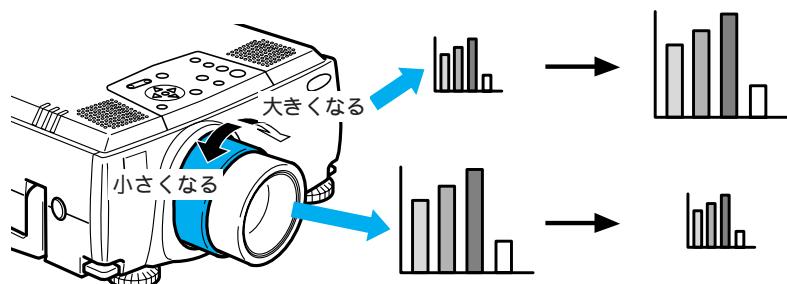


スクリーンサイズ(ズーム)の調整

スクリーンに合わせてスクリーンサイズを調整します。

本体でのズームリングでの調整

- ① プロジェクターの「ズームリング」を回して調整します。(1.4倍までズームで拡大できます。)



さらに大きく(小さく)したいときは、設置距離で調整してください。

[参照 17 ページ](#)

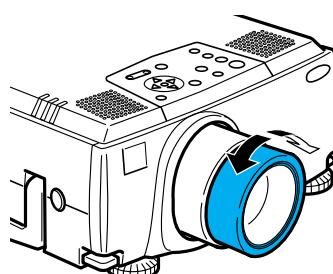
フォーカス(ピント)の調整

映像のフォーカス(ピント)を合わせます。

ポイント >>

- レンズが汚れていたり、結露しているときはピントが合いませんので、汚れや結露を取り除いてください。[参照 156 ページ](#)
- 調整できないときは、設置距離が1.1m - 15.6m の範囲にあるか確認してください。

- ① プロジェクターの「フォーカスリング」を回してピントを合わせます。



キーストーン補正(本体のボタンによる補正)

フットレバーにより投写角度を変えたときキーストーン補正機能を使って台形歪みを補正することができます。

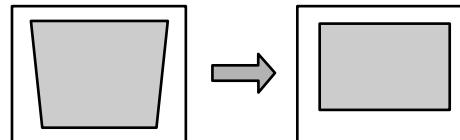
ポイント >>

- ・キーストーン補正をすると画面が小さくなります。
- ・キーストーン補正をした状態は記憶されています。次回投写位置や、角度を変えたときは、再調整してください。
- ・キーストーン補正によりムラが目立つ場合は、「映像の調整」-「シャープネス」で、シャープネスを下げて使用してください。

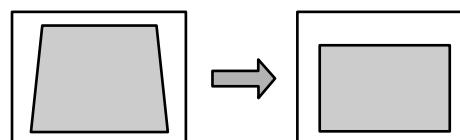
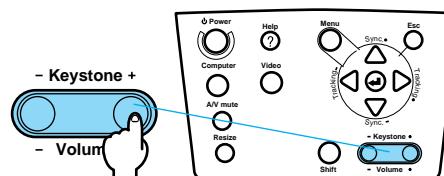
Keystoneボタンによるキーストーン補正

- ① Keystoneボタンを押し、台形歪みが少なくなるようにします。

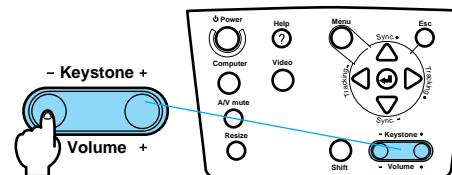
キーストーン : 0 



補正され画面が小さくなる



補正され画面が小さくなる

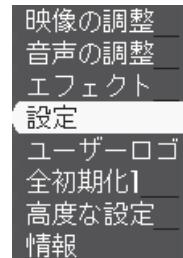


キーストーン補正(メニュー画面による補正)

ポイント >>

- ・本体の[Keystone]ボタンでも調整できます。
- ・キーストーン補正をした状態は記憶されています。次回投写位置や、角度を変えたときは、再調整してください。
- ・キーストーン補正によりムラが目立つ場合は、「映像の調整」-「シャープネス」で、シャープネスを下げる使用してください。

① [Menu] ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の[Sync+、-] (リモコンの場合は[Enter]) ボタンで「設定」を選択します。



② 本体の[Enter] (リモコンの場合は[Enter]) ボタンを押して決定します。

③ 本体の[Sync+、-] (リモコンの場合は[Enter]) ボタンで「キーストーン」を選択します。



④ 本体の[Tracking +、-] (リモコンの場合は[Enter]) ボタンで、正常に表示されるように調整します。



ポイント >>

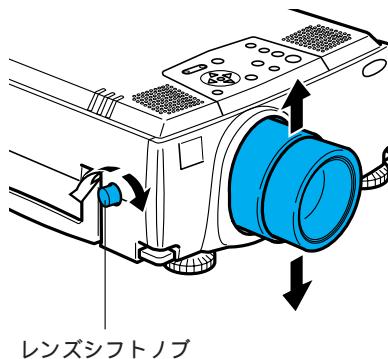
- 設定の他のサブメニューを設定するときは、[Sync+、-] (リモコンの場合は[Enter]) ボタンでサブメニューを選択します。

⑤ [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

レンズシフト機能

簡単な操作で投写位置を上下に移動することができます。

- ① プロジェクター横面の[レンズシフトノブ]を押して外に出します。
- ② [レンズシフトノブ]を回転し、投写位置を変えます。



- ③ [レンズシフトノブ]を押し、引っ込ませます。

画像の調整(本体およびリモコンのボタンでの調整)

ポイント >>

E-Zoom、A/V MuteやPanなどを実行しているときに、[Enter]または[Auto]ボタンを押すと、実行している機能を解除してから調整します。

コンピュータ映像を最適化する [Enter] (リモコン [Auto])

コンピュータ入力信号を自動的に最適な調整値に設定します。

入力がビデオ信号のときは、機能しません。

自動設定される調整値は以下のとおりです。

- ・トラッキング
- ・表示位置（上下 / 左右）
- ・同期

① 本体の [Enter] (リモコンの場合は、[Auto]) ボタンを押します。

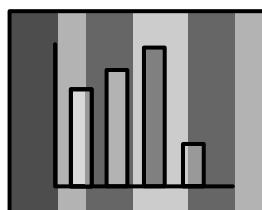
信号の種類によっては、最適な状態に設定できない場合があります。そのときは、以下に従って調整してください。

ポイント >>

- ・映像の乱れの調整をした後、コンピュータからの映像信号の変更（出力モードの変更や表示色の変更など）により映像の乱れが再発生したり、調整値が変化したりするときがあります。
- ・「ちらつき」や「ぼやけ」は、明るさやコントラスト^{*}の調整で起こることもあります。
- ・トラッキングを調整してから同期を調整したほうが、鮮明に調整できます。
- ・コンピュータからの映像信号が入っていないときは、映像の調整ができません。
- ・ビデオ映像を投写しているときは「トラッキング」「同期」の調整はできません。

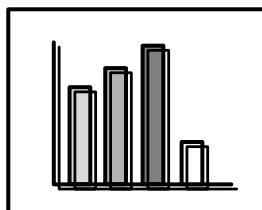
映像に縦の縞模様が出るときの調整

「トラッキング^{*}」を調整します。



① 本体の [Tracking +、-] ボタンを押します。
メニューを開いているときは調整できません。

映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズなどが発生するとき 「同期^{*}」を調整します。



① 本体の [Sync+、-] ボタンを押します。

プリセットされている調整値を呼び出す **Preset**(リモコンのみ)

コンピュータ入力信号の調整値(入力解像度、トラッキング、同期信号、表示位置など)を呼び出して画面調整を簡単にします。

ポイント >>

- ・1回押すごとに「プリセット2」「プリセット3」「プリセット4」「プリセット5」「プリセット1」のように切り替わります。ただし、プリセットされていない番号は表示されません。
- ・登録されていない場合は、「登録されていません」と画面の右上に表示されます。
- ・プリセット機能を設定するには「メニュー」「映像の調整」「プリセット登録」で5つまで登録できます。

[参照47ページ](#)

1

リモコンの **Preset** ボタンを押します。

プリセット1の選択画面が表示されます。

1 .1024 x 768

入力映像をそのまま見たいとき **Resize**

リサイジング表示とウィンドウ表示を、**Resize**ボタンで切り替えることができます。

リサイジング表示とは

本機対応解像度と入力信号が違っていても、解像度を自動処理してスクリーンサイズいっぱいに投写します。通常のプレゼンテーションのときを使います。(標準設定)

入力解像度によっては、左右に表示されない部分が出ることがありますので、その場合には、本体の**Shift** + **Resize**ボタンを押してください。

ウィンドウ表示とは

入力解像度のまま投写します。コンピュータ映像の解像度のまま投写したいときに使います。

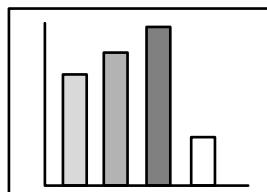
ポイント ➤

Resizeボタンを1回押すごとに切り替わります。

リサイジング表示とウィンドウ表示の切り替え

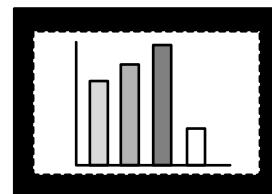
- ・入力解像度が $1,280 \times 1,024$ (ELP-9000/9000NL)、 $1,024 \times 768$ (ELP-8000/8000NL)より低い場合... 800×600 (SVGA*)など

リサイジング表示



800×600 の映像を本機の投写サイズに拡大して投写します。

ウィンドウ表示



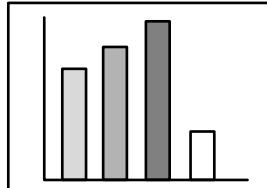
800×600 の映像のまま投写されます。本機の投写サイズより映像は小さくなります。

ポイント ➤

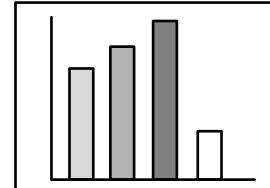
Resizeボタンを押しても表示は替わりません。

- ・入力解像度が $1,280 \times 1,024$ (ELP-9000/9000NL)、 $1,024 \times 768$ (ELP-8000/8000NL)の場合...リサイジング表示、ウィンドウ表示、共にスクリーンサイズいっぱいに投写します。

リサイジング表示



ウィンドウ表示



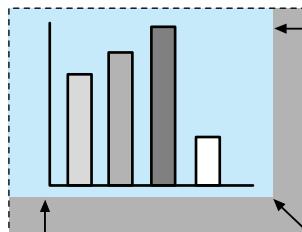
ポイント >>

Resizeボタンを1回押すごとに切り替わります。

- ・入力解像度が $1,366 \times 1,024$ (ELP-9000/9000NL) , $1,024 \times 768$ (ELP-8000/8000NL) より高い場合... $1,600 \times 1,200$ (UXGA*) など

リサイズ表示

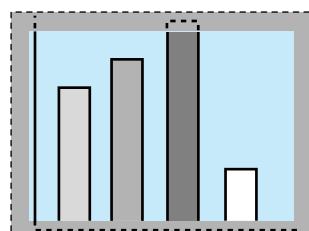
$1,600 \times 1,200$ の映像を本機の投写サイズに縮小して投写します。



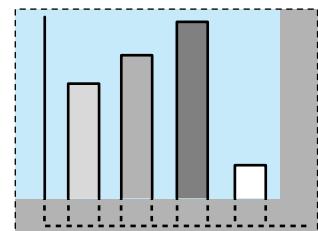
ウィンドウ表示 1

$1,600 \times 1,200$ の映像のまま投写します。
本機の投写サイズ以上の映像部分は写らなくなります。

ウィンドウ表示 5

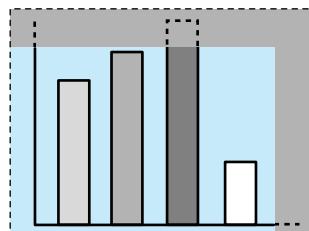


中央部分の映像を投写します



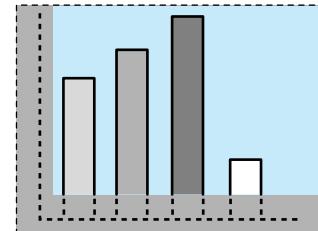
左上部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 4



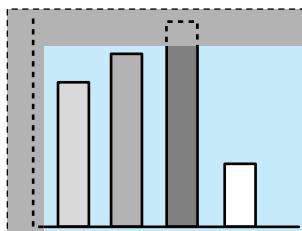
左下部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 2



右上部分の映像を投写します

ウィンドウ表示 3

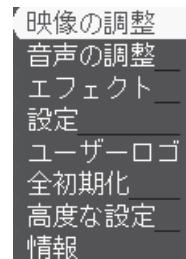


右下部分の映像を投写します

画像の調整(メニュー画面での調整)

メニューを画面に表示することで、各種調整をおこなうことができます。

- 1** **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の **Sync+/-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで「映像の調整」を選択します。



- 2** 本体の **← Enter** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンを押して決定します。
- 3** 本体の **Sync+/-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで、調整する項目を選択します。

ポイント

BNC入力がコンポーネント(色差)映像信号のときは「トラッキング」「同期」「入力解像度」「プリセット登録」の選択はできません。



これ以降の調整は、以下の操作をおこなってください。

- ・表示位置の調整 (表示位置) 参照 42 ページ
- ・映像に幅広の縦の縞模様が出たときの調整 (トラッキング) 参照 42 ページ
- ・映像にちらつきや、ぼやけが出たときの調整 (同期) 参照 43 ページ
- ・明るさの調整 (明るさ) 参照 43 ページ
- ・色の明暗の差を調整 (コントラスト) 参照 44 ページ
- ・色の強さ調整 (RGB 調整) 参照 44 ページ
- ・映像のシャープ感を調整 (シャープネス) 参照 46 ページ
- ・入力解像度の設定 (入力解像度) 参照 46 ページ
- ・調整した映像を登録 (プリセット登録) 参照 47 ページ
- ・出荷時の初期値に戻す (初期化) 参照 48 ページ

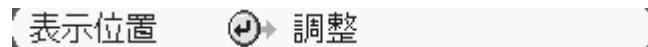
ポイント >>

- 表示位置の調整をした後、コンピュータからの映像信号の変更（出力モードの変更や表示色の変更など）により調整値が変化したりするときがあります。
- コンピュータからの映像信号が入っていないときは、映像の調整ができません。

表示位置の調整(表示位置)

映像の表示位置を上下、左右に移動します。

- 1 本体の **[Enter]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで押してサブメニューを表示します。



- 2 本体の **[Sync +、-]**、**[Tracking +、-]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで映像の位置を調整します。



- 3 **[Menu]** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
[Esc] ボタンを押すと、映像の調整サブメニューに戻ります。

ポイント >>

- トラッキングの調整は、コンピュータ映像を投影しているときのみおこなえます。
 - トラッキングは、メニューを使わなくても操作パネルでおこなえます。
- 参照** 37 ページ

映像に幅広の縦の縞模様が出たときの調整(トラッキング)

- 1 映像を見ながら、縦の縞模様が無くなるように本体の **[Tracking +、-]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで調整します。



- 2 **[Menu]** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、**[Sync +、-]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンでサブメニューを選択します。

ポイント >>

- ・同期の調整は、コンピュータ映像を投写しているときのみおこなえます。
- ・同期の調整は、メニューを使わなくても、本体の操作パネルでもおこなえます。
- ・トラッキングが合っていないと、同期の調整をしてちらつきがなくなりません。必ずトラッキングを合わせてから、同期の調整をおこなってください。

映像にちらつきや、ぼやけが出たときの調整(同期)

- 1** 映像を見ながら、ちらつきや、ぼやけが無くなるように本体の Tracking +、- (リモコンの場合は [Enter])ボタンで調整します。

同期 : 0

ポイント >>

- 映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、[Sync +、-] (リモコンの場合は [Enter])ボタンでサブメニューを選択します。

- 2** [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

明るさの調整(明るさ)

- 1** 映像を見ながら、本体の Tracking +、- (リモコンの場合は [Enter])ボタンで調整します。

明るさ : 0

+ : 映像が明るくなります。

- : 映像が暗くなります。

ポイント >>

- 映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、[Sync +、-] (リモコンの場合は [Enter])ボタンでサブメニューを選択します。

- 2** [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

色の明暗の差を調整(コントラスト)

- 1** 映像を見ながら、本体の **Tracking +, -** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで調整します。



+ : 明暗の差が大きくなります。

- : 明暗の差が小さくなります。

- 2** **[Menu]** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、**[Sync +, -]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンでサブメニューを選択します。

ポイント >>

カラー調整は、コンピュータ映像を投写しているときのみおこなえます。

色の強さ調整(RGB調整)

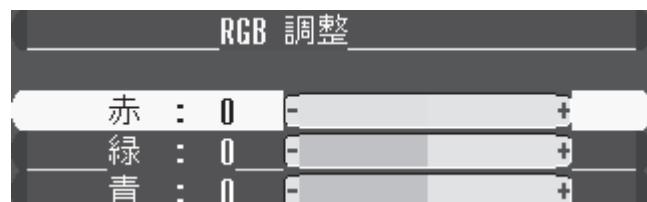
- 1** 本体の **[← Enter]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンを押してサブメニューを表示します。



- 2** 調整する色を **[Sync +, -]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで選択します。

- 3** 映像を見ながら、本体の **Tracking +, -** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで調整します。

ポイント >>
他の色も調整するときは、**[Sync +, -]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで選択し、手順**③**と同じように調整します。



赤+ : 赤色を強くします。

赤- : 赤色を弱くします。

緑+ : 緑色を強くします。

緑- : 緑色を弱くします。

青+ : 青色を強くします。

青- : 青色を弱くします。

ポイント >>

4

[Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

[Esc] ボタンを押すと映像の調整サブメニューに戻ります。

ポイント >>

キーストーン補正により、ムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。

ポイント >>

映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、[Sync +、 -] (リモコンの場合は[Enter])ボタンでサブメニューを選択します。

ポイント >>

入力解像度の設定は、コンピュータ映像を投写しているときのみおこなえます。

ポイント >>

ここでは、例として「640x480/MAC13」を選択したときの画面で説明しています。

ポイント >>

Tracking +、 - ボタンを1回押すごとに、解像度の表示が切り替わります。

ポイント >>

[Esc]ボタンを押すと、映像の調整サブメニューに戻ります。

映像のシャープ感を調整(シャープネス)

- ① 映像を見ながら、シャープ感を本体の Tracking +、 - (リモコンの場合は[Enter])ボタンで調整します。



+ : シャープ感が強くなり、映像がはっきりします。
- : シャープ感が弱くなり、映像がソフトになります。

- ② [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

入力解像度の設定(入力解像度)

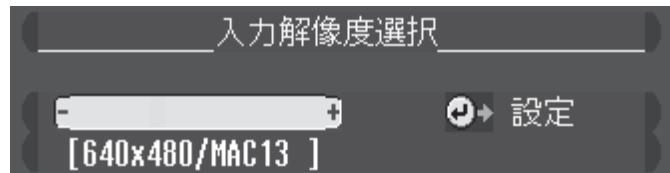
- ① 本体の Tracking +、 - (リモコンの場合は[Enter])ボタンで「Auto」または「Manual」を選択します。
- 「Auto」を選択すると、入力されている信号を自動的に調整します。手順⑤に進みます。
 - 「Manual」を選択すると、サブメニューが表示されます。



現在選択されている解像度を表示
「Auto」になっている場合は表示されません。

- ② 本体の [← Enter] (リモコンの場合は[Enter])ボタンを押して決定します。

- ③ 入力解像度を本体の Tracking +、 - (リモコンの場合は[Enter])ボタンで選択します。



現在選択されている解像度を表示

- ④ 本体の [← Enter] (リモコンの場合は[Enter])ボタンを押して設定します。

- ⑤ [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>

プリセット登録は、コンピュータ映像を投写しているときのみおこなえます。

参照「プリセットされている調整値を呼び出す [Preset]」38 ページ

調整した映像プリセット登録(プリセット)

コンピュータ入力信号の調整値を保存することができます。保存した調整値は、呼び出して使うことができます。

保存する調整値は、次のとおりです。

- 入力解像度
- トラッキング
- 同期信号
- 表示位置 など

- 1** 本体の [Enter] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンを押してサブメニューを表示します。

プリセット登録 選択

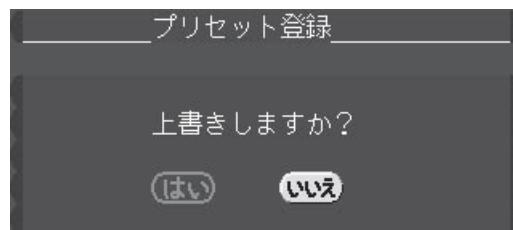
- 2** 登録するプリセット番号を本体の [Sync +, -] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンで選択します。



- 3** 本体の [Enter] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンを押して設定します。

すでに登録済みのプリセット番号を選択したときは、「上書きしますか」とメッセージが表示されます。

- ・「はい」を選択すると、上書きします。
- ・「いいえ」を選択すると、登録しないで手順**①**の画面に戻ります。



すでに登録されている番号を選択すると、登録されている内容が表示されます。

ポイント ➤➤

[Esc]ボタンを押すと映像の調整サブメニューに戻ります。

- ④ [Menu]ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント ➤➤

- ・出荷時の初期値は、117ページを参照してください。
- ・映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

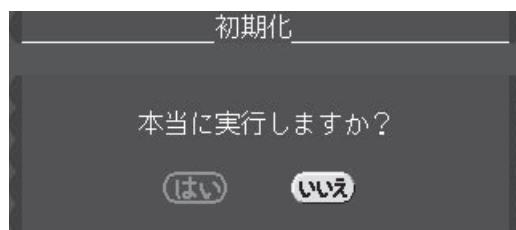
出荷時の初期値に戻す(初期化)

映像の調整値を初期値に戻します。

- ① 本体の [Enter] (リモコンの場合は [Enter])ボタンを押してサブメニューを表示します。

初期化 実行

- ② 本体の [Tracking +、-] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで「はい」または「いいえ」を実行します。
- ・「はい」を実行すると、初期値に戻ります。
 - ・「いいえ」を実行すると、初期値に戻さないでサブメニューに戻ります。手順④に進みます。



- ③ 本体の [Enter] (リモコンの場合は [Enter])ボタンを押して実行します。

ポイント ➤➤

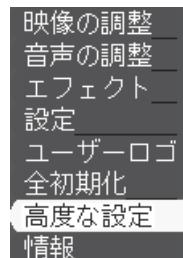
映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、[Sync +、-] (リモコンの場合は [Enter])ボタンでサブメニューを選択します。

- ④ [Menu]ボタンを押し、メニューを閉じます。

カラー設定の自動/手動調整(カラー設定)

映像の色温度^{*}を調整するときに使います。(黒レベル、白レベル調整はプロジェクターを1台で使用するときは、調整の必要はありません。)

- 1** **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の **Sync +、-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで「高度な設定」を選択します。



- 2** 本体の **← Enter** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンを押します。
- 3** 本体の **Sync +、-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで、「カラー設定」を選択します。



- 4** 本体の **Tracking +、-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで「Auto」または「Manual」を選択します。
 - 「Auto」を選択したときは、自動的にカラーを調整します。手順 **⑧** に進みます。
 - 「Manual」を選択したときは、サブメニューが表示されます。

【 カラー設定 : Auto Manual **选拆** 】

- 5** 本体の **← Enter** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンを押して決定します。
- 6** 設定する項目を本体の **Sync +、-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで選択します。



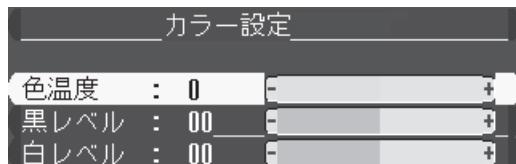
ポイント >>

- ・他も調整するときは、**Sync +、-**（リモコンの場合は**Enter**）ボタンで選択し手順⑦と同じように調整します。
- ・色温度設定の目安は以下の通りです。

メニュー設定値	色温度
-5	5000K
-4	5500K
-3	6000K
-2	6500K
-1	6700K
0	7000K
+1	7500K
+2	8000K
+3	8500K
+4	9300K
+5	10000K

⑦

本体の**Tracking +、-**（リモコンの場合は**Enter**）ボタンで設定します。



押したボタンに合わせてバーが動き、数値が変化します。

色温度

+ : 色温度が高くなります。（青が強くなります。）
- : 色温度が低くなります。（赤が強くなります。）

黒レベル

+ : 黒が強くなります。
- : 黒が弱くなります。

白レベル

+ : 白が強くなります。
- : 白が弱くなります。

ポイント >>

- Esc**ボタンを押すと高度な設定のサブメニューに戻ります。

⑧

Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

音声の調整(本体およびリモコンボタンでの調整)

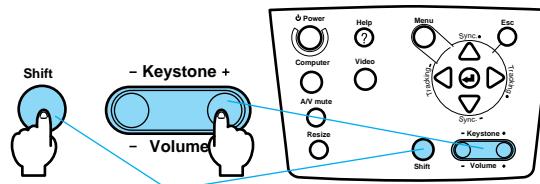
音声を聞きやすい音量に調整します。

ポイント >>

音声信号が入っていないときは調整できません。

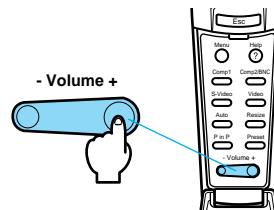
本体のボタンでの調整

Shift + **Volume** ボタンで調整します。



リモコンのボタンでの調整

Volume +、**-** ボタンで調整します。



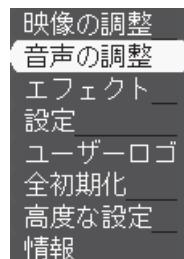
音声の調整(メニュー画面での調整)

ポイント >>

音声の調整の他のサブメニューを設定するときは、[Sync +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンでサブメニューを選択します。

①

[Menu] ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の [Sync +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、「音声の調整」を選択します。



②

本体の [← Enter] (リモコンの場合は [Enter])ボタンを押して決定します。

③

本体の [Sync +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンでサブメニューを選択します。



これ以降は、以下の操作をおこなってください。

- ・音量の調整 (音量) 参照53 ページ
- ・高音の調整 (高音) 参照54 ページ
- ・低音の調整 (低音) 参照54 ページ
- ・音の広がり調整 (SRS SPACE) 参照55 ページ
- ・音の奥行き調整 (SRS CENTER) 参照55 ページ
- ・出荷時の初期設定に戻す (初期化) 参照56 ページ

音量の調整(音量)

- ① 本体の **Tracking +、-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで、音を聞きながら音量を調整します。



+ : 音量が大きくなります。

- : 音量が小さくなります。

- ② **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
音声の調整の他のサブメニューを設定するときは、**Sync +、-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンでサブメニューを選択します。

高音の調整(高音)

- ① 本体の **Tracking +、-**(リモコンの場合は **Enter**)ボタンで、音を聞きながら高音を調整します。



+ : 高音が強くなります。
- : 高音が弱くなります。

- ② **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
音声の調整の他のサブメニューを設定するときは、**Sync +、-**(リモコンの場合は **Enter**)ボタンでサブメニューを選択します。

低音の調整(低音)

- ① 本体の **Tracking +、-**(リモコンの場合は **Enter**)ボタンで、音を聞きながら低音を調整します。



+ : 低音が強くなります。
- : 低音が弱くなります。

- ② **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
音声の調整の他のサブメニューを設定するときは、**Sync +、-**(リモコンの場合は **Enter**)ボタンでサブメニューを選択します。

音の広がり調整(SRS SPACE)

- ① 本体の **Tracking +、-**(リモコンの場合は**Enter**)ボタンで、音を聞きながら音声の広がりを調整します。



+ : 音声の広がりが大きくなります。
- : 音声の広がりが小さくなります。

- ② **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
音声の調整の他のサブメニューを設定するときは、**[Sync +、 -]**(リモコンの場合は**[Enter]**)ボタンでサブメニューを選択します。

音の奥行き調整(SRS CENTER)

- ① 本体の **Tracking +、-**(リモコンの場合は**Enter**)ボタンで、音を聞きながら音声の奥行きを調整します。



+ : 音声の奥行きが深くなります。
- : 音声の奥行きが浅くなります。

- ② **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
音声の調整の他のサブメニューを設定するときは、**[Sync +、 -]**(リモコンの場合は**[Enter]**)ボタンでサブメニューを選択します。

ポイント >>

- ・出荷時の初期値は、117ページを参照してください。
- ・映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

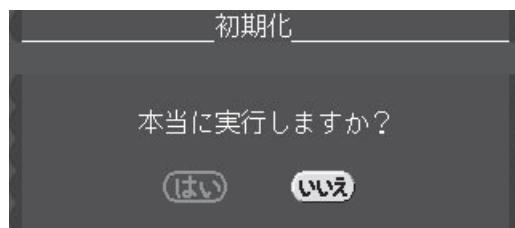
出荷時の初期値に戻す(初期化)

音声の調整値を初期値に戻します。

- 1 本体の **[← Enter]**(リモコンの場合は **[Enter]**)ボタンを押してサブメニューを表示します。

初期化  **実行**

- 2 本体の **[Tracking +、 -]**(リモコンの場合は **[Enter]**)ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
 - ・「はい」を実行すると、初期化を実行して初期値に戻ります。
 - ・「いいえ」を実行すると、初期値に戻さないでサブメニューに戻ります。手順④に進みます。



- ポイント >>
- 音声の調整の他のサブメニューを設定するときは、**[Sync +、 -]**(リモコンの場合は **[Enter]**)ボタンでサブメニューを選択します。

- 3 本体の **[← Enter]**(リモコンの場合は **[Enter]**)ボタンを押して実行します。
- 4 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

終了する

終了

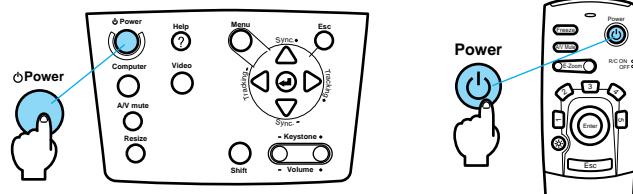
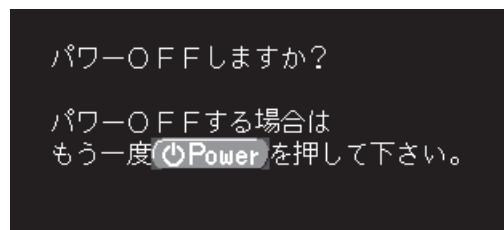
ポイント >>

Powerボタンを1秒以上押し続けても終了できます。

1

Powerボタンを押します。

パワーOFF確認のメッセージが表示されます。



ポイント >>

電源を切りたくないときは他のボタンを押してください。また、そのまま何もしないと7秒後にメッセージが消えます。

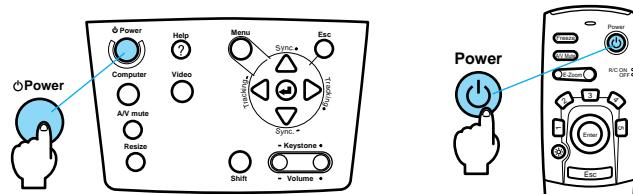
2

もう一度Powerボタンを押します。

ランプが消灯し「オペレーションインジケータ」がオレンジに点滅します。

「オペレーションインジケータ」はクールダウン終了後にオレンジの点灯に変わります。(スタンバイ状態)

クールダウンにかかる時間は、外気温等によって異なります。



ポイント ➤➤

- ・「オペレーションインジケータ」がオレンジに点滅している時は、クールダウン*（ランプを冷やす動作）中です。クールダウン中はボタン操作ができません。クールダウンが終了し、「オペレーションインジケータ」がオレンジの点灯になってから、ボタン操作ができるようになります。
- ・コンセントから電源プラグを抜かないと、オペレーションインジケータは消灯しません。

△注意

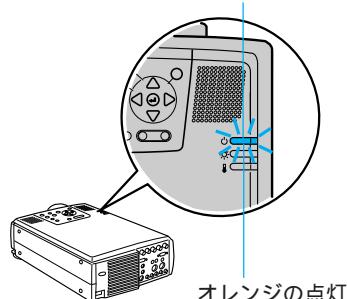
「オペレーションインジケータ」がオレンジに点滅しているときは、「電源プラグ」をコンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交換時期が早くなります。

ポイント ➤➤

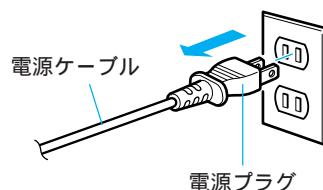
リモコンのR/C ON OFFスイッチを「OFF」にしないと少量の電流がリモコンに供給され電池が消耗します。長時間リモコンを使わないときや移動の際にはR/C ON OFFスイッチを「OFF」にしてください。

- 3** 「オペレーションインジケータ」がオレンジ色の点灯になっていることを確認します。

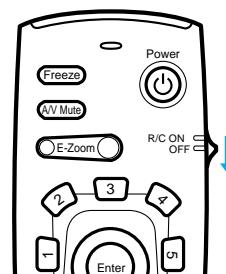
オペレーションインジケータ



- 4** 「電源プラグ」をコンセントから抜きます。



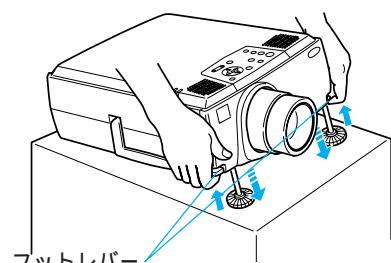
- 5** リモコンのR/C ON OFFスイッチを「OFF」にします。



収納のしかた

投写が終ったら、フットレバーを本体に収納してください。

- 1 本体を手で支えながらフットレバーを指で引き上げ、ゆっくり本体を下に降ろします。
- 2 レンズカバーを取り付けてください。



ビデオ機器映像を写す

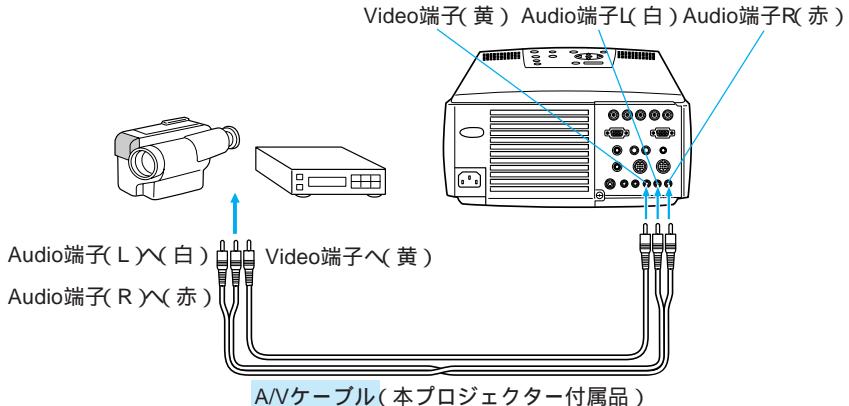
ビデオ機器との接続	60
外部オーディオ機器で音を出す	62
投写する	63
調整する	66
終了する	76

ビデオ機器との接続

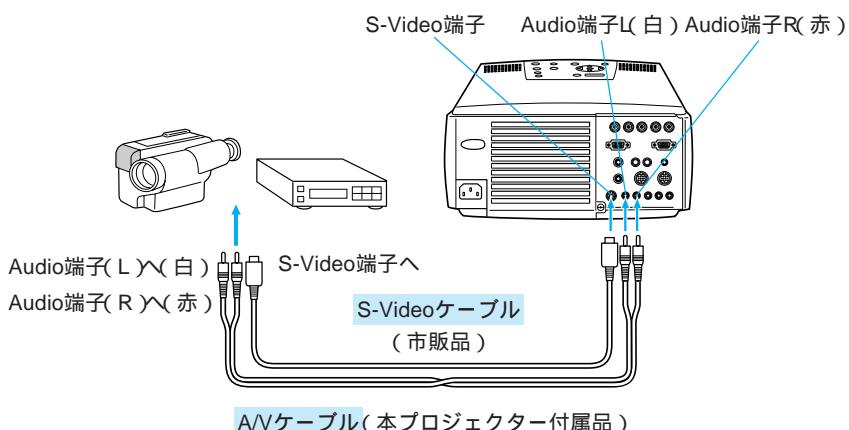
ポイント >>

オーディオ入力について
オーディオ信号は、選択された映像の音声が出力されます。

コンポジット映像信号を入力するとき



S映像信号を入力するとき

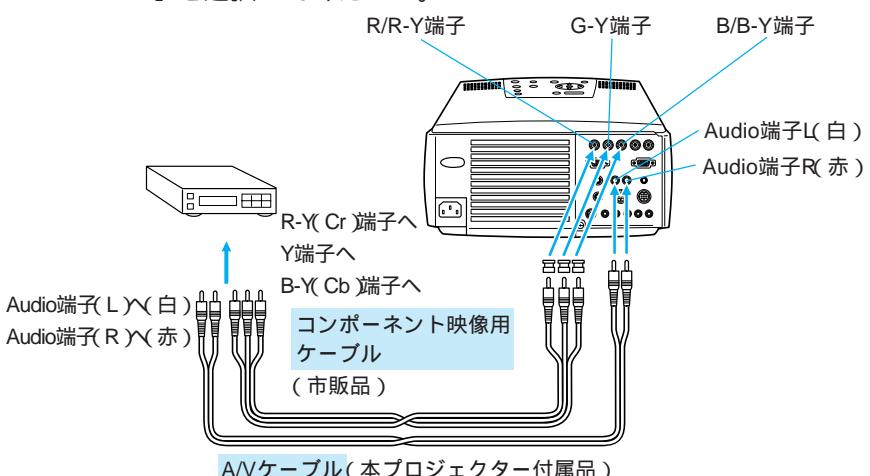


ポイント >>

- コンポーネント映像ケーブルは、市販品をご購入ください。プロジェクター側のコネクタはBNCタイプ、ビデオ機器側は、お使いのビデオ機器に合わせてください。
- ビデオ機器とプロジェクターは、次のように接続してください。
ビデオ機器 プロジェクター
R-Y (Cr) R/R-Y
Y G-RCG
B-Y (Cb) B/B-Y

コンポーネント(色差*)映像信号を入力するとき

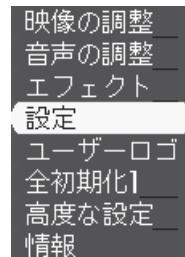
コンポーネント(色差)映像を投写するときは、次ページの操作で「YCrCb」を選択してください。



BNC端子の入力モード設定(BNC)

BNC 端子を使うときの入力映像信号のモードを設定します。

- 1 **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の **Sync +、 -** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで、「設定」を選択します。



- 2 本体の **← Enter** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンを押します。
- 3 本体の **Sync +、 -** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで、「BNC」を選択します。



- 4 本体の **Tracking +、 -** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで、「YCrCb」を選択します。

BNC :RGB :YCrCb

RGB :コンピュータ信号を使うとき
YCrCb :ビデオ信号を使うとき

- 5 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
設定の他のサブメニューを設定するときは、
Sync +、 - (リモコンの場合は **Enter**) ボタンでサブメニューを選択します。

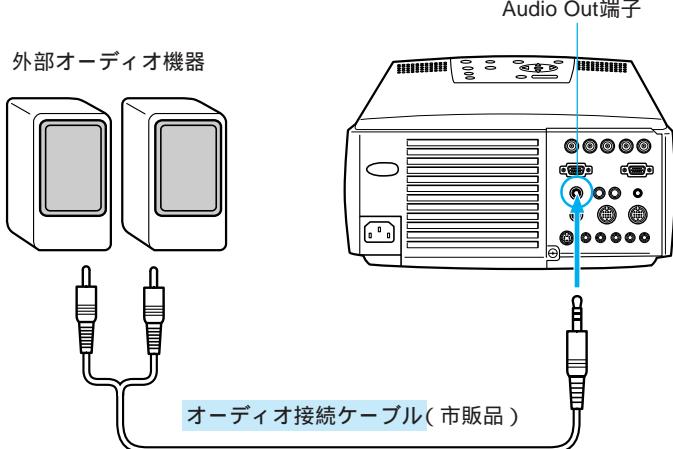
外部オーディオ機器で音を出す

本機の「Audio Out」端子とPAシステムやアクティブスピーカシステムなどのアンプ内蔵スピーカーを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。

市販の **オーディオ接続ケーブル(ピンプラグ) 3.5mm(ステレオミニジャックプラグ)**などを使用します。

ポイント >>

- ・音声出力端子へピンプラグを入れると、音声は外部へ自動的に出力されます。このとき本体のスピーカから音声は出力されません。
- ・投写されている映像の音声が出力されます。
- ・オーディオ接続ケーブルは、接続する外部オーディオ機器の接続部形状をよく確認してからお買い求めください。



投写する

それでは、ビデオ機器からの映像を写してみましょう。

投写

電源ケーブルの接続は「コンピュータ映像を写す」「投写する」をご覧ください。[28 ページ](#)

⚠ 警告

- ・電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。強い光で視力障害などの原因となります。
- ・電源ケーブルは、付属品をご使用ください。付属品以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

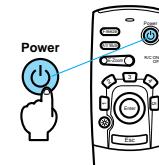
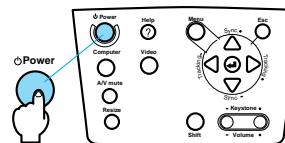
レンズカバーを取り付けたままで投写しないでください。熱でレンズカバーが変形することがあります。

- ① リモコンの R/C ON OFF スイッチを「ON」にします。



- ② Power ボタンを押し電源を入れます。

「オペレーションインジケータ」が緑の点滅に変わり、投写が始まります。



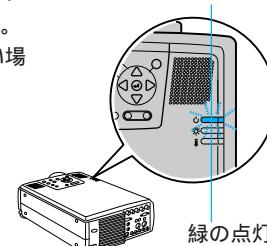
ポイント ➤
「オペレーションインジケータ」がオレンジに点滅中はボタン操作ができません。

約30秒後「オペレーションインジケータ」が緑色の点滅から点灯に变ります。



「映像信号が入力されていません」と表示されます。
設定により表示されない場合があります。
[参照 107 ページ](#)

オペレーションインジケータ



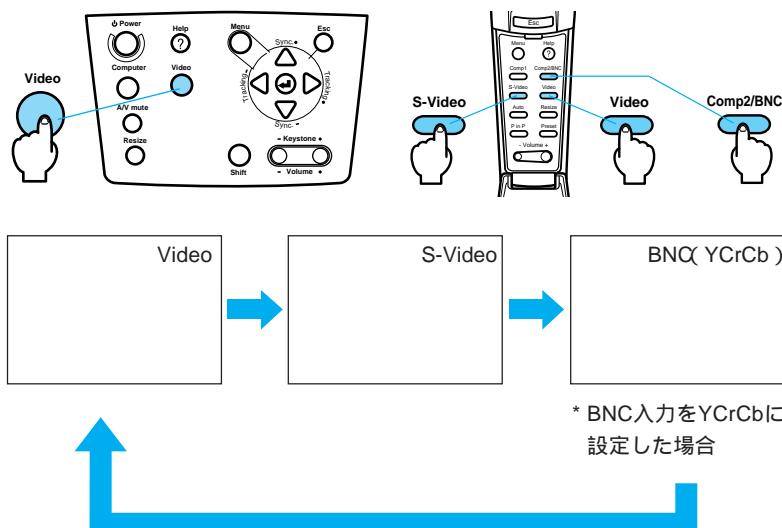
ポイント >>

接続機器がビデオ機器だけの場合は、**Video**ボタンを押さなくても、ビデオ機器映像が投写されます。

3

Videoボタンを押し接続されている端子を選びます。

Videoボタンは1回押すごとにビデオ、S-ビデオ、コンポーネントビデオ(BNC入力をYCrCbに設定した場合)の映像を切り替えます。(リモコンの場合は、**Video**、**S-Video**または**Comp2/BNC**ボタンで切り替えます)



4

ビデオ機器の電源を入れ、投写を開始します。

5

ビデオ機器の**再生**ボタンや**PLAY**ボタンを押します。

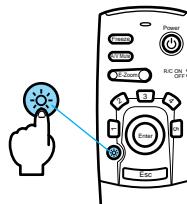
「映像信号が入力されていません」と表示されたままのときは、接続をもう一度確認してください。

- ・「映像信号が入力されていません」と表示されたままのときは、接続をもう一度確認してください。
- ・DVDプレーヤーなどからワイドテレビ対応(16:9の映像)の信号を入力したときは、**Resize**ボタンを押してください。(**Resize**ボタンを1回押すごとに、4:3へ圧縮した映像と16:9のワイド映像が切り替わります。)

リモコンのボタンを光らせる (照光) (リモコンのみ)

リモコンのボタンを約 10 秒間光らせます。

- ①  ボタンを押すとリモコンのイルミネーションが点灯します。
(約 10 秒間、何も操作しないと消灯します。)



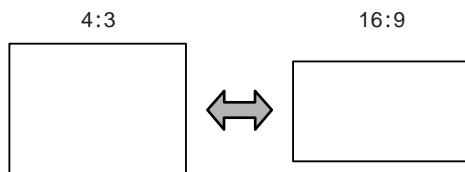
映像の調整

以下の操作は、「コンピュータ映像を写す」をご覧ください。

- | | |
|-------------------|----------|
| ・投写位置の調整 | 参照32 ページ |
| ・スクリーンサイズ(ズーム)の調整 | 参照33 ページ |
| ・フォーカス(ピント)の調整 | 参照33 ページ |
| ・キーストーン補正 | 参照34 ページ |
| ・レンズシフト機能 | 参照36 ページ |

画像の調整(本体およびリモコンのボタンでの調整)

4:3の映像と16:9の映像を切り替える **Resize**
デジタルリビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で
投写できます。

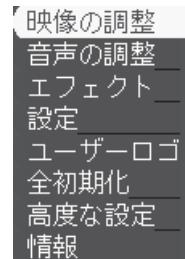


1回押すごとに切り替えります。

画像の調整(メニュー画面での調整)

メニューを画面に表示することで、各種調整をおこなうことができます。

- 1** **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の **Sync +、 -** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで、「映像の調整」を選択します。



- 2** 本体の **← Enter** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンを押します。
- 3** 本体の **Sync +、 -** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで、調整する項目を選択します。



ポイント
コンポーネントビデオのときは、コンピュータ映像の調整メニューになります。
参照 41 ページ

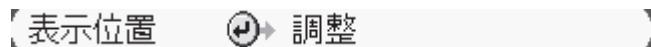
これ以降の調整は、以下の操作をおこなってください。

- ・表示位置の調整 (表示位置) 参照 68 ページ
- ・明るさの調整 (明るさ) 参照 68 ページ
- ・色の明暗の差を調整 (コントラスト) 参照 69 ページ
- ・色の濃さ調整 (色の濃さ) 参照 69 ページ
- ・色合いの調整 (色合い) 参照 70 ページ
- ・映像のシャープ感を調整 (シャープネス) 参照 70 ページ
- ・出荷時の初期値に戻す (初期化) 参照 71 ページ

表示位置の調整(表示位置)

映像の表示位置を上下、左右に移動します。

- 1 本体の **[Enter]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで押してサブメニューを表示します。



- 2 本体の **[Sync +、 -]**、**[Tracking +、 -]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで映像の位置を調整します。



- 3 **[Menu]** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
[Esc] ボタンを押すと、映像の調整サブメニューに戻ります。

明るさの調整(明るさ)

- 1 映像を見ながら、本体の **[Tracking +、 -]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで調整します。



+ : 映像が明るくなります。

- : 映像が暗くなります。

- 2 **[Menu]** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、**[Sync +、 -]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンでサブメニューを選択します。

色の明暗の差を調整(コントラスト)

- ① 映像を見ながら、本体の **Tracking +**、**-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで調整します。



+ : 明暗の差が大きくなります。
- : 明暗の差が小さくなります。

- ② **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、**Sync +**、**-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンでサブメニューを選択します。

色の濃さ調整(色の濃さ)

- ① 映像を見ながら、映像色を本体の **Tracking +**、**-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで調整します。



+ : 色が濃くなります。
- : 色が薄くなります。

- ② **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>
映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、**Sync +**、**-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンでサブメニューを選択します。

ポイント >>

色合い調整は、ビデオ映像を投写しているときのみおこなえます。

色合いの調整(色合い)

①

映像を見ながら、色合いを本体の **Tracking +、 -** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで調整します。



+ : 緑色が強くなります。

- : 赤色が強くなります。

ポイント >>

映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、**Sync +、 -** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンでサブメニューを選択します。

②

Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

映像のシャープ感を調整(シャープネス)

①

映像を見ながら、シャープ感を本体の **Tracking +、 -** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで調整します。



+ : シャープ感が強くなり、映像がはっきりします。

- : シャープ感が弱くなり、映像がソフトになります。

ポイント >>

映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、**Sync +、 -** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンでサブメニューを選択します。

②

Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>

- ・出荷時の初期値は、117ページを参照してください。
- ・映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

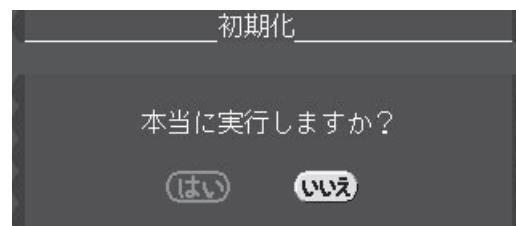
出荷時の初期値に戻す(初期化)

映像の調整値を初期値に戻します。

- 1 本体の **[← Enter]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンを押してサブメニューを表示します。

初期化 実行

- 2 本体の **[Tracking +、 -]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
 - ・「はい」を実行すると、初期値に戻ります。
 - ・「いいえ」を実行すると、初期値に戻さないでサブメニューに戻ります。手順④に進みます。



- 3 本体の **[← Enter]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンを押して実行します。

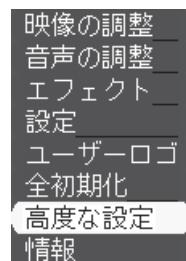
ポイント >>

- 映像の調整の他のサブメニューを設定するときは、**[Sync +、 -]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンでサブメニューを選択します。

- 4 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

使用するビデオ信号方式設定(ビデオ信号方式)

- 1** **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の **Sync +、 -** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで、「高度な設定」を選択します。



- 2** 本体の **← Enter** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンを押します。
- 3** 本体の **Sync +、 -** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで、「ビデオ信号方式」を選択します。



- 4** 本体の **← Enter** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンを押してサブメニューを表示します。

ポイント >>

Auto : 自動的にビデオ信号を設定します。
(Auto を選択するとビデオ信号を自動判別しますが、PAL(60Hz)方式の場合は、Manualで設定してください。)

- 5 本体の [Sync +、 -] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンで、使用するビデオ信号方式を選択します。



ポイント >>

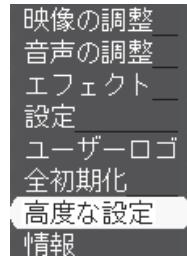
[Esc] ボタンを押すと高度な設定のサブメニューに戻ります。

- 6 [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

カラー設定の自動/手動調整(カラー設定)

映像の色温度*を調整するときに使います。黒レベル、白レベル調整はプロジェクターを1台で使用するときは、調整の必要はありません。

- ① **[Menu]** ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の **[Sync +、 -]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで、「高度な設定」を選択します。



- ② 本体の **[← Enter]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンを押して決定します。
- ③ 本体の **[Sync +、 -]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで、「カラー設定」を選択します。



- ④ 本体の **[Tracking +、 -]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで、選択します。
 - ・「Auto」を選択すると、自動的にカラー調整をします。
 - 手順⑧に進みます。
 - ・「Manual」を選択すると、サブメニューが表示されます。

【 カラー設定 :**Auto** **Manual** **选拆** 】

- ⑤ 本体の **[← Enter]** (リモコンの場合は **[Enter]**) を押します。
- ⑥ 設定する項目を本体の **[Sync +、 -]** (リモコンの場合は **[Enter]**) ボタンで選択します。

ポイント >>

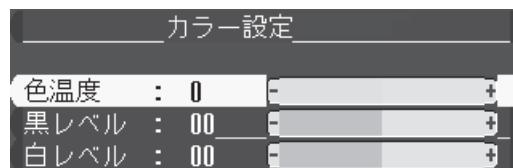
- ・他も調整するときは、**Sync +、-**（リモコンの場合は**Enter**）ボタンで選択し手順⑦と同じように調整します。
- ・色温度設定の目安は以下の通りです。

メニュー設定値 色温度

-5	5000K
-4	5500K
-3	6000K
-2	6500K
-1	6700K
0	7000K
+1	7500K
+2	8000K
+3	8500K
+4	9300K
+5	10000K

⑦

本体の**Tracking +、-**（リモコンの場合は**Enter**）ボタンで設定します。



押したボタンに合わせてバーが動き、数値が変化します。

色温度

+ : 色温度が高くなります。（青が強くなります。）

- : 色温度が低くなります。（赤が強くなります。）

黒レベル

+ : 黒が強くなります。

- : 黒が弱くなります。

白レベル

+ : 白が強くなります。

- : 白が弱くなります。

ポイント >>

⑧

Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

Esc ボタンを押すと高度な設定のサブメニューに戻ります。

音声の調整

以下の調整は、「コンピュータ映像を写す」をご覧ください。

- ・本体のボタンでの調整
- ・リモコンのボタンでの調整
- ・メニュー画面での調整

参照 51 ページ

参照 51 ページ

参照 52 ページ

終了する

終了

以下の調整は、「コンピュータ映像を写す」をご覧ください。

- ・終了する
- ・収納のしかた

 57 ページ

 58 ページ

プレゼンテーションを演出する

ワイヤレスマウスを使う	78
映像を部分拡大する	81
エフェクト機能を使う	82
ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使う	92
フリーズ機能を使う	94
ユーザーLOGOを投写する	95
ヘルプ機能を使う	102

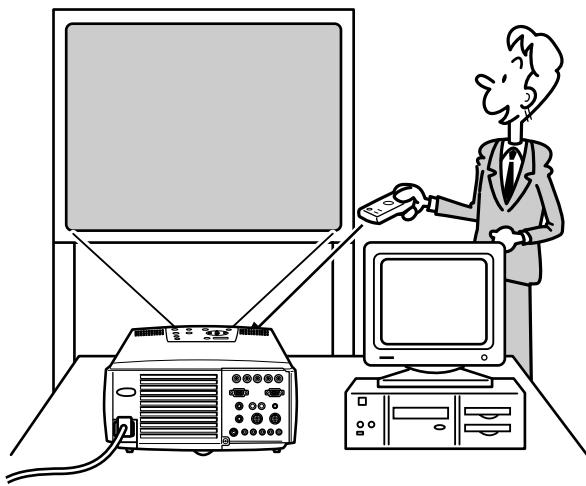
ワイヤレスマウスを使う

付属のリモコンで、離れた場所にあるコンピュータを操作できます。

- ・リモコンの **Esc** ボタンがマウスの右クリックボタンと、リモコンの **Enter** ボタンがマウスの左クリックと同じ働きをします。
- ・リモコンでマウス操作ができるため、スクリーン付近でのプレゼンテーションが一人でできます。

プレゼンター

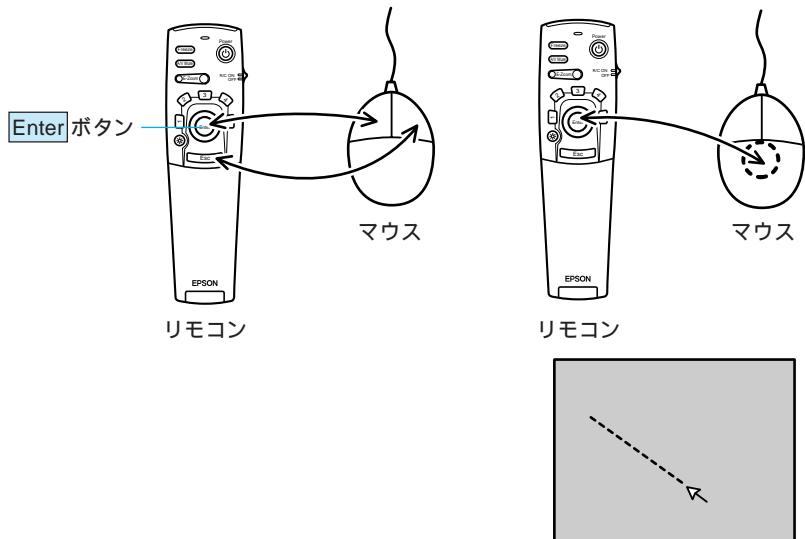
一人でのプレゼンテーションが可能です



ポイント >>

- ・コンピュータでマウスポタンの左右を変更したときは、右の図と操作が逆になります。
- ・エフェクト・P in P・Eズーム機能使用中はこの機能は使えません。
- ・ポインタの移動速度を変えることができます。

[参照90ページ](#)

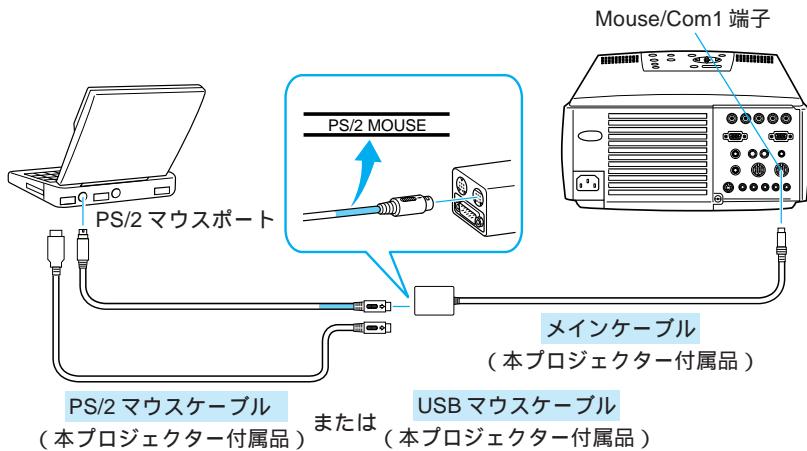


接続のしかた

接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。

△注意

電源が入ったまま接続すると誤作動や故障の原因になります。



パソコンのUSB*ポートが使えるときは、USBマウスケーブルを使用することができます。

Windows : USBインターフェイス標準搭載のWindows98
プリインストールモデルのみ対応します。

Windows3.1/95 から Windows98へのアップ
グレード環境では、動作を保証いたしません。

Macintosh : USBインターフェイス標準搭載モデルのみ
対応します。

* USBインターフェイスは、USB対応機器すべての動作
を保証するものではありません。

接続しているコンピュータによりマウスケーブルを変えてください。

IBM PC/AT互換機(DOS/V機)のとき

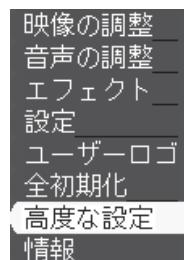
- ・PS/2マウスのとき PS/2マウスケーブルを使用
- ・シリアルマウスのとき シリアルマウスケーブルを使用

Macintoshのとき MACマウスケーブルを使用してください。

コンピュータ制御端子設定(Mouse/Com)

Mouse/Com端子へ接続した2台のコンピュータでプロジェクターの制御をするとき、どちらのコンピュータで制御するかを選択できます。

- ① **Menu**ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の**Sync +、-**(リモコンの場合は**Enter**)ボタンで、「高度な設定」を選択します。



- ② 本体の**←(Enter)**(リモコンの場合は**Enter**)ボタンを押して決定します。
- ③ 本体の**Sync +、-**(リモコンの場合は**Enter**)ボタンで、「Mouse/Com」を選択します。



- ④ 本体の**Tracking +、-**(リモコンの場合は**Enter**)ボタンで、選択します。

Mouse/Com	:01	02	01↔2
------------------	-----	----	------

- 1 : Mouse/Com1に接続したコンピュータで制御できます。
2 : Mouse/Com2に接続したコンピュータで制御できます。
1 2 : 映像が選択されているコンピュータで制御できます。

- ⑤ **Menu**ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント ➤➤

初期設定は1 2に設定されています。

ポイント ➤➤

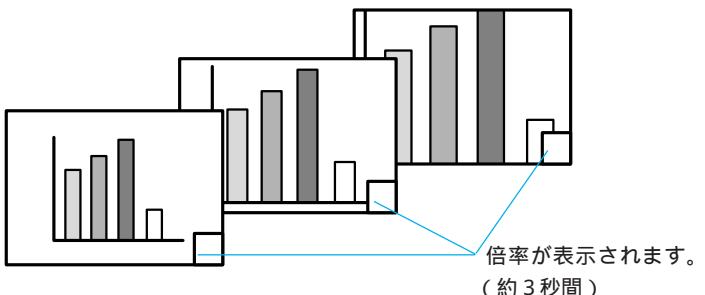
高度な設定の他のサブメニューを設定するときは、**Sync +、-**(リモコンの場合は**Enter**)ボタンでサブメニューを選択します。

映像を部分拡大する

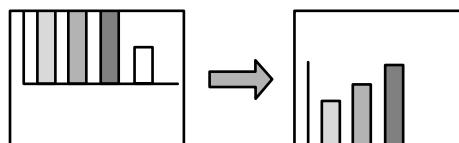
リモコンの **E-Zoom** ボタンで調整(リモコンのみ)



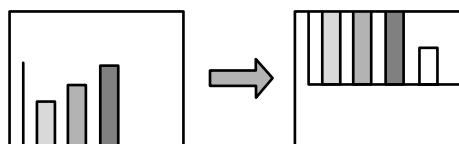
- ① **E-Zoom** ボタンを押すと画面が拡大表示または縮小表示されます。(**Esc** ボタンを押すと解除されます。)



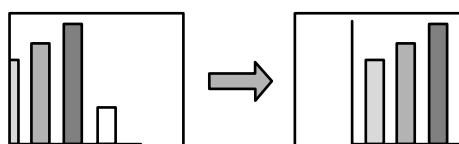
- **Enter** ボタンを上に倒すと、上方向にスクロールされます。



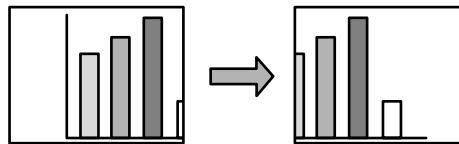
- **Enter** ボタンを下に倒すと、下方向にスクロールされます。



- **Enter** ボタンを左に倒すと、左方向にスクロールされます。



- **Enter** ボタンを右に倒すと、右方向にスクロールされます。



EPSON PROJECTOR

エフェクト機能を使う

エフェクト機能を使う Effect(リモコンのみ)

リモコンの Effect1 ~ Effect4 ボタンを押すことにより、プレゼンテーション中の映像に装飾を付けることができます。(Esc ボタンを押すと、エフェクト機能は解除されます。)

装飾の設定は「エフェクト機能の詳細を設定する（エフェクトメニュー）」をご覧ください。

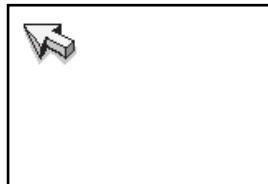
[参照](#) 86ページ（もっと高度な装飾をしたいときは、付属の Projector Software をお使いください。）

ポイント >>

- ・Esc ボタンを押すと、カーソルが消えます。
- ・Effect5 ボタンを押すと、装飾されたものが消えます。

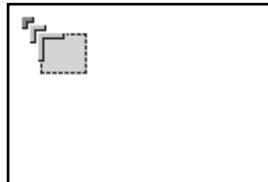
Effect1 ボタン(カーソル/スタンプ)

- ① Effect1 ボタンを押します。
- ② リモコンの Enter ボタンで、カーソル/スタンプの位置を移動します。
- ③ Enter ボタンを押すと、カーソル位置にスタンプとして表示されます。



Effect2 ボタン(四角)

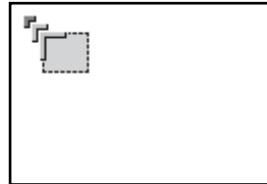
- ① Effect2 ボタンを押します。
- ② カーソルを Enter ボタンで始点まで移動します。



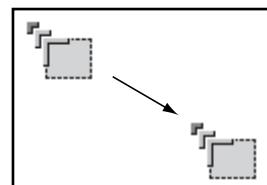
ポイント >>

[Esc]ボタンを押すと、始点の決定をキャンセルできます。

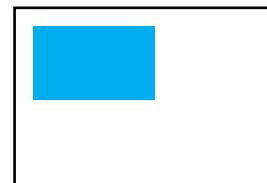
- ③ [Enter]ボタンを押して始点を決定します。



- ④ カーソルを[Enter]ボタンで終点まで移動します。

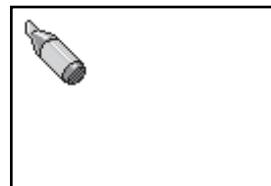


- ⑤ [Enter]ボタンを押して終点を決定します。



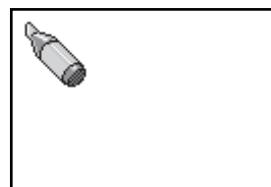
Effect3 ボタン(マーカー)

- 1 Effect3 ボタンを押します。
- 2 カーソルを Enter ボタンで始点まで移動します。

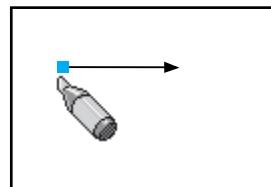


- 3 Enter ボタンを押して始点を決定します。

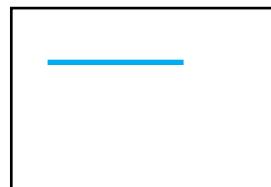
ポイント >>>
Esc ボタンを押すと、始
点の決定をキャンセルで
きます。



- 4 カーソルを Enter ボタンで終点まで移動します。



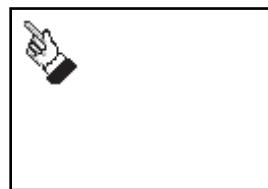
- 5 Enter ボタンを押して終点を決定します。



ラインが引かれます。

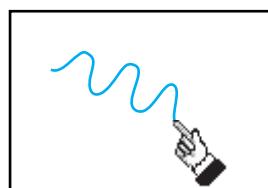
Effect4 ボタン(フリーライン)

- ① Effect4 ボタンを押します。
- ② カーソルを Enter ボタンで始点まで移動します。



ポイント >>
Esc ボタンを押すと、始点の決定をキャンセルできます。

- ③ Enter ボタンを押して決定し、押したまま Enter ボタンを倒すと、倒した方向にラインを描いていきます。



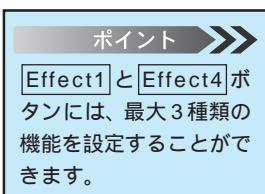
- ④ Enter ボタンを離すと描画は終了します。

Effect5 ボタン(クリア)

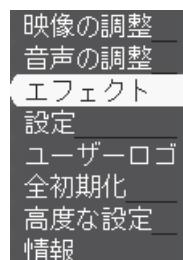
- ① Effect5 ボタンを押します。
装飾された四角、マーカーなどが消えます。

エフェクト機能の詳細を設定する(エフェクトメニュー)

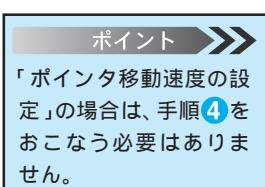
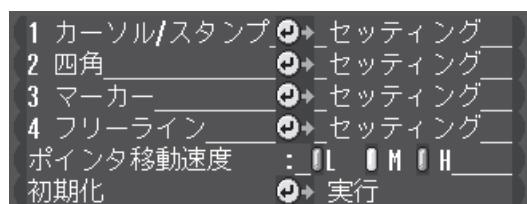
リモコンの [Effect1] ~ [Effect4] ボタンに割り当てられている機能の詳細設定をすることができます。また、リモコンのポイントア移動速度を変えることができます。



- 1** Menu ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の Sync +、- (リモコンの場合は Enter)ボタンで「エフェクト」を選択します。



- 2** 本体の < Enter (リモコンの場合は Enter)ボタンを押して決定します。
- 3** 本体の Sync +、- (リモコンの場合は Enter)ボタンでサブメニューを選択します。



- 4** 本体の < Enter (リモコンの場合は Enter)ボタンを押します。これ以降は、以下の操作をおこなってください。
- ・カーソル/スタンプの設定(カーソル/スタンプ) [参照 87 ページ](#)
 - ・四角の設定(四角) [参照 88 ページ](#)
 - ・マーカーの設定(マーカー) [参照 88 ページ](#)
 - ・フリー ラインの設定(フリー ライン) [参照 89 ページ](#)
 - ・ポインタ 移動速度の設定(ポインタ 移動速度) [参照 90 ページ](#)
 - ・出荷時の初期値に戻す(初期化) [参照 91 ページ](#)

カーソル/スタンプの設定(カーソル/スタンプ)

リモコンの [Effect1] ボタンに割り当てられているカーソル、スタンプ機能の詳細設定をします。

ポイント >>

[Effect1] ボタンを押すごとに、種類 1 2 3 1 の順に設定されたカーソル / スタンプを表示します。

- 1 本体の [Tracking +、-] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンで、割り当てるカーソル/スタンプの種類を選択します。



- 2 本体の [Sync +、-] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンで、バーを「形状」に移動します。
- 3 [Tracking +、-] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンでカーソル/スタンプの形状を選択します。
- 4 本体の [Sync +、-] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンで、バーを「倍率」に移動します。
- 5 本体の [Tracking +、-] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンでカーソル/スタンプの表示倍率を選択します。

ポイント >>

続けて [Effect1] ボタンの設定をするときは、バーを「種類」に移動し手順①からの操作をおこないます。

- 6 [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

[Esc] ボタンを押すとエフェクトのサブメニューに戻ります。

四角の設定(四角)

リモコンの [Effect2] ボタンに割り当てられている四角描画機能の詳細設定をします。

- 1 本体の [Sync +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、バーを「色」に移動します。



- 2 本体の [Tracking +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで色を選択します。
- 3 本体の [Sync +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、バーを「トラック形」に移動します。
- 4 本体の [Tracking +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで選択します。
 - ON : カドを丸くします。
 - OFF : カドを丸くしません。
- 5 [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>

[Esc] ボタンを押すとエフェクトのサブメニューに戻ります。

マーカーの設定(マーカー)

リモコンの [Effect3] ボタンに割り当てられているマーカーの色と線幅の設定をします。

- 1 本体の [Sync +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、バーを「色」に移動します。



- 2 本体の [Tracking +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで色を選択します。
- 3 本体の [Sync +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、バーを「線幅」に移動します。
- 4 本体の [Tracking +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで線幅を2~32ドット(2ドットステップ)で選択します。

ポイント >>

[Esc] ボタンを押すとエフェクトのサブメニューに戻ります。

- 5 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

フリーラインの設定(フリーライン)

リモコンの Effect4 ボタンに割り当てられているフリーライン描画機能の詳細設定をします。

ポイント >>

[Effect4] ボタンを押すごとに、種類 1 2 3 1 の順に設定されたカーソル / スタンプを表示します。

- 1 本体の Tracking +、- (リモコンの場合は Enter)ボタンで、割り当てるフリーラインの種類を選択します。



- 2 本体の Sync +、- (リモコンの場合は Enter)ボタンで、バーを「色」に移動します。

- 3 本体の Tracking +、- (リモコンの場合は Enter)ボタンで色を選択します。

- 4 本体の Sync +、- (リモコンの場合は Enter)ボタンで、バーを「線幅」に移動します。

- 5 本体の Tracking +、- (リモコンの場合は Enter)ボタンで線幅を2~32ドット(2ドットステップ)で選択します。

ポイント >>

続けて Effect4 ボタンに機能を割り当てるときは、バーを「種類」に移動し手順①からの操作をおこないます。

ポイント >>

[Esc] ボタンを押すとエフェクトのサブメニューに戻ります。

- 6 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>

リモコンの [Effect1] ボタンを押してポインタを表示させ、リモコンの [Enter] ボタンを動かして移動速度を確認してください。

ポインタ移動速度の設定(ポインタ移動速度)

ポインタの移動速度を設定をします。

- ① 本体の [Tracking +、-] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、ポインタ移動速度設定します。

ポインタ移動速度 : **L M H**

L : 遅い M : 中間 H : 速い

ポイント >>

エフェクトの他のサブメニューを設定するときは、[Sync +、-] (リモコンの場合は [Enter])ボタンでサブメニューを選択します。

- ② [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>

- ・出荷時の初期値は117ページを参照してください。
- ・映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

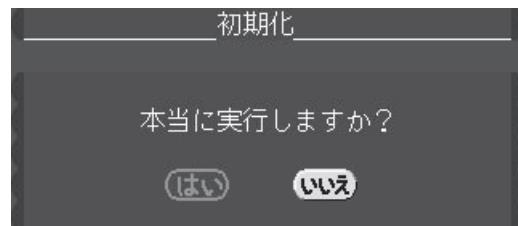
出荷時の初期値に戻す(初期化)

エフェクト機能の調整値を初期値に戻します。

- 1 本体の [Enter] (リモコンの場合は [Enter])ボタンを押してサブメニューを表示します。

初期化 実行

- 2 本体の Tracking +、- (リモコンの場合は [Enter])ボタンで「いい」または「いいえ」を選択します。
 - ・「いい」を実行すると、初期化が実行され初期値に戻ります。
 - ・「いいえ」を実行すると、初期値に戻さないでエフェクトのサブメニューに戻ります。手順④に進みます。



- 3 本体の [Enter] (リモコンの場合は [Enter])ボタンを押して実行します。

- 4 [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>

- エフェクトの他のサブメニューを設定するときは、 (リモコンの場合は [Enter])ボタンでサブメニューを選択します。

ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使う

映像に子画面を表示する P in P(リモコンのみ)

現在表示されているコンピュータ映像の中に、ビデオ映像を子画面として表示することができます。

ポイント >>

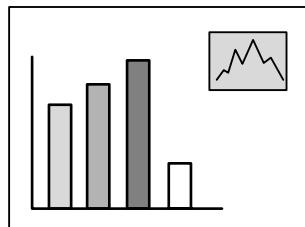
初期設定(初期化)時の表示は、次のようになります。

- ・子画面のサイズ：
320 × 240 ドット
- ・親画面の入力映像：
Computer
- ・子画面の入力映像：
Video

①

P in P ボタンを押します。

(もう一度P in P ボタンを押すか、Esc ボタンを押すと解除されます。)

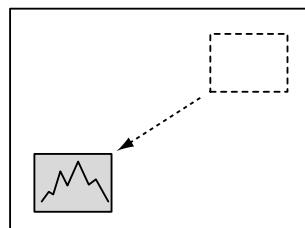


ポイント >>

子画面の位置変更とサイズ変更は、Enter ボタンを押す前におこないます。

①

Enter ボタンを倒すと、子画面が倒した方向に移動します。

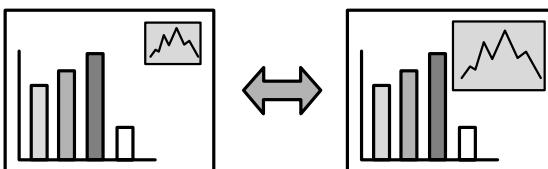


ポイント >>

- ・子画面の大きさは、入力されているコンピュータ映像の解像度により変わります。
- ・表示されるドット数は以下のとおりです。
 - 1 240 × 180
 - 0 320 × 240
 - + 1 400 × 300
 - + 2 480 × 360
 - + 3 560 × 420

①

E-Zoom ボタンを押すと、子画面が拡大または縮小されます。



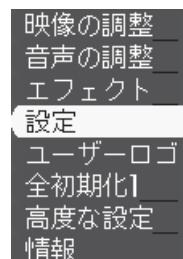
子画面を決定する

- ① [Enter] ボタンを押します。

子画面の入力ソースを設定する

ピクチャー・イン・ピクチャー機能で表示する子画面の映像ソースを設定します。

- ② [Menu] ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の [Sync +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、「設定」を選択します。



- ③ 本体の [← Enter] (リモコンの場合は [Enter])ボタンを押して決定します。

- ④ 本体の [Sync +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、「P in P」を選択します。

キーストーン	: 0	[←]	[+]
P in P	: []	コンポジット	[] S-Video
メッセージ	: [OFF]	黒	青 [] ロゴ
入力表示	: [ON]	[OFF]	
A/V Mute	: [OFF]	黒	青 [] ロゴ
BNC	: [RGB]	[YCrCb]	
DPMs	: [ON]	[OFF]	
初期化	[]	実行	

- ⑤ 本体の [← Enter] (リモコンの場合は [Enter])ボタンを押します。

- ⑥ 本体の [Tracking +、 -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、子画面として使用する映像ソースを選択します。

P in P : [] コンポジット [] S-Video

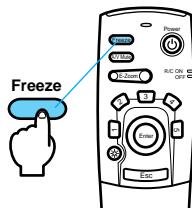
- ⑦ [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

フリーズ機能を使う

動いている映像を一時的に停止する Freeze(リモコンのみ)

動いている映像（ビデオなどの映像）を一時的に停止させることができます。

- ① Freezeボタンを押します。
(もう一度 Freezeボタンを押すと解除されます。)



EPSON PROJECTOR ユーザー口ゴを投写する

映像と音声を一時的に消しユーザー口ゴを投写する A/V Mute

A/V Mute* 時およびスタートアップ時にユーザー口ゴを投写することができます。

ポイント >>

ユーザー口ゴを投写するには、ユーザー口ゴ登録と設定が必要です。

[参照96, 99 ページ](#)

①

A/V Mute ボタンを押します。

もう一度 A/V Mute ボタンを押すか、音量を調整すると解除されます。

映像と音声を一時的に消したときの状態を変更することができます。「メニュー」「設定」「A/V Mute」で変更します。

[参照99 ページ](#)

黒を選択したとき



黒一色の映像になります。

青を選択したとき



青一色の映像（ブルーバック）になります。

ユーザー口ゴを選択したとき



オリジナルロゴなどを投写できます。

投写するユーザーロゴを編集する(ユーザーロゴメニュー)

現在表示されている映像をユーザーロゴとして使うことができます。

ポイント >>

- ・A/V ミュート時にユーザーロゴを表示するには「メニュー」「設定」「A/V Mute」で「ロゴ」が選択されている必要があります。

[参照99ページ](#)

- ・電源オン時にユーザーロゴを表示するには「メニュー」「高度な設定」「スタートアップスクリーン」で「ON」が選択されている必要があります。

[参照101ページ](#)

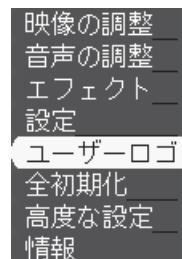
- ・映像信号が入力されていない時にユーザーロゴを表示するには「メニュー」「設定」「メッセージ」で「ロゴ」が選択されている必要があります。

[参照107ページ](#)

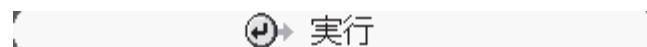
制限 >>

- 映像信号が入力されていないときは、「はい」の選択はできません。

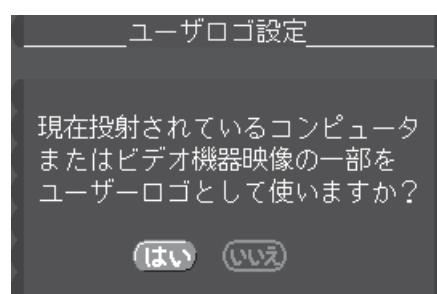
- 1 ユーザーロゴとして取り込みたい画面を表示します。
- 2 **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の **Sync +、-** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンで、「ユーザーロゴ」を選択します。



- 3 本体の **◀ Enter** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンを押してサブメニューを表示します。



- 4 本体の **Tracking +、-** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンを動かして「はい」を選択します。



ユーザーロゴとして使わないときは、「いいえ」を選択します。

- 5 本体の **◀ Enter** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンを押して決定します。

ポイント >>

- ・映像として取り込めるサイズは400×300ドットです。
- ・ビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変更されます。

6 本体の [Tracking +、-] または [Sync +、-] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンを動かしてユーザーロゴとして使いたい位置を選択します。

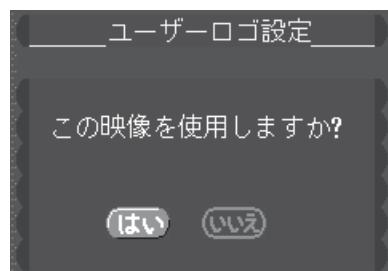


ポイント >>

- ユーザーロゴとして使う位置変更したいときは、「いいえ」を選択します。
「いいえ」を選択するとトップメニューに戻ります。

7 本体の [← Enter] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンを押して位置を決定します。

8 本体の [Tracking +、-] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンで「いいえ」を選択します。



9 本体の [← Enter] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンを押して決定します。

10 本体の [Tracking +、-] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンをで「倍率」を選択します。



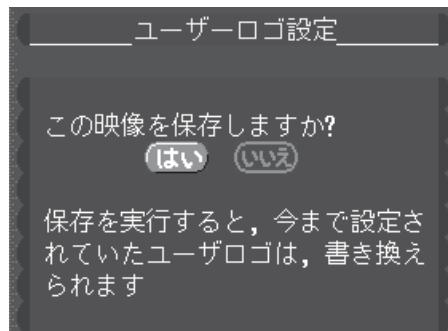
11 本体の [← Enter] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンを押して決定します。



ポイント >>

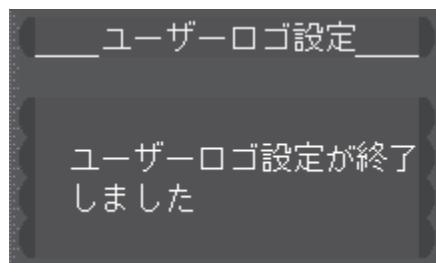
- ・「いいえ」を実行すると保存しないでトップメニューに戻ります。
- ・保存を実行すると、今まで設定されていたユーザーロゴは復元できません。
- ・保存にはしばらく時間がかかります。
保存中には砂時計が表示されます。
- 保存中はプロジェクターや接続している機器の操作は絶対にしないでください。故障の原因となります。

12 本体の **Tracking +、-** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンで「いいえ」を選択します。



13 本体の **← Enter** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンを押して実行します。

14 保存が終了すると「ユーザーロゴの保存が終了しました」のメッセージが表示されます。



ポイント >>

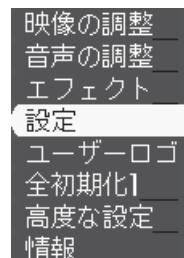
- Esc** ボタンを押すと、トップメニューに戻ります。

15 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

A/V Mute^{*}時の画面設定(A/V Mute)

プレゼンテーション中に一時的に映像を消し発表者を注目させるときなどに使います。[A/V Mute] ボタンを押したときに有効になります。

- ① [Menu] ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の [Sync +, -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、「設定」を選択します。



- ② 本体の [← Enter] (リモコンの場合は [Enter])ボタンを押して決定します。
- ③ 本体の [Sync +, -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、「A/V Mute」を選択します。



ポイント >>

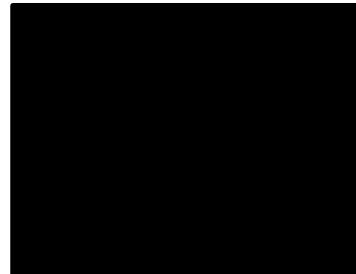
ロゴは「投写するユーザー ロゴを編集する(ユーザー ロゴメニュー)」をご覧ください。

参照96ページ

- 4 本体の Tracking +、- (リモコンの場合は Enter)ボタンで、A/V Mute時の画面を選択します。

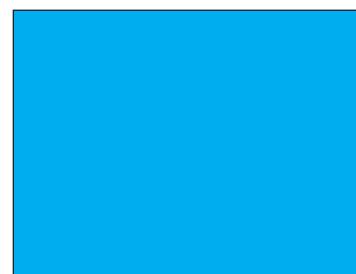
A/V Mute : 黒 青 ロゴ

黒を選択したとき



黒一色の映像になります。

青を選択したとき



青一色の映像(ブルーバック)になります。

ロゴを選択したとき



オリジナルロゴなどを投写できます。

ポイント >>

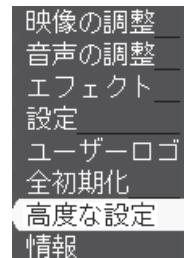
設定の他のサブメニューを設定するときは、

Sync +、- (リモコンの場合は Enter)ボタンでサブメニューを選択します。

- 5 Menu ボタンを押し、メニューを閉じます。

ウォームアップ時の映像設定(スタートアップスクリーン)
電源オン後、ウォームアップ状態時にユーザーロゴを約30秒間表示
したいときに使います。

- ① [Menu] ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の [Sync +、-] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、「高度な設定」を選択します。



- ② 本体の [← Enter] (リモコンの場合は [Enter])ボタンを押して決定します。
- ③ 本体の [Sync +、-] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、「スタートアップスクリーン」を選択します。



- ④ 本体の [Tracking +、-] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで、選択します。

スタートアップスクリーン: ON OFF

ON : 表示します。
OFF : 表示しません。

- ⑤ [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>

高度な設定の他のサブメニューを設定するときは、[Sync +、-] (リモコンの場合は [Enter])ボタンでサブメニューを選択します。

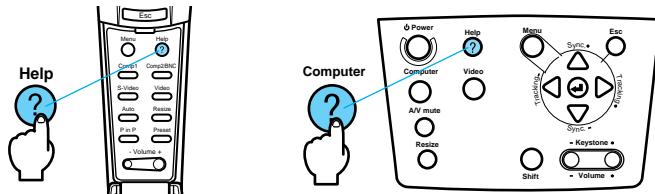
トラブルの解決方法を表示する Help

トラブル発生時の解決方法を、項目別に画面に表示することができます。困ったときにお使いください。

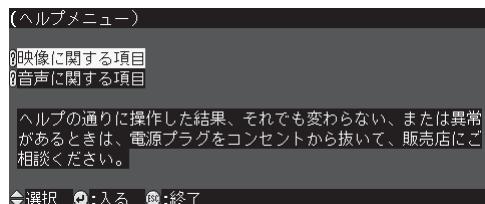
映像のトラブルのとき

- ・映像が表示されない

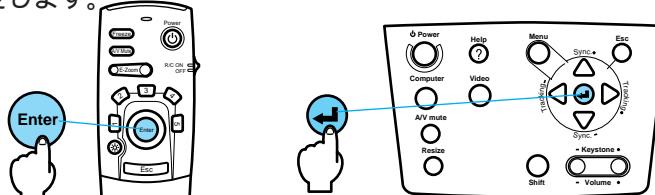
- 1** Helpボタンを押すとヘルプを起動します。
(もう一度Helpボタンを押すと解除されます。)



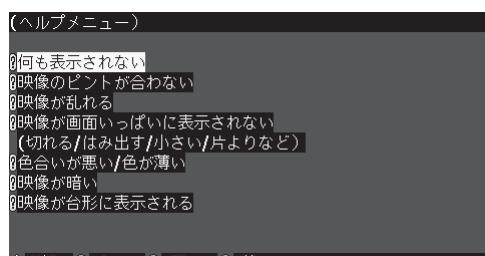
- 2** 本体のSync+/- (リモコンの場合はEnter)ボタンで「映像に関する項目」を選択します。



- 3** 本体のEnter (リモコンの場合はEnter)ボタンを押して決定します。



- 4** 以下**2**、**3**の手順と同様に詳細項目を選択し、表示される内容に従って操作してください。



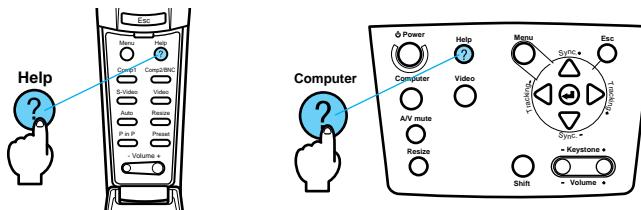
音声のトラブルのとき

- ・音がでない
- ・小さい
- などのとき

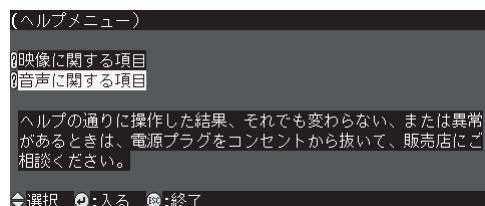
ポイント ➤

Help 機能を使ってもわからないときは、本書「困ったときに」をご覧ください。[参照](#)143ページ

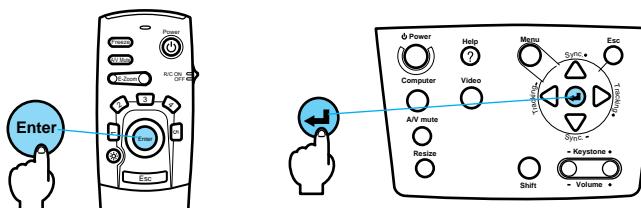
- 1** Help ボタンを押すとヘルプを起動します。
(もう一度 Help ボタンを押すと解除されます。)



- 2** 本体の Sync +, - (リモコンの場合は Enter) ボタンで「音声に関する項目」を選択します。



- 3** 本体の Enter (リモコンの場合は Enter) ボタンを押して決定します。



- 4** 以下**2**、**3**の手順と同様に詳細項目を選択し、表示される内容に従って操作してください。



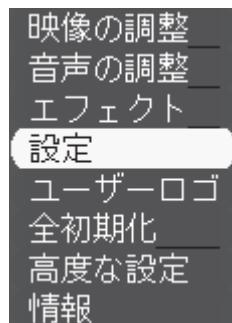
その他の設定

設定メニュー	106
高度な設定メニュー	111
情報メニュー	115
全初期化	116

設定メニュー

投写条件を変える

- ① **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の **Sync +, -** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンで、「設定」を選択します。



- ② 本体の **← Enter** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンを押して決定します。
- ③ 本体の **Sync +, -** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンでサブメニューを選択します。



これ以降は、以下の操作をおこなってください。

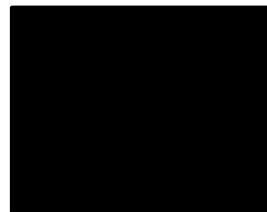
- ・キーストーン補正 参照 34ページ
- ・子画面の入力ソースを設定する 参照 93ページ
- ・映像信号がないときの画面表示設定(メッセージ) 参照 107ページ
- ・入力機器を画面表示する/しないの設定(入力表示) 参照 108ページ
- ・A/V Mute時の画面設定(A/V Mute) 参照 99ページ
- ・BNC端子の入力モード設定(BNC) 参照 26, 61ページ
- ・映像信号がない時のパワーセーブ設定(DPMS) 参照 109ページ
- ・出荷時の初期値に戻す(初期化) 参照 110ページ

映像信号がないときの画面表示設定(メッセージ)

- ① 本体の **Tracking +, -** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで、映像信号がない時の画面を選択します。

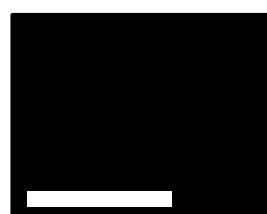
メッセージ : OFF 黒 青 ロゴ

OFF を選択したとき



メッセージは表示されません。

黒を選択したとき



黒地に「映像信号が入力されていません」(言語が日本語のとき)と表示されます。

青を選択したとき



青地に「映像信号が入力されていません」(言語が日本語のとき)と表示されます。

ロゴを選択したとき



オリジナルロゴなどを投写できます。



ポイント >>

設定の他のサブメニューを設定するときは、
 [Sync +、 -] (リモコンの場合は[Enter]) ボタンでサブメニューを選択します。

- ② [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

入力機器を画面に表示する/しないの設定(入力表示)

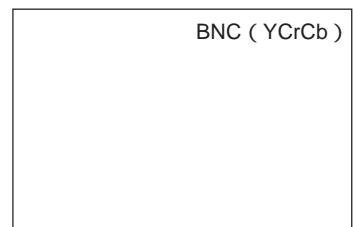
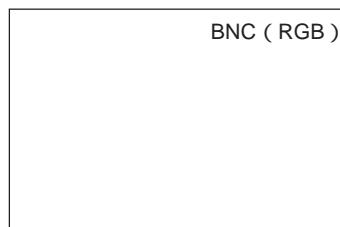
現在の映像が、接続したどの機器のものかを表示させたいとき使います。

- ① 本体の [Tracking +、 -] (リモコンの場合は[Enter]) ボタンで、映像信号がない時の画面を選択します。

- ・「ON」を選択すると、現在の画面がどの機器のものかを約3秒間表示します。
- ・「OFF」を選択すると、入力機器の表示はしません。



Computer1端子に接続している機器の映像です。



Computer2/Component Video 端子に接続している機器の映像です。



Video 端子または S-Video 端子に接続している機器の映像です。

ポイント >>

設定の他のサブメニューを設定するときは、
 [Sync +、 -] (リモコンの場合は[Enter]) ボタンでサブメニューを選択します。

- ② [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>

- ・映像を切り替えたときにも、ランプは自動的に点灯します。
- ・パワーセーブ状態中は、クールダウンが終了してもファンは回転しています。

映像信号がない時のパワーセーブ設定(DPMS)

コンピュータの省電力状態を感じて、自動的にランプを消灯します。コンピュータのマウス操作などで、省電力状態が解除され、映像信号が入力されると、ランプは自動的に点灯します。

- ① 本体の [Tracking +、-] (リモコンの場合は[Enter]ボタン)で「ON」または「OFF」を選択します。
「ON」を選択すると、DPMS が有効になります。



ON : DPMS が有効
OFF : DPMS が無効

ポイント >>

- 設定の他のサブメニューを設定するときは、
[Sync +、-] (リモコンの場合は[Enter]ボタン)でサブメニューを選択します。

- ② [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>

- ・設定の BNC は初期化されません。
- ・出荷時の初期値は、117 ページを参照してください。
- ・映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

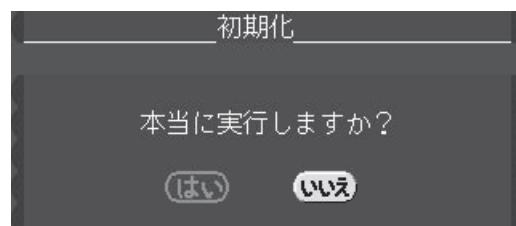
出荷時の初期値に戻す(初期化)

設定機能の設定値を初期値に戻します。

- 1 本体の **[← Enter]**(リモコンの場合は **[Enter]**)ボタンを押してサブメニューを表示します。



- 2 本体の **[Tracking +、-]**(リモコンの場合は **[Enter]**)ボタンで「いい」または「いいえ」を選択します。
 - ・「いい」を実行すると、初期化を実行して初期値に戻ります。
 - ・「いいえ」を実行すると、初期値に戻さないでサブメニューに戻ります。手順④に進みます。



- 3 **[← Enter]**(リモコンの場合は **[Enter]**)ボタンを押して実行します。
- 4 **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

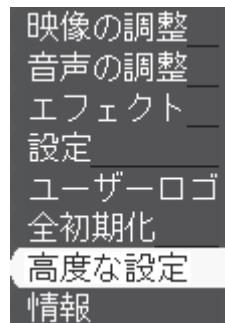
ポイント >>

- 設定の他のサブメニューを設定するときは、**[Sync +、-]**(リモコンの場合は **[Enter]**)ボタンでサブメニューを選択します。

高度な設定メニュー

メニューの言語や投写方法を変更する

- ① **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の **Sync +, -** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンで、「高度な設定」を選択します。



- ② 本体の **← (Enter)** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンを押して決定します。
- ③ 本体の **Sync +, -** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンでサブメニューを選択します。



これ以降は、以下の操作をおこなってください。

- ・メニューの言語の設定(言語) 参照 112ページ
- ・ウォームアップ時の映像設定(スタートアップスクリーン) 参照 101ページ
- ・カラー設定の自動/手動設定(カラー設定) 参照 49, 74ページ
- ・使用するビデオ信号方式設定(ビデオ信号方式) 参照 72ページ
- ・リア投写時の設定(リア) 参照 113ページ
- ・天吊り投写時の設定(天吊り) 参照 113ページ
- ・コンピュータ制御端子設定(Mouse/Com) 参照 80ページ
- ・出荷時の初期値に戻す(初期化) 参照 114ページ

メニューの言語を設定(言語)

メニューの言語を変更したいとき使います。

- ・つぎの中から選択します。

日本語

English (英語)

Français (フランス語)

Deutsch (ドイツ語)

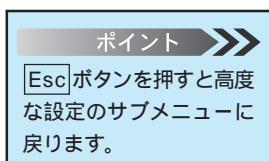
Italiano (イタリア語)

Español (スペイン語)

Portuguesa (ポルトガル語)

中文 (中国語)

- ① 本体の [Enter] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンを押してサブメニューを表示します。



- ② 使用する言語を本体の [Sync +、-] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンで、選択します。



- ③ [Menu] ボタンを押し、メニューを閉じます。

リア投写時の設定(リア)

スクリーン後方から投写するとき使います。

- ① 本体の **Tracking +、-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで、「ON」を選択します。



ON : 投写映像を左右反転します。

OFF : 元に戻します。

ポイント >>

高度な設定の他のサブメニューを設定するときは、**Sync +、-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンでサブメニューを選択します。

- ② **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

天吊り投写時の設定(天吊り)

天井に取り付けて投写するときに使います。

- ① 本体の **Tracking +、-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンで、「ON」を選択します。



ON : 投写映像を上下左右反転します。

OFF : 元に戻します。

ポイント >>

高度な設定の他のサブメニューを設定するときは、**Sync +、-** (リモコンの場合は **Enter**) ボタンでサブメニューを選択します。

- ② **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>

- ・出荷時の初期化および全初期化では「言語」は初期化されません。
- ・出荷時の初期値は、117ページを参照してください。
- ・映像、音声などすべてを初期値に戻すときは、メニューの「全初期化」でおこないます。

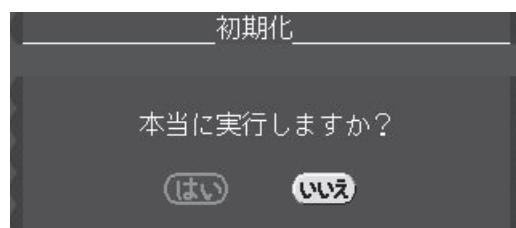
出荷時の初期値に戻す(初期化)

高度な設定の調整値を初期値に戻します。

- 1 本体の **[← Enter]**(リモコンの場合は **[Enter]**)ボタンを押してサブメニューを表示します。



- 2 本体の **[Tracking +、 -]**(リモコンの場合は **[Enter]**)ボタンで「はい」または「いいえ」を選択します。
 - ・「はい」を実行すると、初期値に戻ります。
 - ・「いいえ」を実行すると、初期値に戻さないでサブメニューに戻ります。手順④に進みます。



- 3 本体の **[← Enter]**(リモコンの場合は **[Enter]**)ボタンを押して決定します。

- 4 **[Menu]** ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>

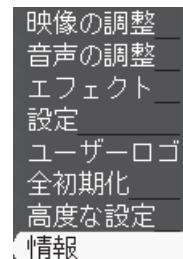
- 高度な設定の他のサブメニューを設定するときは、**[Sync +、 -]**(リモコンの場合は **[Enter]**)ボタンでサブメニューを選択します。

情報メニュー

ランプの累積使用時間や、投写映像の信号形式を見る

現在入力されている信号の種類やランプの累積使用時間を知ることができます。

- ① **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の **Sync +、-** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンで、「情報」を選択します。



コンピュータ映像を選択しているとき

ランプ時間	: 50 H
周波数	: H 48.44 kHz
	: V 60.0 Hz
SYNC極性	: H Positive
	: V Negative
SYNCモード	: Separate Sync
入力解像度	: 1024x 768
リフレッシュレート	: 60.0 Hz

ポイント >>

ランプの累積使用時間は以下のように表示されます。

使用時間	表示
0 ~ 10 時間	0 H
10 時間以上	1 時間単位で 表示

ランプの累積使用時間を表示します。

水平走査周波数を表示します。

垂直走査周波数を表示します。

同期の極性を表示します。

同期の属性を表示します。

入力解像度を表示します。

リフレッシュレートを表示します。

ビデオ映像を選択しているとき

ランプ時間	: 36 H
ビデオ信号方式	: AUTO (NTSC)

ランプの累積使用時間を表示します。

ビデオの信号方式を表示します。(メニューで Auto に設定されているときは、「AUTO (NTSC)」と表示します。)

- ② **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

全初期化

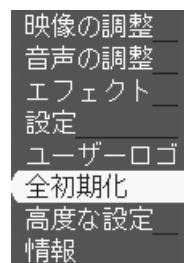
調整値を初期設定(工場出荷時の値)に戻す

メニューの全設定を初期設定に戻します。(ユーザーロゴ、ランプ時間、言語、BNCは除く)

ポイント >>

出荷時の初期値は、次ページを参照してください。

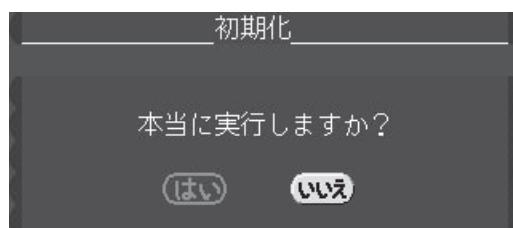
- ① **Menu** ボタンを押し、表示されたトップメニューから本体の **Sync +、-** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンで、「全初期化」を選択します。



- ② 本体の **← Enter** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンを押します。



- ③ 本体の **Tracking +、-** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンで「はい」または「いいえ」を実行します。
・「はい」を実行すると、全初期化を実行します。
・「いいえ」を実行すると、初期化を中止してトップメニューになります。



- ④ 本体の **← Enter** (リモコンの場合は **Enter**)ボタンを押して初期化を実行します。

- ⑤ **Menu** ボタンを押し、メニューを閉じます。

初期設定値一覧

メニュー	項目	初期設定値
映像 (コンピュータ)	表示位置 上下	中心値
	左右	
	トラッキング	接続信号による
	同期	0
	明るさ	中心値
	コントラスト	
	RGB(赤)	
	RGB(緑)	
	RGB(青)	
	シャープネス	
映像 (ビデオ)	入力解像度	AUTO
	プリセット	登録なし
	表示位置 上下	中心値
	左右	
	明るさ	中心値
	コントラスト	
音声	色の濃さ	
	色合い	
	シャープネス	
	音量	22
	高音	中心値
エフェクト	低音	
	SRS SPACE	2
	SRS CENTER	2
	カーソル / スタンプ	種類:1 形状:△ 倍率:100%
	四角	色:緑 トラック型:OFF
設定	マーカー	色:マゼンタ 線幅:4
	フリーライン	種類:1 色:黄 線幅:8
	ポインタ移動速度	M
	キーストーン	中心値
	P in P	コンポジット
高度な設定	メッセージ	青
	入力表示	ON
	A/V Mute	黒
	BNC	RGB
	DPMS	OFF
	言語	日本語
	スタートアップスクリーン	OFF
高度な設定	カラー設定	Auto
	ビデオ信号方式	Auto
	リア	OFF
	天吊り	OFF
	Mouse/Com	1 2

メニュー画面の操作

メニューを使う

120

メニューを使う

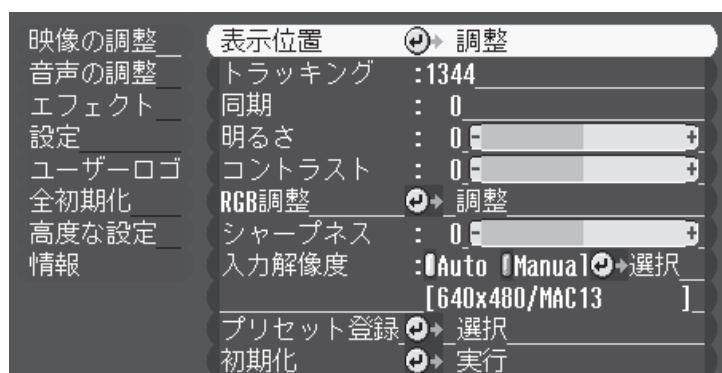
メニューを画面に表示することで、各種設定をおこなうことができます。

メニューの構成

映像の調整メニュー 参照41, 67ページ

メニューは、コンピュータ映像を写しているときとビデオ映像を写しているときでは、サブメニューが異なります。

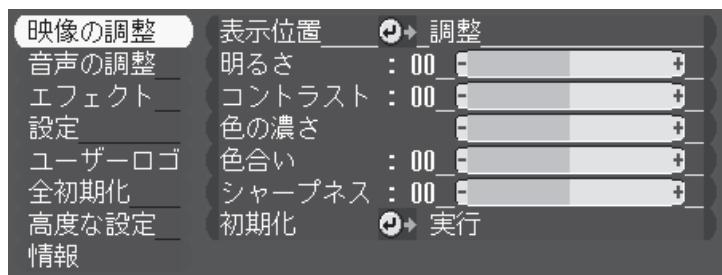
コンピュータ映像およびコンポーネントビデオ映像を入力しているとき



トップメニュー

サブメニュー

ビデオ映像を入力しているとき



トップメニュー

サブメニュー

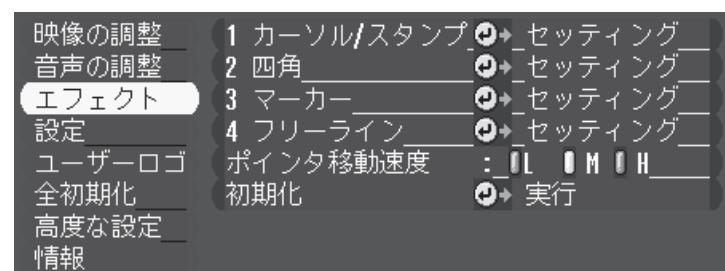
音声の調整メニュー 参照52ページ



トップメニュー

サブメニュー

エフェクトメニュー 参照86ページ



トップメニュー

サブメニュー

設定メニュー 参照106ページ



トップメニュー

サブメニュー

ユーザー口ゴメニュー 参照 96ページ



トップメニュー

サブメニュー

全初期化メニュー 参照 116ページ



トップメニュー

サブメニュー

高度な設定メニュー 参照 111ページ

映像の調整	言語	<input checked="" type="radio"/> 選択 [日本語]	[]
音声の調整	スタートアップスクリーン:	<input checked="" type="radio"/> ON	<input type="radio"/> OFF
エフェクト	カラー設定	: <input checked="" type="radio"/> Auto	<input type="radio"/> Manual <input checked="" type="radio"/> 選択
設定	ビデオ信号方式	<input checked="" type="radio"/> 選択 [Auto]	[]
ユーザー口ゴ	リア	: <input checked="" type="radio"/> ON	<input type="radio"/> OFF
全初期化	天吊り	: <input checked="" type="radio"/> ON	<input type="radio"/> OFF
高度な設定	Mouse/Com	: <input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 1↔2
情報	初期化	<input checked="" type="radio"/> 実行	

トップメニュー

サブメニュー

情報メニュー 参照115ページ

情報メニューは、コンピュータ映像を写しているときとビデオ映像を写しているときでは、サブメニューが異なります。

コンピュータ映像およびコンポーネントビデオ映像を入力しているとき

映像の調整	ランプ時間	: 50 H
音声の調整	周波数	: H 48.44 kHz
エフェクト		: V 60.0 Hz
設定	SYNC極性	: H Positive
ユーザー ロゴ		: V Negative
全初期化	SYNCモード	: Separate Sync
高度な設定	入力解像度	: 1024x 768
情報	リフレッシュレート	: 60.0 Hz

トップメニュー

サブメニュー

ビデオ映像を入力しているとき

映像の調整	ランプ時間	: 36 H
音声の調整	ビデオ信号方式	: AUTO (NTSC)
エフェクト		
設定		
ユーザー ロゴ		
全初期化		
高度な設定		
情報		

トップメニュー

サブメニュー

メニューの基本操作

メニューを使うときの基本的な操作です。

ポイント >>

ここではコンピュータ映像を写しているときの「高度な設定」の「カラー設定」を例にして説明しています。

- ① [Menu] ボタンを押し、トップメニューを表示します。

映像の調整
音声の調整
エフェクト
設定
ユーザーLOGO
全初期化
高度な設定
情報

ポイント >>

選択されているメニューは、黄色のバーになります。

- ② 本体の [Sync +, -] (リモコンの場合は [Enter])ボタンで「高度な設定」を選択します。

映像の調整
音声の調整
エフェクト
設定
ユーザーLOGO
全初期化
高度な設定
情報

- ③ 本体の [← Enter] (リモコンの場合は [Enter])ボタンを押して決定します。

黄色のバーがサブメニューに移動します。

「言語 選択 [日本語] 】
スタートアップスクリーン: [ON OFF]
カラー設定 : [Auto Manual] 選択
ビデオ信号方式 : [Auto] 選択
リア : [ON OFF]
天吊り : [ON OFF]
Mouse/Com : [1 2] 1↔2
初期化 : 実行

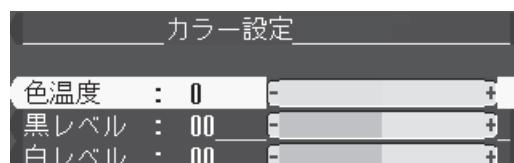
- ④ 本体の [Sync +、 -] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンで「カラー設定」を選択します。



- ⑤ 本体の [Tracking +、 -] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンで「Auto」または「Manual」を選択します。
- ・「Auto」を選択すると、自動的にカラー調整をします。手順⑨に進みます。
 - ・「Manual」を選択すると、サブメニューが表示されます。

「カラー設定 : Auto Manual 選択」

- ⑥ 本体の [← Enter] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンを押して決定します。
- ⑦ 設定する項目を本体の [Sync +、 -] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンで選択します。
- ⑧ 本体の [Tracking +、 -] (リモコンの場合は [Enter]) ボタンで設定します。



押したボタンに合わせてバーが動き、数値が変化します。

色温度

+ : 色温度が高くなります。(青が強くなります。)

- : 色温度が低くなります。(赤が強くなります。)

黒レベル

+ : 黒が強くなります。

- : 黒が弱くなります。

白レベル

+ : 白が強くなります。

- : 白が弱くなります。

9

[Menu]ボタンを押し、メニューを閉じます。

ポイント >>

- 他のメニューを設定するときは、[Esc]ボタンを押すとサブメニューに戻ります。
- メニューを表示したまま、映像入力ソースを切り替えると、その入力ソースのメニューに自動的に切り替わります。

制限

- コンピュータ映像を投写しているときは、ビデオ映像メニューは調整できません。
- ビデオ映像を投写しているときは、コンピュータ映像メニューは調整できません。
- 映像信号が何も入っていないときは、コンピュータ映像・ビデオ映像ともに調整できません。
- 手順⑨の状態で[Menu]ボタンで終了、次にメニューを開いたときは、手順⑧の画面が表示されます。

Projector Software を使う

はじめに	128
コンピュータとの接続	130
インストール	131

はじめに

CD-ROMの内容

Projector Software CD-ROM には以下のソフトウェアやユーティリティが収録されています。

ELP LinkIV

プレゼンテーション支援ユーティリティ ELP LinkIV のインストールファイル一式が収録されています。

ポイント >>

ELP Link IV、PDF ファイル、Acrobat Reader は、表示言語によって収録先フォルダが異なります。

PDFユーザーズガイド

ELP Link IV の取り扱いを説明した PDF ファイル一式が収納されています。

Acrobat Reader

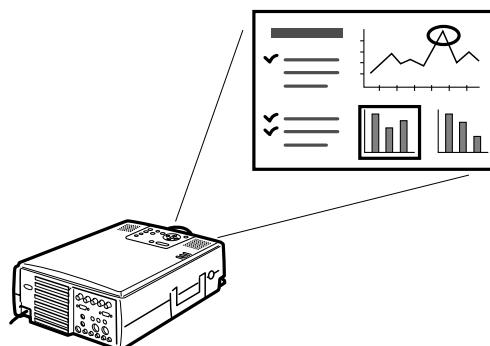
PDF ファイルを見るための Acrobat Reader のインストールファイル一式が収録されています。

ELP Link IVの概要

ELP Link IVの中には次の2つの機能が含まれています。

装飾機能

プロジェクターに付属のリモコンを使用することで、様々な装飾効果をスクリーン上で実行することができます。

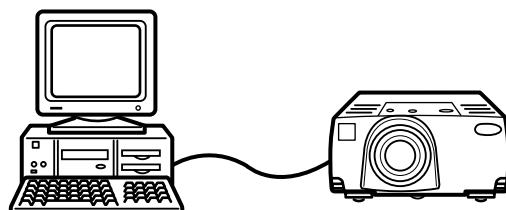


つぎの11つの機能で構成されています。

- ・直線
- ・スタンプ
- ・自由曲線
- ・楕円
- ・カーソル変更
- ・スポットライト
- ・四角
- ・サウンド
- ・画面クリア
- ・バー
- ・キー

制御機能

接続したコンピュータから、プロジェクターの詳細な設定を実行することができます。



つぎの4つで構成されています。

プロジェクター制御

- ・コンピュータ映像調整
- ・オプション設定
- ・ビデオ映像調整
- ・カスタム設定
- ・音声調整

テストパターン設定

ユーザーロゴ設定

カラー特性設定

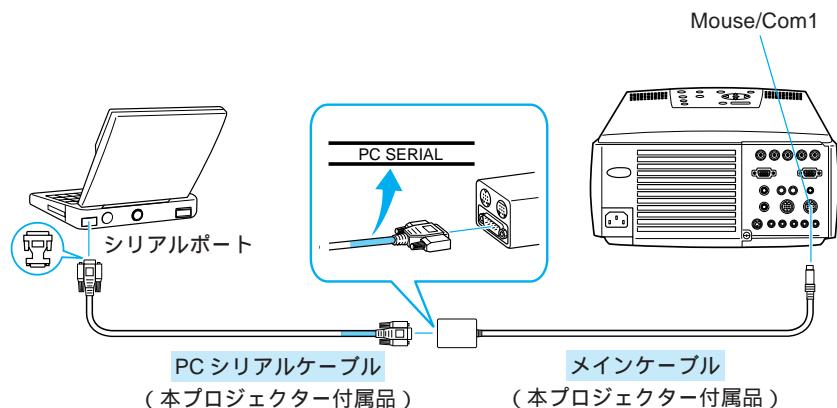
コンピュータとの接続

接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。

ポイント >>

NEC PC98-NXシリーズまたはその互換機のときはコンピュータに付属または、市販品のアダプタ類が必要になることがあります。

IBM PC/AT 互換機(DOS/V機)をお使いのかた
NEC PC98-NXまたはその互換機をお使いのかた
PCシリアルケーブルを使用します。



ポイント >>

- コンピュータケーブルはあらかじめ接続してください。

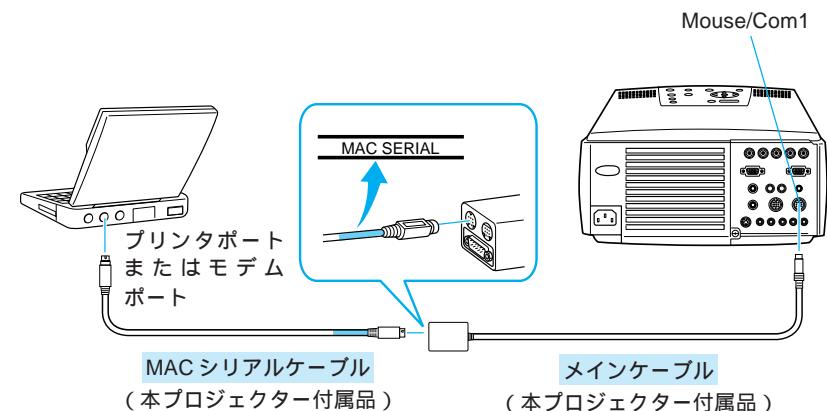
参照23ページ

- リモコンをワイヤレスマウスとして使うときは、マウスケーブルの接続をしておいてください。

参照79ページ

Macintoshをお使いのかた

MACシリアルケーブルを使用します。



EPSON PROJECTOR インストール

動作環境

ここでは、CD-ROMをセットしてからインストールするプログラムを選択するまでの手順について説明します。

Windowsの動作環境

Windows98/95	
動作可能コンピュータ	Windows95/98 が動作する NEC PC98-NX シリーズ または DOS/V コンピュータ
搭載メモリ容量	16MByte 以上 (Acrobat Reader 動作時 8MByte 増)
ハードディスク空き容量	• ELP Link IV /ELP Link PDF ユーザーズガイド 6MByte 以上 • Acrobat Reader 8MByte 以上
ディスプレイ	VGA (640x480) 以上の解像度

WindowsNT4.0	
動作可能コンピュータ	WindowsNT4.0 が動作する NEC PC98-NX シリーズ または DOS/V コンピュータ
搭載メモリ容量	16MByte 以上 (Acrobat Reader 動作時 16MByte 増)
ハードディスク空き容量	• ELP Link IV /ELP Link PDF ユーザーズガイド 6MByte 以上 • Acrobat Reader 8MByte 以上
ディスプレイ	VGA (640x480) 以上の解像度

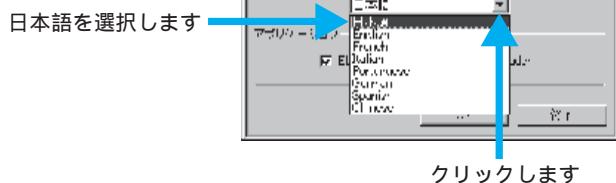
Macintoshの動作環境

Macintosh	
動作可能システム	Apple 漢字 Talk7.5.1 以上 Power Macintosh
主記憶メモリ空容量	16MByte 以上 (Acrobat Reader 動作時 22Mbyte 以上)
ハードディスク空き容量	• ELP Link IV /ELP Link PDF ユーザーズガイド 5MByte 以上 • Acrobat Reader 8MByte 以上

Windowsへのインストール

Windows98でインストールした場合の画面を使用しています。

- ① コンピュータの電源をオンにし、Windowsを起動します。
- ② CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。
- ③ ELP Link IVのセットアッププログラムが自動起動します。リストボックスから「日本語」をクリックして選択します。

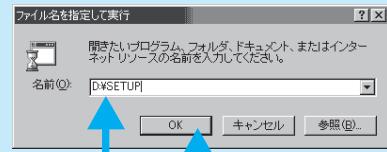


クリックします

上記の画面が自動的に表示されない場合

[ファイル名を指定して実行]ダイアログを開きます。
タスクバーの[スタート]ボタンをクリックし、表示されたポップアップメニューから[ファイル名を指定して実行]をクリックします。

CD-ROMをセットした「ドライブ名」と「:¥SETUP」を半角文字で入力し、[OK]ボタンをクリックします。



入力して クリックします

画面はWindows98でCD-ROMをDドライブにセットした場合です。

ポイント >>

ELP Link IV を選択すると ELP Link IV と ELP Link PDF ユーザーズガイドがインストールされます。

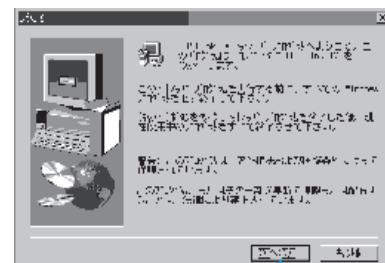
Acrobat Reader をインストールしないと ELP Link PDF ユーザーズガイドを見ることができません。

- 4 インストールするプログラムのチェックボックスをチェックし、**OK**ボタンをクリックします。



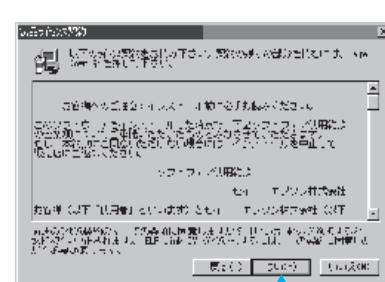
クリックします

- 5 画面の内容をご確認の上、**次へ**ボタンをクリックしてください。



クリックします

- 6 製品ライセンス約款をご確認のうえ、同意される場合は、**はい**ボタンをクリックします。



クリックします

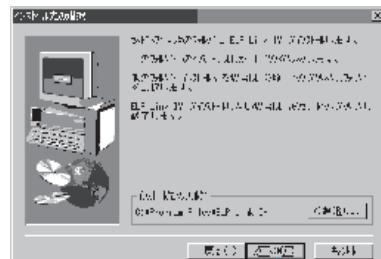
- 7 **次へ**ボタンをクリックします。このダイアログには、ELP Link IV をインストールするときの注意事項が記載されています。必ず内容を確認してください。



クリックします



- 8 次へボタンをクリックします。
インストール先を変更する場合は、参照ボタンをクリックしてディレクトリを選択してください。



クリックします

- 9 次へボタンをクリックします。
[プログラム]メニューに「ELP Link IV」フォルダを作成します。変更する場合は、任意の名称を入力するか一覧の中から選択してください。



クリックします

- 10 完了ボタンをクリックします。
これで ELP Link IV のインストールは終了です。手順④で「Acrobat Reader」をチェックしたときは、「Acrobat Reader」のインストールに進みます。



クリックします

- 11 「Acrobat Reader」をインストールします。
手順④で「Acrobat Reader」をチェックしたときは、右の画面が表示されます。
[はい]ボタンをクリックします。



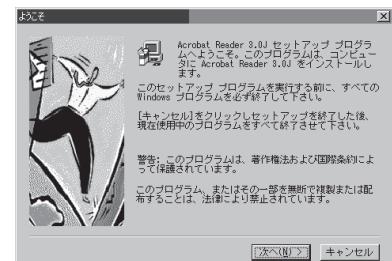
クリックします

ポイント >>

ELP LinkIV の起動方法、操作方法についての詳細は、PDF ユーザーズガイドをご覧ください。

[表紙138 ページ](#)

12 次へボタンをクリックします。



クリックします

後は、画面に従いインストールしてください。

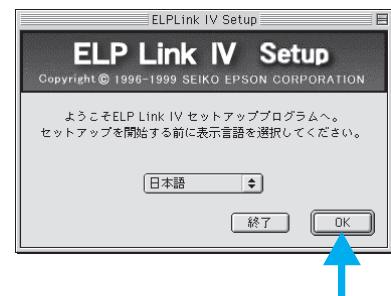
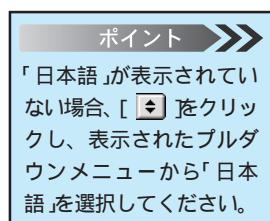
Macintoshへのインストール

① Macintoshを起動して、CD-ROMをコンピュータCD-ROMドライブにセットします。

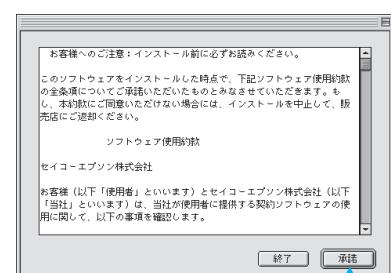
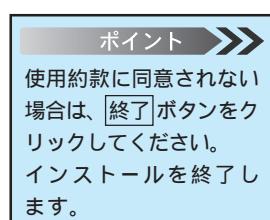
② ELP Link Installerアイコンをダブルクリックします。



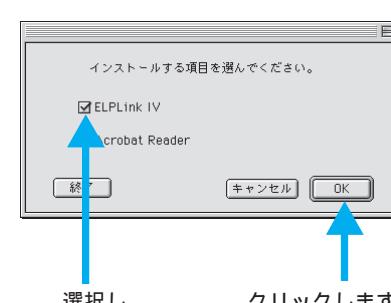
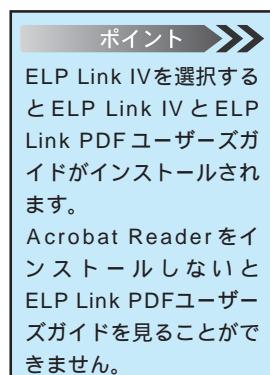
③ [OK] ボタンをクリックします。



④ 使用約款をご確認いただき [承諾] ボタンをクリックします。



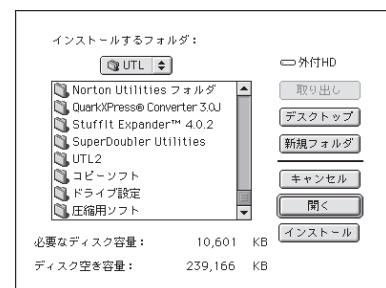
⑤ インストールする項目をチェックしてマークを付け [OK] ボタンをクリックします。



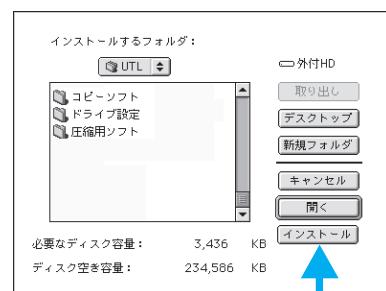
ポイント >>

新規にフォルダを作る場合は、**「新規フォルダ」**ボタンをクリックし、表示された画面でフォルダの名称を入力します。
新規にフォルダを作らない場合は、「ELP Link IV」のフォルダを自動的に作成します。

6 インストール先のドライブおよびフォルダを選択します。



7 インストールボタンをクリックします。
インストールが始まります。



クリックします

8 「Acrobat Reader」をインストールします。
手順**5**で「Acrobat Reader」をチェックしたときは、右の画面が表示され、「続行」ボタンをクリックします。



クリックします

後は画面に従いインストールしてください。

PDFユーザーズガイドとAcrobat Reader

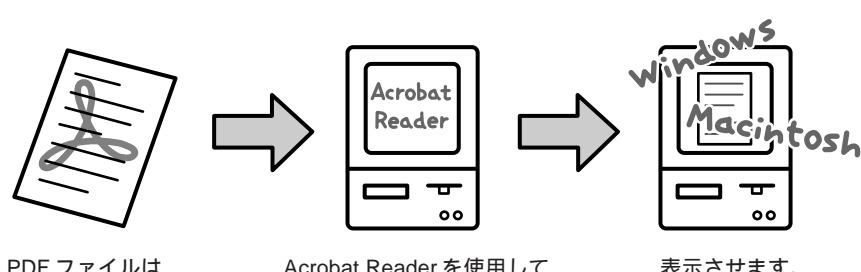
ELP Link IV の取り扱いについては PDF ユーザーズガイドをご覧ください。PDF ユーザーズガイドを表示させるためには Adobe Acrobat Reader が必要です。

ポイント >>

「Adobe Acrobat Reader」がインストールされていないときは、「Adobe Acrobat Readerのインストール」を参照してください。

PDFファイルとAdobe Acrobat Readerについて

CD-ROM に収録されているオンラインマニュアルは、PDF (Portable Document Format) というファイル形式で作成されています。この PDF ファイルを開くためには、「Adobe Acrobat Reader」というソフトウェアが必要です。



PDF ファイルは

Acrobat Reader を使用して

表示させます。

ポイント >>

PDFユーザーズガイドをお読みになる際は、Windows98/95/NT4.0, Macintoshをご利用になるか、インフォメーションセンターへお問い合わせください。

ご注意

Adobe Acrobat Readerの取り扱いにつきましては、Adobe社の使用約款に準じます。Acrobat Readerをインストールされる場合は、インストール時に表示される使用約款をよくお読みくださいますようお願いいたします。

ポイント >>

Acrobat Reader のバージョンが古い場合、PDF マニュアルが正確に表示されないことがありますので、同梱の Acrobat Reader をインストールされることをお薦めします。

Acrobat Reader のインストール

すでにインストールされている場合は、この操作は不要です。「インストールの手順」(Windowsへのインストール手順④、Macintoshへのインストール手順⑤)の画面で ELP Link IV のチェックマークをはずし、「Adobe Acrobat Reader」をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。この後は、画面の指示に従いインストールしてください。

PDF ユーザーズガイドの見かた

ここでは、PDF ユーザーズガイドファイルの開き方を説明します。ファイルを開く前に Acrobat Reader と PDF ユーザーズガイドガイドがインストールされているかご確認ください。

Windows98/95/NT4.0

タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、表示されたポップアップメニューで [プログラム]-[ELP Link IV] にカーソルを合わせ、[User's Guide] をクリックします。

Macintosh

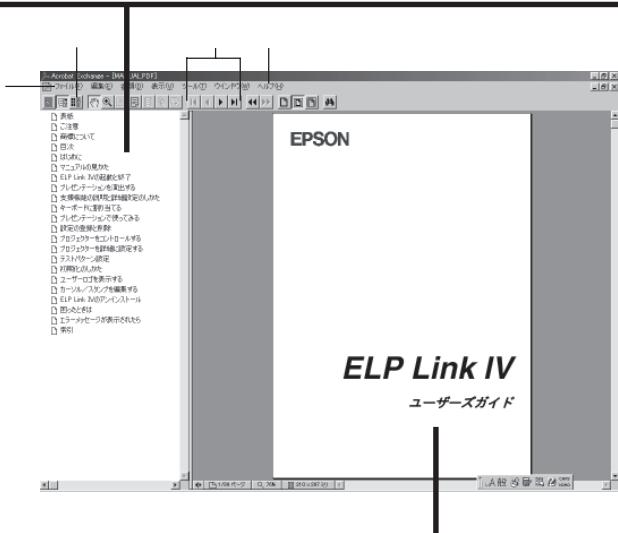
「ELP Link IV」フォルダ内の「User's Guide」アイコンをダブルクリックします。



Acrobat Readerの使い方

ここでは、Acrobat Reader の基本的な使い方を説明します。 Acrobat Reader の詳細は、オンラインヘルプか Adobe 社のホームページをご覧ください。
(<http://www.adobe.co.jp>)

確認したいページをクリックすれば、右側の画面表示がそのページへジャンプします。



ポインタのマークが変わる場所は、関連したページなどへのリンクが貼ってあります。 クリックすれば、そのページへジャンプします。

しおりとページ

ボタンをクリックすると、目次を表示します。 みたいページをクリックすると、右側の画面表示がそのページにジャンプします。

表示切り替え

▶開始ページを表示します。◀前ページを表示します。

ヘルプ

▶次ページを表示します。▶最終ページを表示します。

印刷

オンラインヘルプを表示するほか、インターネットに接続されている場合は、Adobe 社のホームページの表示やユーザー登録などが実行できます。 Acrobat Readerに関する詳細はこちらをご利用ください。

表示されているマニュアルを印刷する場合は「ファイル」メニューの「印刷」をクリックします。

付録

各プログラムを「エクスプローラ」を使って直接インストールまたは起動するには

ELP Link IV のインストール

Windows [DATA]-[Japanese]-「Setup.exe」をダブルクリックします。

Macintosh [DATA] - [Japanese] フォルダ内の [ELP Link4] フォルダをハードディスクへコピーします。

Acrobat Reader のインストール

Windows [DATA][Japanese][AR][Win95]または[WinNT] フォルダ内の「Ar32j30.exe」をダブルクリックします。

Macintosh [DATA] - [Japanese] - [AR] - 「Installer」アイコンをダブルクリックします。

プログラムのアンインストール

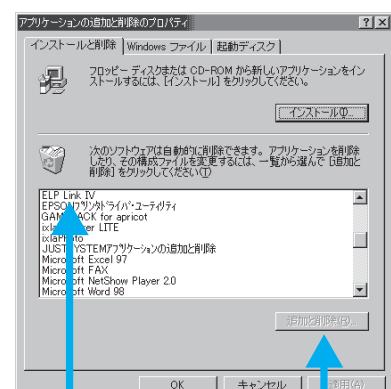
ELP Link IV をコンピュータから削除するときは、つぎの操作をおこないます。

Windows

① [マイコンピュータ] [コントロールパネル] [アプリケーションの追加と削除] の順に選択します。

② 「ELP Link」をクリックし、
[追加と削除] ボタンをクリックします。

「ファイル削除の確認」のダイアログボックスが表示されます。

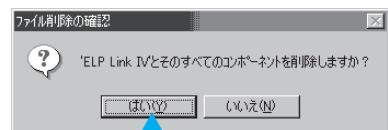


選択し

クリックします



- ③ [はい] ボタンをクリックします。
アンインストールが始まります。



クリックします

- ④ アンインストールが終了したら
[OK] ボタンをクリックします。



クリックします

- ⑤ [OK] ボタンをクリックします。



クリックします

Macintosh

- ① 「ELPLink4」フォルダを「ごみ箱」にドラッグします。
- ② 「システム」フォルダ-「初期設定」フォルダの順に選択します。
- ③ 「初期設定」フォルダ内の[ELPLink4]を「ごみ箱」にドラッグします。



困ったときに

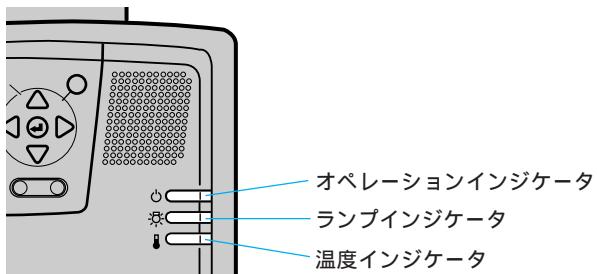
故障かなと思ったら 144

インジケータを見てもわからないとき 146

故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧ください。

本プロジェクターには「オペレーションインジケータ」「ランプインジケータ」「温度インジケータ」があり、プロジェクターの状態を知らせています。



オペレーションインジケータ

インジケータの状態	原因	処置または状態	参照ページ
オレンジ色に点灯	スタンバイ状態です	(異常ではありません) ・[Power]ボタンを押すと投写を開始します。	57
オレンジ色に点滅	クールダウン中です	(異常ではありません) ・そのまましばらくお待ちください。 <u>クールダウン</u> *の時間は外気温等によって変わります。 ・クールダウン(ランプを冷やす動作)中は [Power]ボタンは操作できません。クールダウン終了後、もう一度操作してください。	57
緑色に点灯	投写中です	(異常ではありません)	29
緑色に点滅	ウォームアップ中または、ランプが一時消灯中です	(異常ではありません) ・そのまましばらくお待ちください。 ウォームアップの時間は約30秒間です。 ・ウォームアップ終了後、緑色の点滅が点灯に変わります。 ・映像信号が入力されると、ランプは自動的に点灯します。	29, 63
赤色に点灯	内部に異常があります	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスセンター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。	109
消灯	電源が入っていません	電源が入っていません ・ランプの交換をおこなった場合は、ランプやファンが確実に取り付けられているか確認してください。ランプ及びファンが確実に取り付けられていない場合は、電源が入らない構造になっています。 ・電源ケーブルの接続を確認してください。 ・コンセントの電源を確認してください。	160 28

ランプインジケータ

インジケータの状態	原 因	処置または状態	参照ページ
赤色に点滅	ランプに異常が発生しています	<ul style="list-style-type: none"> 新しいランプ(ELPLP08)と交換してください。 ランプが割れている場合は、破片だけがしないように取り扱いに注意し、エプソンサービスセンターに修理を依頼してください。(交換しないと映像を投写することはできません。) 	159
オレンジ色に点滅	ランプの交換時期が近づいています	<ul style="list-style-type: none"> そろそろ新しいランプの用意をしてください。使用条件により交換時期が早まる場合がありますので、早めのランプ交換をお勧めします。 	159
消灯		<p>(異常ではありません) •電源が入っていない、または、正常に投写中です。</p>	

温度インジケータ

インジケータの状態	原 因	処置または状態	参照ページ
赤色に点灯	内部が高温になっています (オーバーヒート)	<ul style="list-style-type: none"> 本プロジェクターの使用温度範囲は5 ~ 40 ですので、使用温度範囲内でご使用ください。 吸気口・排気口をふさがないよう、通気性のよい場所に設置してください。 エアーフィルタの掃除をしてください。 赤色の点灯中は、内部温度を下げるためランプを消灯してください。 	174 157
赤色に点滅	内部に異常があります	•ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスセンター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。	
オレンジ色に点滅	高速冷却中	<p>(異常ではありませんが、更に高温になると投写を自動的に停止させます。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本プロジェクターの使用温度範囲は5 ~ 40 ですので、使用温度範囲内でご使用ください。 吸気口・排気口をふさがないよう、通気性のよい場所に設置してください。 エアーフィルタの掃除をしてください。 	174 157
消灯		<p>(異常ではありません) •電源が入っていない、または、正常に投写中です。</p>	

ポイント >>

- インジケータは正常なのに投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご参照ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときは販売店にお問い合わせください。

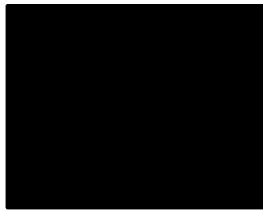
インジケータを見てもわからないときは

次のような現象でインジケータを見てもわからないときは、各項目を参照してください。

- | | | | |
|------------------|----------------------------|---------------------|----------------------------|
| ・映像が写らない | 参照 146 ページ | ・音がでない | 参照 152 ページ |
| ・映像が汚い | 参照 148 ページ | ・リモコンで操作ができない | 参照 152 ページ |
| ・映像が切れる(大きい)や小さい | 参照 150 ページ | ・終了しない | 参照 153 ページ |
| ・映像の色が悪い | 参照 151 ページ | ・ELP Link IV が動作しない | 参照 153 ページ |
| ・映像が暗い | 参照 151 ページ | | |

映像が写らない

何も表示されない



何も表示されない

レンズキャップが付いたままではありますか？

[参照](#) 「投写する」 28 ページ

電源を OFF にしてすぐ ON にしませんでしたか？

投写終了後(クールダウン中)は **Power** ボタンの操作はできません。 クールダウン* が終了してから **Power** ボタンの操作が有効となります。

[参照](#) 「終了する」 57 ページ

DPMS をオンにしていませんか？

DPMS を ON に設定した場合、映像信号が入らない状態になると、ランプが自動的に消灯します。マウス操作などで、省電力状態を解除してください。

[参照](#) 「映像信号がない時のパワーセーブ設定 (DPMS)」 109 ページ

Power ボタンを押しましたか？

[参照](#) 「投写する」 28, 63 ページ

映像の明るさは正しく調整されていますか？

[参照](#) 「明るさの調整 (明るさ)」 43, 68 ページ

[A/V Mute] モードになっていませんか？

[参照](#) 「映像と音声を一時的に消しユーザー ロゴを投写する」 95 ページ

初期化してみてください。

[参照](#) 「調整値を初期設定 (工場出荷時の値) に戻す」 116 ページ

メッセージが出る



「この信号は本プロジェクターでは受けられないタイプです」と表示される



「映像信号が入力されていません」と表示される

コンピュータから出力されている映像信号の解像度が UXGA (1,600x1,200) より上になつていませんか？

[参照「接続できるコンピュータの対応モード表」21 ページ](#)

コンピュータから出力されている映像信号の周波数が対応するモードか確認してください。

コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。

[参照「接続できるコンピュータの対応モード表」21 ページ](#)

ケーブル類が正しく接続されていますか？

[参照「コンピュータとの接続」23 ページ](#)

「ビデオ機器との接続」60 ページ

接続した映像入力端子を正しく選択させていますか？

本体の **Computer** または **Video** (リモコンの場合は **Comp1**、**Comp2/BNC**、**Video** または **S-Video**) ボタンを押し、映像を切り替えてください。

[参照「投写する」28, 63 ページ](#)

接続されたコンピュータまたはビデオ機器の電源は入っていますか？

[参照「投写する」28, 63 ページ](#)

接続されたコンピュータまたはビデオ機器から映像信号は出力されていますか？

5BNC 入力していく「メニュー」「設定」「BNC」の設定が「YCrCb」になつていませんか？

「RGB」にしてください。

[参照「BNC 端子の入力モード設定」26 ページ](#)

ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータのときには、プロジェクターに映像信号を出力させることが必要になります。

通常は映像信号が LCD 画面への出力だけで、外部に出力されつていませんので、外部に切り替えてください。

外部に映像信号を出力すると、LCD 画面に映像が出せないモデルもあります。

接続したコンピュータの取扱説明書「外部出力のしかた」「外付けモニタへ出力のしかた」などをよくご覧ください。

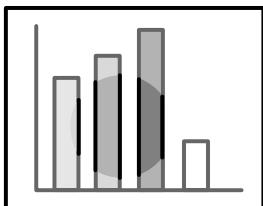
[参照「ノートタイプや液晶一体型タイプの設定」30 ページ](#)

「コンポーネントビデオ(色差)」入力していく「メニュー」「設定」「BNC」が「RGB」になつていませんか？

「YCrCb」にしてください。

[参照「BNC 端子の入力モード設定」61 ページ](#)

映像が汚い



- ・画像がぼやける
- ・映像の一部しかピントが合わない

ピントは正しく調整されていますか？

[参照「フォーカス（ピント）の調整」33 ページ](#)

投写距離は最適ですか？

投写距離の推奨範囲は、1.1m ~ 15.6m です。この範囲で設置してください。

[参照「スクリーンサイズと投写距離について」17 ページ](#)

レンズが汚れていませんか？

[参照「レンズの掃除」156 ページ](#)

投写光がスクリーンに対して直角になっていますか？

[参照「設置時の注意」14 ページ](#)

レンズが結露していませんか？

寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります、しばらくすると通常の映像に戻ります。

「同期*・トラッキング*・表示位置」の調整をしてみましたか？

本体の **Tracking** ボタン・**Sync** ボタンで映像を見ながら調整します。「メニュー」を開いて調整することもできます。

[参照「画像にちらつきや、ぼやけが出たときの調整」37,43 ページ](#)

「映像に幅広の縦の縞模様が出たときの調整」37,42 ページ

「表示位置の調整」42,68 ページ

映像の信号形式の設定は合っていますか？

- ・コンピュータ映像の場合

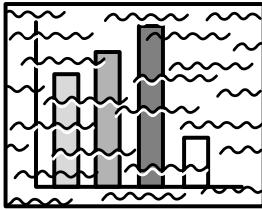
「メニュー」「映像の調整」「入力解像度」を開き、映像メニューを選択し、信号方式を設定してください。入力している映像信号により Auto では判別できることがあります。

[参照「入力解像度の設定」46 ページ](#)

- ・ビデオ映像の場合

「メニュー」「高度な設定」「ビデオ信号方式」を開き、ビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号により Auto では判別できることあります。

[参照「使用するビデオ信号方式」72 ページ](#)



- ・画像が乱れる
- ・ノイズが入る

ケーブルは正しく接続されていますか？

参照「コンピュータとの接続」23 ページ

「ビデオ機器との接続」60 ページ

解像度の選択は正しいですか？

本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。

参照「接続できるコンピュータの対応モード表」21 ページ

「同期*・トラッキング*・表示位置」の調整をしてみましたか？
本体の **Tracking** ボタン・**Sync** ボタンで映像を見ながら調整します。「メニュー」を開いて調整することもできます。

参照「画像にちらつきや、ぼやけが出たときの調整」37,43 ページ

「映像に幅広の縦の縞模様が出たときの調整」37,42 ページ

「表示位置の調整」42, 68 ページ

映像の信号形式の設定は合っていますか？

- ・コンピュータ映像の場合

「メニュー」「映像の調整」「入力解像度」を開き、映像メニューを選択し、信号方式を設定してください。入力している映像信号により Auto では判別できないことがあります。

参照「入力解像度の設定」46 ページ

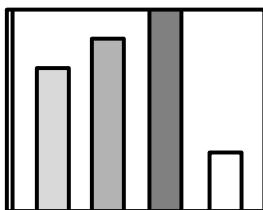
- ・ビデオ映像の場合

「メニュー」「高度な設定」「ビデオ信号方式」を開き、ビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号により Auto では判別できないことがあります。

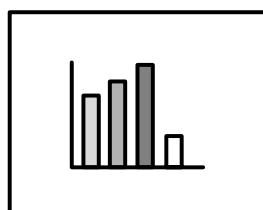
参照「使用するビデオ信号方式」72 ページ

ケーブルを延長していませんか？

映像が切れる(大きい)/小さい



- ・映像が切れる
- ・小さい



「Resize」が正しく選択されていない可能性があります。

「Resize」ボタンを押してください。

[参照「入力映像をそのまま見たいとき」39 ページ](#)

「表示位置」の調整をしてみましたか？

「メニュー」「映像の調整」「表示位置」を開き調整してください。

[参照「表示位置の調整」42, 68 ページ](#)

解像度の選択は正しいですか？

本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。

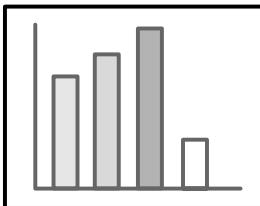
[参照「接続できるコンピュータの対応モード表」21 ページ](#)

ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータの解像度を変更してください。

LCDいっぱいの表示になるよう解像度を変更するか、映像信号を外部出力のみにしてください。

[参照「ノートタイプや液晶一体型タイプの設定」30 ページ](#)

映像の色が悪い



映像の明るさは正しく調整されていますか？

[参照「明るさの調整」43, 68 ページ](#)

ケーブル類が正しく接続されていますか？

[参照「コンピュータとの接続」23 ページ](#)

[「ビデオ機器との接続」60 ページ](#)

コントラスト*は正しく調整されていますか？

[参照「色の明暗の差を調整」44, 69 ページ](#)

カラーは正しく調整されていますか？

[参照「色の強さの調整」44 ページ](#)

色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？

(コンピュータのモニタやLCDへの表示と映像の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)

[参照「色の濃さの調整」69 ページ](#)

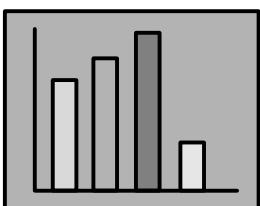
[「色合いの調整」70 ページ](#)

ランプの交換時期ではありますか？

ランプインジケータが点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることを知らせています。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。

[参照「ランプの交換」159 ページ](#)

映像が暗い



ランプの交換時期ではありますか？

ランプインジケータが点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることを知らせています。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。

[参照「ランプの交換」159 ページ](#)

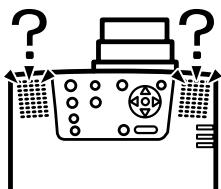
映像の明るさは正しく調整されていますか？

[参照「明るさの調整」43, 68 ページ](#)

コントラストは正しく調整されていますか？

[参照「色の明暗の差を調整」44, 69 ページ](#)

音が出ない



音声入力は正しく接続されていますか？

参照「コンピュータの音声をプロジェクターから出す」24 ページ
「外部オーディオ機器で音を出す」27, 62 ページ

音声出力は正しく接続されていますか？

参照「コンピュータの音声をプロジェクターから出す」24 ページ
「外部オーディオ機器で音を出す」27, 62 ページ

音声を出したい映像が選択されていますか？

参照「投写する」28, 63 ページ

音量調整が最小になつていませんか？

参照「音声の調整」51 ページ

「A/V Mute」が ON のままではありませんか？

「A/V Mute」モードになっていることが考えられます。

A/V Mute ボタンまたは本体の **Shift** + **Volume** (リモコンの場合は、**Volume**)ボタンを押して「Mute」を解除してください。

参照「映像と音声を一時的に消しユーザー ロゴを投写する」95 ページ

リモコンで操作ができない



リモコンの R/C ON OFF スイッチが「ON」になっていますか？

参照「投写する」28, 63 ページ

正しい方向に向けてリモコンを操作していますか？

操作可能範囲は、左右約30°、上下約15°です。

参照「リモコンで操作できる範囲」11 ページ

プロジェクターとの距離が遠すぎませんか？

操作可能距離は、約 10m です。

参照「リモコンで操作できる範囲」11 ページ

リモコンレシーバーを接続していて、リモコンをプロジェクターに向けて操作していませんか？

プロジェクターのリモコン受光部がふさがれていませんか？

リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？

乾電池は入っていますか？

参照「リモコンへの電池の入れかた」12 ページ

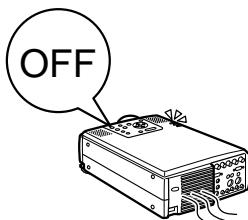
乾電池が消耗していませんか？

参照「リモコンへの電池の入れかた」12 ページ

乾電池が逆にセットされていませんか？

参照「リモコンへの電池の入れかた」12 ページ

終了しない(「POWER」ボタンを押した後...)



オペレーションインジケータがオレンジに点灯したままになっている。

本プロジェクターは電源を切ってもオペレーションインジケータは消灯しない構造になっています。

コンセントから電源プラグを抜くと、オペレーションインジケータは消灯します。

ファンが止まらない。

Power ボタンを押して電源を切った後、クールダウン* (投写ランプを冷やす動作)をおこないます。その後オペレーションインジケータがオレンジに点灯しますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。

クールダウンの時間は、外気温等によって変わります。

ELP Link IVが動作しない



インストールのとき COM ポートの選択が正しかったですか？
COMポートはプリンタやモデムで使っていない番号を選んでください。

ケーブル類が正しく接続されていますか？

電源を切ってから接続しましたか？

信号の延長コードが長すぎませんか？

インストールが正しく終了しましたか？

正しくないときは再度インストールしてください。

プロジェクターの電源は入っていますか？

コンピュータを再起動してみてください。

ポイント >>

確認の結果、それでも異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

メンテナンス

本体の掃除・レンズの掃除・エアーフィルタの掃除 156

エアーフィルタの交換 158

ランプの交換 159

本体の掃除・レンズの掃除・エアーフィルタの掃除

本体が汚れたり映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。また、エアーフィルタは100時間ごとを目安に掃除をしてください。

⚠ 警告

サービスマン以外の方はキャビネットを絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、感電の原因となります。内部の点検・修理・調整・清掃などは、お買い上げの販売店または、エプソンサービスセンターに依頼してください。

電源プラグ・電源コネクタの取り扱いには注意してください。取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。電源プラグを取り扱う際は、つぎの点を守ってください。

- ・電源プラグ・電源コネクタはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- ・電源プラグ・電源コネクタは根元まで確実に差し込む。
- ・濡れた手で電源プラグ・電源コネクタの抜き差しをしないでください。

⚠ 注意

使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。

- ・熱で、やけど・けがの原因となることがあります。
- ・電源を切ってから約60分経過して、プロジェクター本体が十分冷えてからおこなってください。お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクタをコンセントから抜いておこなってください。
- ・感電の原因となることがあります。

本体の電源を切り、電源ケーブルをはずしてから掃除をおこなってください。

本体の掃除

- ・本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしほり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。
ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

レンズの掃除は、市販のプローワーやレンズクリーニングペーパーなどでおこなってください。レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

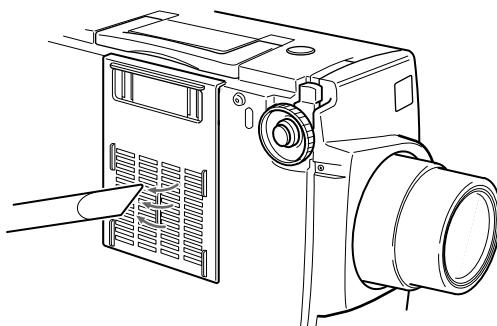
エアーフィルタの掃除

ポイント >>

- ・エアーフィルタの汚れが落ちなくなったり、壊れたりしたら交換時期ですので、販売店にご相談ください。
- ・交換用ランプをお買い上げのとき、交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に交換してください。

エアーフィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となります。

エアーフィルタのごみが中に入り込まないように、必ずプロジェクターを立てたまま掃除機でほこりを吸い取ってください。



エアーフィルタの交換

交換のしかた

- ① 本体の電源を切り、クールダウン*が終了してから、電源ケーブルをはずします。

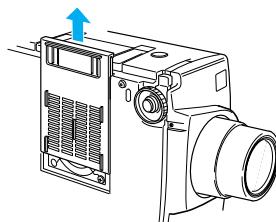
クールダウンの時間は、外気温等によって変わります。



ポイント >>

エアーフィルタのごみが
中に入り込まないように、
必ず本体のハンドルを上
にして立てた状態でおこ
なってください。

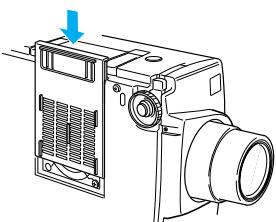
- ② エアーフィルタをはずします。



ポイント >>

つめの部分を先に入れて
からひっかけ部を押し付
けてセットします。

- ③ 新しいエアーフィルタをセットします。



ランプの交換

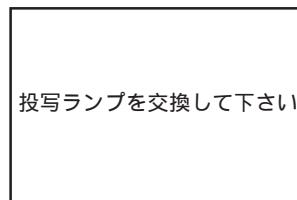
次のときは、ランプの交換をしてください。

交換用ランプはオプション品となっています。(型番 ELPLP08)

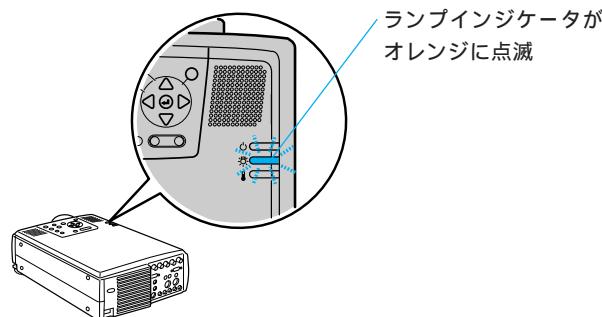
ポイント >>

- ・ランプが点灯しないときは交換時期にならなくてもランプの交換をしてください。
- ・初期の明るさや画質を維持するため、表示が出たら、なるべく早めにランプの交換をしてください。
- ・交換表示は、初期の明るさや画質を維持するため、約 2000 時間に設定されています。
- ・交換表示は、約 2000 時間で出ますが、個々のランプの特性や使用条件などで、2000 時間前に点灯しなくなるものがありますので、交換用ランプを準備しておくことをおすすめします。
- ・交換用ランプはエプソン OA サプライ株式会社 フリーダイヤル (0120) 251-528 および、お近くのエプソン商品取扱店でお買い求めください。

投写を開始したときに「投写ランプを交換して下さい」の表示が 30 秒間されたとき



ランプインジケータがオレンジに点滅したとき



初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

交換のしかた

ポイント >>

- ・ランプは確実に取り付けてください。このプロジェクターは安全のため、ファンをはずすと自動的に電源が切れます。ランプやファンの取り付けが不十分だと電源は入りません。
- ・ランプ交換時、エアーフィルタも交換用ランプに同梱されているエアーフィルターと交換してください。
- ・新しいランプを取り付けると自動的にランプ累積使用時間はリセットされ、0になります。

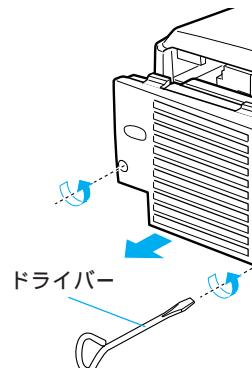
1 本体の電源を切り、クールダウン*が終了してから、電源ケーブルをはずします。

クールダウンの時間は、外気温等によって変わります。



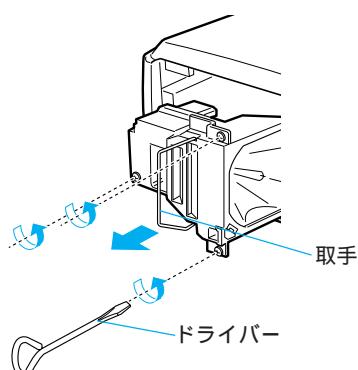
2 本体が十分冷えてからファンをはずします。

- ・本体が十分冷えるには約60分間必要です。
- ・ファン固定ねじ2個をオプションランプ付属のドライバーで回してゆるめ、はずします。



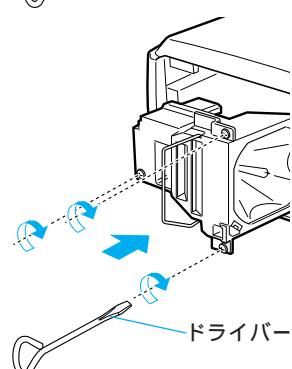
3 ランプを引き出します。

ランプ固定ねじ3個をオプションランプ付属のドライバーで回してゆるめ、取手をあこしてランプを引き出します。

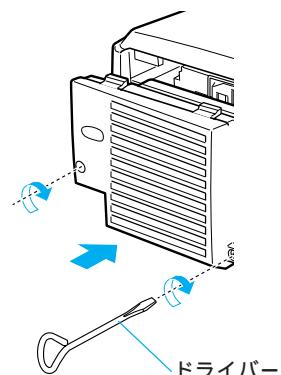


4 新しいランプを取り付けます。

方向を合わせ、奥に当たるまで差し込み、ランプ固定ねじ3個をオプションランプ付属のドライバーで回してしっかりとしめます。



- 5 ファンを取り付けます。
方向を合わせて差し込み、ねじ
2個をオプションランプ付属の
ドライバーでしっかりと回し
てしめます。

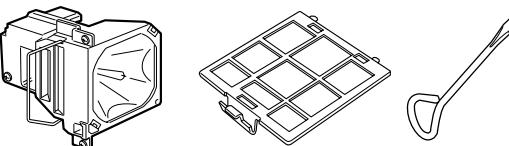
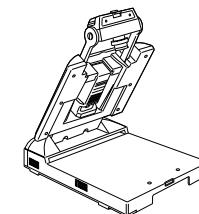
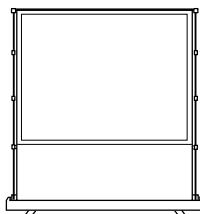
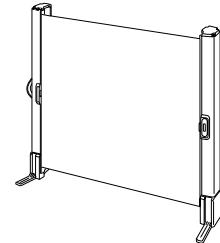
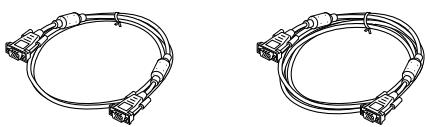
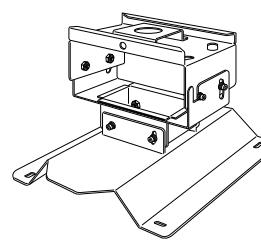


その他

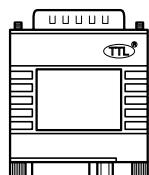
オプション品	164
輸送方法について	166
用語解説	167
索引	169
仕様	174
保証とアフターサービス	175
国際保証制度	176

オプション品

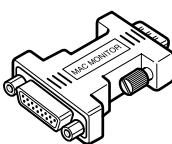
下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

<p>交換用ランプ (ELPLP08) 交換時期になる前にお買い求めになることをおすすめします。(エアーフィルタとドライバーが同梱されています。)</p> 	<p>マルチメディアビューアー (ELPDC01) 紙やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。</p> 
<p>60インチスクリーン (ELPSC07) 80インチスクリーン (ELPSC08)</p> 	<p>ポータブルスクリーン (ELPSC06) 50インチ用</p> 
<p>コンピュータケーブル 本機にコンピュータを2台接続するときに使います。(ミニD-Sub15pin/ミニD-Sub15pin用)</p>  <p>ELPKC02 (1.8m) (付属品と同等)</p> <p>ELPKC09 (3.0m) (付属品と同等)</p>	<p>天井プレート (ELPFC01) 天井金具の高さ調整用に使います。</p> 
<p>ELP Link ケーブルセット (ELPKC17) 本機にコンピュータを2台接続し、ELP Link IVを2台のコンピュータで操作するときに使います。</p>  <p>メインケーブル (付属品と同等)</p> <p>PS/2マウスケーブル (付属品と同等)</p> <p>シリアルマウスケーブル (付属品と同等)</p> <p>MACマウスケーブル (付属品と同等)</p>  <p>PCシリアルケーブル (付属品と同等)</p> <p>Macシリアルケーブル (付属品と同等)</p> <p>USBマウスケーブル (付属品と同等)</p>	<p>天吊り金具 (ELPMB02) 本機を天井に取り付けるとき使います。</p> 

MAC アダプタセット (ELPAP01)
本機に Macintosh を 2 台接続するときに使い
ます。

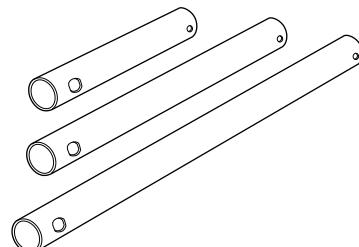


デスクトップアダプタ
(付属品と同等)

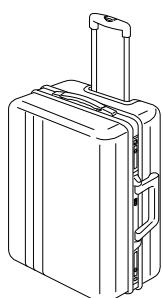


モニタアダプタ
(付属品と同等)

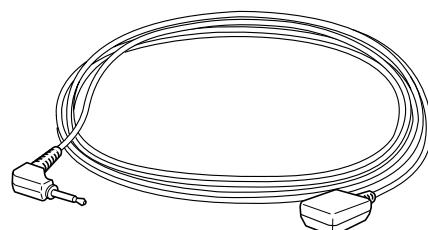
パイプ 370 (ELPFP01)
570 (ELPFP02)
770 (ELPFP03)



ハードトラベルケース (ELPKS15)
表面は強靭なプラスチックでできています。
航空機移動の場合、機内に、受託手荷物（機
内預け入れ）として預けることができます。



リモコンレシーバー (ELPST02)



輸送方法について

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、つぎのように取り扱ってください。

修理などでメーカーに輸送する場合

- ・お買い上げいただいたときの輸送箱をご利用ください。
- ・輸送箱がない場合には、本機に衝撃が伝わらないように、本体の周囲を緩衝材などで保護し、堅固な段ボール箱に入れて輸送してください。

くり返し輸送する場合

- ・オプション品のハードトラベルケース(ELPKS15)に入れ、精密機器輸送が可能な宅配業者に精密機器であることを告げ、輸送を依頼してください。
- ・その際、ハードトラベルケースに付属の「取扱い注意シート」をお貼りいただくことをおすすめいたします。

ハンドキャリングする場合

- ・オプション品のハードトラベルケース(ELPKS15)をご利用ください。
航空機での移動の場合に、機内へ受託手荷物(機内預け入れ)として預け入れしてください。
お客様が、輸送の際に発生した故障に関する保証はいっさいできかねますので、ご了承ください。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

A/V Mute	一時的に音声と映像を消すことをいいます。本プロジェクターでは [A/V Mute] ボタンを押すことにより音声と映像を消すことができます。再度 [A/V Mute] ボタンを押すか、音量を調整すると解除されます。
Remote端子	リモートコントロールにより複数の機器を操作できる、オプションのリモコンレシーバーを接続することができます。
SRS	3次元音響システムです。広がりと奥行きのある音声を聞くことができます。SPACE(広がり) CENTER(奥行き)をそれぞれ調整できます。
SVGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800画素(Pix)×縦600画素(Pix)のものを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280画素(Pix)×縦1,024画素(Pix)のものを呼びます。
Sync(同期)	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
VGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640画素(Pix)×縦480画素(Pix)のものを呼びます。
XGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024画素(Pix)×縦768画素(Pix)のものを呼びます。
USB	Universal Serial Busの略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
UXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,600画素(Pix)×縦1,200画素(Pix)のものを呼びます。
色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかかった色合いになります。

色差信号	ビデオ機器から赤・輝度(R-Y)、輝度(Y)、青・輝度(B-Y)の3つの信号を3本のケーブルで送る方式で、コンポジット信号(赤、緑、青の色信号と、その輝度信号を1本のケーブルで送る方式)とくらべて、よりきれいに投写することができます。
オペレーティングシステム	コンピュータを動かすために必要なソフトウェアです。本プロジェクターに付属のELP Link IVは、Windows95(日本語版)・Windows98(日本語版)・WindowsNT4.0(日本語版)・Macintosh漢字Talk7.5.1以降、のオペレーティングシステムを使用しているコンピュータで動作します。
クールダウン	Powerボタンを押しランプを消灯させても、ランプの冷却は引き続きおこなわれています。ランプが消灯してから冷却ファンが回転するのと同時に、操作ボタンでの操作ができなくなります。この間をクールダウンと呼びます。クールダウン時間は、外気温等によって変わります。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
盗難防止用ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定します。kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。
同期(Sync)	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。

13w3	25
3D サウンド	v
5BNC	23,25

アルファベット

(A) A/V Mute ボタン	7,9,95
A/V ケーブル	60
A/V ミュート時の画面設定	99
Acrobat Reader	128,138
Acrobat Reader のインストール	139
Acrobat Reader の使いかた	140
Audio1 端子	8
Audio Out 端子	8
Auto	73
Auto ボタン	10,37
(B) B/B-Y	8
BNC 端子	8,25
BNC 端子の入力モード	26,61
(C) CD-ROM の内容	128
Comp1 ボタン	10,30
Comp2/BNC ボタン	10,30,64
Computer1 端子	8
Computer ボタン	7,30
DAR	v
DOS/V 機	79,130
DPMS	109,146
DVD	64,66
(E) E-Zoom ボタン	9,81
ELP LinkIV	128,129
ELP LinkIV が動作しない	153
Enter ボタン	7,9
Esc ボタン	7,9

E ズーム	vi
(F) Freeze ボタン	9,94
(G) G/Y	8
(H) H/C Sync	8
Help ボタン	7,10,102,103
(I) IBM PC/AT 互換機	79,130
(K) Keystone ボタン	7
(L) L-Audio-R 端子	8
(M) Macintosh	79,130
Macintosh の動作環境	131
Macintosh へのインストール	136
MAC シリアルケーブル	130
MAC デスクトップアダプタ	23,24
MAC モニタアダプタ	23,24
Menu ボタン	7,10
Monitor Out 端子	8
Mouse/Com	80
Mouse/Com1/2 端子	8
(N) NEC PC98-NX	79,130
NTSC	v
(P) Pin P ボタン	10,92
PAL	v,73
PC シリアルケーブル	130
PDF ファイル	128,138
PDF ユーザーガイド	128,138
Power ボタン	7,9,29,57,63
Preset ボタン	10
Projector Software を使う	127
PS/2 マウスケーブル	79
(R) R/C ON OFF スイッチ	9,29,58,63
R/R-Y	8
Remote 端子	8
Resize ボタン	7,10,39,64,66

RGB	26,147
RGB 調整	44
RGB ポート	20
S S-Video ケーブル	60
S-Video 端子	8
S-Video ボタン	10
SECAM	v
Shift ボタン	7
SRS	v
SRS CENTER	55
SRS SPACE	55
SVGA	39
Sync ボタン	7
S 映像信号	60
T Tracking ボタン	7
U USB ポート	79
USB マウスケーブル	79
UXGA	v
V V Sync	8
VGA	v
Video 端子	8
Video ボタン	7,64
Volume ボタン	7,10
W Windows98/95	131,139
WindowsNT4.0	131,139
Windows の動作環境	131
Windows へのインストール	132
X XGA	39,40
Y YCrCb	61,147

アイウエオ

ア 明るさの調整	43,68
イ イルミネーション	31,65
色合い	70
色合いの調整	70
色温度	50,75
色の濃さ	69
色の濃さ調整	69
色の強さ調整	44
色の明暗の差を調整	44,69
インストール	131
ウ ウィンドウ表示	39
ウォームアップ時の映像設定	101
エ エアーフィルタ	6,158
エアーフィルタの交換	158
映像が写らない	146
映像が汚い	148
映像が切れる	150
映像が暗い	151
映像信号がないときの画面表示設定	..	107
映像の調整	32
映像の色が悪い	151
映像のシャープ感を調整	46,70
映像の調整メニュー	120
映像の調整	66
映像のトラブル	102
映像を一時的に停止する	94
エフェクト機能	82
エフェクトメニュー	86,121
オ オーディオ出力ポート	24
オーディオ接続ケーブル	27,62
音が出ない	152

音の奥行き調整	55	コンポジット映像信号	60
音の広がり調整	55	四角	82,88
オペレーションインジケータ	6,28,29,57,63,144	四角の設定	88
音声の調整	51	シャープネス	46,70
音声の調整メニュー	121	収納のしかた	58
音声のトラブル	103	終了しない	153
温度インジケータ	6,144,145	終了する	57
音量の調整	53	出荷時の初期値に戻す	48,56,71,91,110,114
カ カーソル/スタンプ	82,87	省電力状態	109
カーソル/スタンプの設定	87	情報メニュー	115,123
外部オーディオ機器	27,62	初期化	48,56,71,91,110,114
画像の調整	37,41,66,67	初期設定値一覧	117
カラー設定	49,74	シリアルマウス	79
キ キーストーン補正	v,34	シリアルマウスケーブル	79
ク クールダウン	57,109,146,153,158	白レベル	50,75
クリック	78	信号形式を見る	115
黒レベル	50,75	ズームリング	33
コ 高音の調整	54	スクリーン	14,17
高度な設定メニュー	111,122	スクリーンサイズ	17
子画面の位置を変更する	92	スタートアップスクリーン	101
子画面のサイズ	92	スタンバイ状態	57
子画面の入力ソース	93	スピーカ	6,24
子画面の表示サイズを変更する	92	セ 制御機能	129
子画面を表示する	92	接続できるコンピュータ	20
コントラスト	44,69	設定メニュー	106,121
コンピュータとの接続	23,130	全初期化	116
コンピュータの映像を写す	19	全初期化メニュー	116,122
コンピュータの音声	24	ソ 操作可能距離	11
コンピュータの解像度	20	操作パネル	6,7
コンピュータの対応モード表	21	掃除(エアーフィルタ)	157
コンポーネント(色差)映像信号	60	掃除(本体)	156
コンポーネントビデオ(色差)	v	掃除(レンズ)	156

装飾機能	vi,129
タ 単3形アルカリマンガン乾電池(LR6)	12
チ 調整した映像を登録	47
テ 低音の調整	54
電源コネクタ	28
電源端子	6,28
電源ケーブル	28
電池カバー	10
天吊り	15,16
天吊り投写時の設定	113
ト 同期	37,43
投写位置	32
投写距離	17
投写する	28,63
投写レンズ	17
盗難防止用ロック	6,168
トラッキング	37,42
二 入出力端子	6
入力解像度	46
入力解像度の設定	46
入力機器の画面表示設定	108
ノ ノートタイプ	30,147
ノートパソコン	20
ハ パーソナルコンピュータとの接続	23
ハードディスク空き容量	131
ハードトラベルケース	166
パワーケーブル設定	109
ハンドキャリング	166
ハンドル	6
ヒ ピクチャー・イン・ピクチャー	vi,92
左クリック	78
ビデオ機器との接続	60
ビデオ信号方式設定	72
ビデオボード	20
表示位置の調整	42,68
ピント	33
フ ファン	6
フォーカス	33
フォーカスリング	6,33
フットレバー	6,32,58
フリーズ機能	94
フリーライン	85,89
フリーラインの設定	89
プリセット	38
プリセット登録	47
プリンタポート	130
プレゼンター	78
プログラムのアンインストール	141
プロジェクターからの距離	17
フロントフット	6,32
ヘルプ機能	102
ホ ポインタ移動速度の設定	90
マ マーカー	84,88
マーカーの設定	88
マウスボタン	78
ミ 右クリック	78
ミニD-Sub	23,24,25
メ インケーブル	130
メッセージ	107
メニューの基本操作	124
メニューの言語を設定	112
メニューを使う	120
メモリ容量	131
モ モデムポート	130
モニタポート	20,23
ユ ユーザーロゴ設定機能	vi

ユーザーロゴメニュー 96,122

ユーザーロゴを投写する 95

輸送方法 166

用語解説 167

〔ラ〕 ランプインジケータ 6,144,145

ランプの交換 159

ランプの累積使用時間 115

〔リ〕 リア投写時の設定 113

リアフット 6

リサイ징表示 39

リモコン受光部 6

リモコンで操作できない 152

リモコンのボタンを光らせる 31,65

リモコン発光部 9,11

リモコンへの電池の入れかた 12

リモコンレシーバー 8,165

〔レ〕 レンズカバー 6,28

レンズシフト機能 vi,36

レンズシフトノブ 6,36

〔ワ〕 ワークステーション 25

ワイヤレスマウスリモコン v

ワイヤレスマウスを使う 78

仕様

品名	マルチメディアプロジェクター		
型名	ELP-9000/9000NL/8000/8000NL		
外形寸法	305 [W] x157 [H] x475 [D] mm (レンズ・フット含む)		
パネルサイズ	1.3型 (幅 27mm x 高さ 20mm x 対角 34mm)		
表示方式	ポリシリコン TFT		
駆動方式	< ELP-9000/9000NL > フルライン 24相ブロック順次書き込み方式 < ELP-8000/8000NL > フルライン 12相ブロック順次書き込み方式		
画素数	< ELP-9000/9000NL > 4,196,352個 ([横] 1,366x [縦] 1,024ドット x3) < ELP-8000/8000NL > 2,359,296個 ([横] 1,024x [縦] 768ドット x3)		
フォーカス調整	手動式		
ズーム調整	手動式 1: 約 1.4 リモコンによる E ズーム 1: 約 4		
(光源) ランプ	UHE ランプ 型番 ELPLP08 定格 220W		
音声最大出力	3 W x2 ステレオ		
スピーカー	2 個		
電源	AC100V 50/60Hz 約360W 100-120VAC 50/60Hz 4A 200-240VAC 50/60Hz 2A		
使用温度範囲	+5 ~ +40 (結露のないこと)		
保存温度範囲	-10 ~ +60 ("")		
質量	約 8.3kg		
接続端子	Computer 端子	1 系統	ミニ D-Sub 15pin (メス)
	Monitor Out 端子	1 系統	ミニ D-Sub 15pin (メス)
	Audio1 端子 (Computer1 用)	1 系統	ステレオミニジャック
	Audio2 端子 (Computer2 用)	2 系統	RCA ピンジャック x2 (L, R)
	Mouse/Com 端子	2 系統	DIN 13pin
	Video 端子	1 系統	RCA ピンジャック
	S-Video 端子	1 系統	ミニ DIN 4pin
	Audio 端子 (Video 用)	2 系統	RCA ピンジャック x2 (L, R)
	Audio 端子 (S-Video 用)	2 系統	RCA ピンジャック x2 (L, R)
	Remote 端子	1 系統	ステレオミニジャック
	BNC 接続端子	1 系統	5BNC (メス)
	Audio Out 端子	1 系統	ステレオミニジャック

・仕様は予告なしに変更するときがあります。

保証とアフターサービス

保証書(別に添付してあります)

この製品は保証書の内容によって保証されますので、よくお読みになり、記入事項をご確認のうえ大切に保管してください。

保証期間

プロジェクター本体ご購入日から1年間です。この期間に本製品に保証範囲内での故障があった場合、無償で修理いたします。

修理を依頼されるとき

1.修理を依頼される前に

この取扱説明書の「困ったときに」の表に従って調べていただき、それでも直らないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。
修理を販売店に依頼するときは、下記のことをお知らせください。

商品名 : マルチメディア・プロジェクター

故障状況 :

型番 : ELP-9000/9000NL/8000/8000NL(お買い上げ型番をご連絡ください。)

購入年月日 :

ご氏名 :

お電話番号 :

危険ですから、ご自分で絶対に修理しないでください。

2.修理内容

本製品は持ち込み修理となっております。本製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ちいただくか送付していただき、いったんお預かりして修理いたします。なお、技術者の派遣はございませんのでご了承ください。

保証期間中のとき、必ず保証書を添付してください。

輸送方法に関しては、166ページ「輸送方法について」をご覧ください。

修理依頼先・アフターサービスお問い合わせ先

お買い上げの販売店

エプソンサービスセンター（裏表紙の一覧表をご覧ください）

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(性能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

国際保証制度

本機にはワールドワイド保証がついており、購入された国以外の世界45ヶ国以上で修理が受けられます。製品に添付された保証書に記載の内容は、この国際保証の内容ではなく、その保証書の有効な国においてサービスを受ける際に適用されますことをご留意願います。

エプソンのマルチメディアプロジェクトの国際保証は以下の国においてのみ適用されます。

<欧州>

- ・オーストリア ・ベルギー ・ブルガリア ・クロアチア ・キプロス ・チェコ
- ・デンマーク ・フィンランド ・フランス ・ドイツ ・ギリシャ ・ハンガリー
- ・アイルランド ・イタリア ・ルクセンブルグ ・マケドニア ・オランダ
- ・ノルウェー ・ポルトガル ・ポーランド ・ルーマニア ・スロバキア ・スロベニア
- ・スペイン ・スウェーデン ・スイス ・トルコ ・イギリス ・ユーゴスラビア

<北米・中米>

- ・カナダ ・コスタリカ ・メキシコ ・アメリカ

<南米>

- ・アルゼンチン ・ブラジル ・チリ ・コロンビア ・ペルー ・ベネズエラ

<アジア・オセアニア>

- ・オーストラリア ・ホンコン ・日本 ・韓国 ・マレーシア ・シンガポール ・台湾

保証期間と条件は以下の記載によります。

- 1) この保証は、製品を購入した国で発行された保証書またはレシートを提示された場合に有効となります。
- 2) この保証は、この取扱説明書に記載された国のエプソン及びエプソン指定のサービス機関の条件に基づき実施されます。
 - ・保証期間は購入から12ヶ月。
 - ・保証の適用範囲はエプソンの保証の受入条件に沿ったスペアパーツ代と修理工賃
 - ・修理中の代替機の貸与は原則としておこなわない。
- 3) この保証は、下記の場合には適用されません。
 - a. 消耗品（ランプ）及びオプション品の故障の場合
 - b. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、輸送による損傷及び本書の内容に従わず取り扱われた場合
 - c. エプソン及びエプソン指定のサービス機関以外の第三者により、修理、変更された場合
 - d. エプソン純正品、及びエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合

ご注意

電源ケーブルについては購入国の電源状況に基づきセットされています。海外でご使用される場合には、必ずその国向けのエプソン純正電源ケーブルをお買い求めください。

エプソンマルチメディアプロジェクト国際保証連絡先リスト

この連絡先リストは1999年6月21日現在のものです。最新の連絡先は下記の各国の連絡先のWeb Home Pageを参照下さい。それらの記載が無い場合はメインのWeb Home Page www.epson.com をご覧ください。

<EUROPE>

AUSTRIA :

**EPSON Support Center
Austria**

Tech. Help Desk: 0810 200129
Web Address:
<http://www.epson.at>

BELGIUM :

EPSON Support Center

BeNeLux

Tech. Help Desk: 070 222083
Web Address:
<http://www.epson.be>

BULGARIA :

PROSOFT

6. AI Jendov Str.
BG-1113 Sofia
Tel: 00359.2.730.231
Fax: 00359.2.9711049
E-mail: Prosoft@internet-BG.BG

CROATIA :

Recro d.d.

Trg. Sportova 11
HR-10000 Zagreb
Tel: 00385.1.6350.777
Fax: 00385.1.6350.716
E-mail: recro@recro.hr
Web Address:
<http://www.recro.hr>

CYPRUS :

CTC- INFOCOM

6a. Ionos Str., Engomi
P. O. Box 1744
2406 Nicosia, Cyprus
Tel: 00357.2.458477
Fax: 00357.2.668490

CZECH :

EPRINT s.r.o.

Stresovicka 49
CZ-16200 Praha 6
Tel: 00420.2.20180610
Fax: 00420.2.20180611
E-mail: eprint@mbox.vol.cz

DENMARK :

Tech. Help Desk: 80881127

FINLAND :

Tech. Help Desk: 0800.523010
(note. Some geographical
areas excluded)

FRANCE :

EPSON France,
68 bis rue Marjolin, F-92300
Levallois,
Tech. Help Desk: 01.49.61.33.95
Web Address:
<http://www.epson.fr>

GERMANY :

**EPSON Deutschland
GmbH**

Zülpicher Straße 6
40549 Düsseldorf
Tech. Help Desk: 01805 234182
Web Address:
<http://www.epson.de>

GREECE :

Pouliadis Ass. Corp.

Aristotelous St. 3
GR-19674 Athens
Tel: 0030.1.9242072
Fax: 0030.1.9441066

HUNGARY :

R.A. Trade Kft.

Petöfi Sandor u. 64
H-2040 Budaör
Tel: 0036.23.415.317
Fax: 0036.23.417.310

IRELAND :

Tech. Help Desk: 01.6799016

ITALY :

EPSON Italia s.p.a.

Assistenza e Servizio Clienti
Viale F. Lli Casiraghi, 427
20099 Sesto
San Giovanni (MI)
Tech. Help Desk: 02.29400341
Web Address:
<http://www.epson.it>

LUXEMBURG :

EPSON Support Center

BeNeLux

Tech. Help Desk:
0032 70 222083
Web Address:
<http://www.epson.be>

MACEDONIA :

Rema Komputeri d.o.o.

St. Naroden Front 19a
lok 16
91000 Skopje/ Macedonia
Tel: 00389.91.118159
Fax: 00389.91.118159

NETHERLANDS :

EPSON Support Center

BeNeLux

Tech. Help Desk: 043 3515753
Web Address:
<http://www.epson.nl>

NORWAY :

Tech. Help Desk: 800.11828

PORTUGAL :

EPSON Portugal, S.A.

Rua do Progresso, 471-1
Perafita- Apartado 5132
Tech. Help Desk: 0808 200015
Web Address:
<http://www.epson.pt>

POLAND :

FOR EVER Sp. z.o.o.

Ul. Frankciska Kawy 44
PL- 01-496 Warszawa
Tel: 0048.22.638.9782
Fax: 0048.22.638.9786
E-mail: office@for-ever.com.pl

ROMANIA :

MB Distribution S.R. L.

162, Barbu Vacarescu Blvd.
Sector 2
RO- 71422 Bucharest
Tel: 0040.1.2300314
Fax: 0040.1.2300313
E-mail: office@mbd-epson.ro

SLOVAKIA :

Print Trade spol. s.r.o.

Cajkovskeho 8
SK-98401 Lucenec
Tel: 00421.863.4331517
Fax: 00421.863.4325656
E-mail: Prntrd@lc.psg.SK
Web Address:
<http://www.printtrade.sk>

SLOVENIA :

Repro Ljubljana d.o.o.
Smartinska 106
SLO-1001 Ljubljana
Tel: 00386.61.1853411
Fax: 00386.61.1400126

SPAIN :

EPSON IBERICA, S.A.
Avda. Roma 18-26, E-08290
Cerdanya del Vallès, Barcelona,
SPAIN
Tech. Help Desk: 902.404142
E-mail: soporte@epson.es
Web Address:
<http://www.epson.es>

SWEDEN :

Tech. Help Desk: 08 445 1258

SWITZERLAND :

EXCOM Service AG
Moosacher Str. 6
CH-8820 Wädenswil
Tel: 01.7822111
Fax: 01.7822349
Web Address:
<http://www.excom.ch>

TURKEY :

**Romar Pazarlama
Sanayi ve TIC. A.S.**
Rihtim Cad. No. 201
Tahir Han
TR-Karaköy-Istanbul
Tel: 0090.212.2520809
Fax: 0090.212.2580804

UNITED KINGDOM :

EPSON (UK) Ltd.
Campus 100, Maylands Avenue
Hemel Hempstead,
Herts, HP2 7TJ
Tech. Help Desk: 0990 133640
Web Address:
<http://www.epson.uk>

YUGOSLAVIA :

BS Procesor d.o.o.
Hadzi Nikole Zivkovica 2
11000 Beograd
Tel: 00381.11.639610
Fax: 00381.11.639610

**<NORTH, CENTRAL
AMERICA &
CARIBBEAN ISLANDS>**

CANADA :

Epson Canada, Ltd.
100 Mural Street, Suite 300
Richmond Hill, Ontario
CANADA L4B 1J3
Tel: 905-709-3839
Web Address:
<http://www.epson.com>

COSTA RICA :

Epson Costa Rica, S.A.
Embajada Americana,
200 Sur y 300 Oeste
San Jose, Costa Rica
Tel: (50 6) 296-6222
Web Address:
<http://www.epsoncr.com>

MEXICO :

Epson Mexico, S.A. de C.V.
AV. Sonora #150
Mexico, 06100, DF
Tel: (52 5) 328-4008
Web Address:
<http://www.epson.com.mx>

U. S. A. :

Epson America, Inc.
3840 Kilroy Airport Way
Long Beach, CA90806
Tel: (562) 276-4394
Web Address:
<http://www.epson.com>

<SOUTH AMERICA>

ARGENTINA :

Epson Argentina S.A.
Avenida Belgrano 964/970
(1192), Buenos Aires
Tel: (54 11) 4346-0300
Web Address:
<http://www.epson.com.ar>

BRAZIL :

Epson Do Brasil Ltda.
Av. Tucunare, 720
Tambore Barueri,
Sao Paulo, SP 06460-020
Tel: (55 11) 7295-1757
Web Address:
<http://www.epson.com.br>

CHILE :

Epson Chile S.A.
La Concepcion 322
Providencia, Santiago
Tel: (562) 236-2543
Web Address:
<http://www.epson.cl>

COLOMBIA :

Epson Colombia Ltda.
Diagonal 109, 15-49
Bogota, Colombia
Tel: (57 1) 523-5000
Web Address:
<http://www.epson.com.co>

PERU :

Epson Peru S.A.
Av. Del Parque Sur #400
San Isidro, Lima, Peru
Tel: (51 1) 224-2336
Web Address:
<http://www.epson.com>

VENEZUELA :

Epson Venezuela S.A.
Calle 4 con Calle 11-1
La Urbina Sur
Caracas, Venezuela
Tel: (58 2) 241-0433
Web Address:
<http://www.epson.com.ve>

<ASIA & OCEANIA>

AUSTRALIA :

**EPSON AUSTRALIA PTY
LIMITED**
70 Gibbes Street Chatswood
NSW 2067 AUSTRALIA
Tel: 1300 361 054
Web Address:
<http://www.epson.com.au>

HONGKONG :

**EPSON Technical Support
Centre
(Information Centre)**
Rooms 4706-4710,
China Resources Building,
26 Harbour Road, Wan Chai,
HONG KONG
Tech. Hot Line: (852) 2585 4399
Fax: (852) 2827 4383
Web Address:
<http://www.epson.com.hk>

JAPAN :

**SEIKO EPSON
CORPORATION
SHIMAUCHI PLANT**
VD Customer Support Group:
4897 Shimauchi, Matsumoto-shi,
Nagano-ken, 390-8640 JAPAN
Tel: 0263-48-5438
Fax: 0263-48-5680
<http://www.i-love-epson.co.jp>

KOREA :

EPSON KOREA CO., LTD
17F HANSOL Bldg., 736-1,
Yaoksam-dong Kangnam-gu,
Seoul, 135-080, KOREA
Tel: 2-553-3515
Fax: 2-5584271
<http://www.epson.co.kr>

MALAYSIA :

**EPSON TRADING
(MALAYSIA) SDN. BHD.**
No. 21 Jalan U 1/19, Seksyen U1,
Hicom-grenmarie Industrial
Park, 40150 Shan Alam,
Selangor Darul Ehsan
Tel: 03-5191366
Fax: 03-5191386

SINGAPORE :

**EPSON SINGAPORE
PTE. LTD.**
401 Commonwealth Drive
#01-01 Haw Par Technocentre
SINGAPORE 149598
Tel: 4722822
Fax: 4726408

TAIWAN :

**EPSON Taiwan
Technology & Trading Ltd.**
10F, No.287, Nanking East Road,
Section 3, Taipei, Taiwan,
China
Tel: 02-2717-7360 ext. 327
Fax: 02-2713-2155
<http://www.epson.com.tw>

ご注意

- (1)本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2)本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願ひいたします。
- (4)運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5)本製品をお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソン及びエプソン指定の者（裏表紙参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6)エプソン純正品、及びエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7)本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルをお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

商標について

NEC, PC98-NXシリーズは日本電気株式会社の商標です。

IBM, DOS/V, PS/2は、International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。

Macintoshは、Apple Computer Inc.の登録商標です。

Windowsは米国マイクロソフト社の商標です。

Adobe, Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。

SRSとTMは米国、および選択された諸外国におけるSRS Labs. Incの商標です。SRSは、SRS Labs. Incのライセンスの下に製品化されています。

EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約申込先

修理に関するお問い合わせ、出張修理、保守契約のお申し込みは、下記フィールドセンター(FC)までご連絡下さい。

拠点名	電話番号	住 所	管轄地域
札幌FC	(011)222-7590	〒060-0034 札幌市中央区北四条東1丁目 札幌フコク生命ビル10階	北海道全域 青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島
仙台FC	(022)214-7625	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-1 仙台セントラルビル4階	長野・山梨・新潟 東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・群馬・茨城
松本FC	(0263)54-7302	〒399-0785 塩尻市広丘原新田88 セイコーエプソン横 広丘事業所内エプソンシステムプラザ3階	愛知・岐阜・三重 静岡
東京FC (出張修理・保守契約)	(042)354-0750	〒183-0055 東京都府中市府中町1-14-1 朝日生命府中ビル8階	石川・富山・福井 大阪・奈良・和歌山 兵庫
名古屋FC	(052)202-9510	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目16-15 名古屋フコク生命ビル4階	京都・滋賀 山口・広島 鳥取・島根・岡山・広島(福山市) 香川・愛媛・高知・徳島 福岡・佐賀・長崎・大分 福岡北部 熊本 鹿児島・宮崎 沖縄
静岡FC	(054)251-1360	〒420-0851 静岡市黒金町11-7 三井生命静岡駅前ビル8階	
金沢FC	(076)224-7084	〒920-0031 金沢市広岡1-1-35 金沢第二ビル8階	
大阪FC	(06)6397-0930	〒532-0003 大阪市淀川区原3-5-24 新大阪第一生命ビル6階	
神戸FC	(078)332-9905	〒650-0034 神戸市中央区元町69 三宮第一生命ビル2階	
京都FC	(075)255-6891	〒604-8187 京都市中京区御池東洞院西入る笹屋町435 京都御池第一生命ビル4階	
広島FC	(082)222-3482	〒730-0013 広島市中区八丁堀14-4 広島八丁堀第一生命ビル11階	
岡山FC	(086)223-3331	〒700-0904 岡山市柳町1-12-1 三井海上岡山ビル2階	
四国FC	(087)851-6728	〒760-0023 高松市寿町2-3-11 高松丸田ビル6階	
福岡FC	(092)622-8626	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3階	
北九州NFC	(093)541-3155	〒802-0003 北九州市小倉北区米町1-11-21 大鏡明生小倉ビル8階	
熊本FC	(096)326-4519	〒860-0806 熊本市花畠町12-24 フコク生命熊本ビル3階	
鹿児島FC	(099)254-5913	〒890-0053 鹿児島市中央町9-1 西鹿児島第一生命ビル3階	
沖縄FC	(098)858-3301	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関ビル4階	

●修理品送付・持ち込み・ドア to ドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込み頂くか、下記修理センターまで送付願います。

機点名	所 在 地	ドア to ドアサービス 受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1丁目 札幌フコク生命ビル10Fエプソンサービス株	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス株	0263-86-9995 ドア to ドア専用 受付電話	0263-86-7660
日野修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス株	365日受付可	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス株	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関ビル2F エプソンサービス株	同 右	098-852-1420

*「ドア to ドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡下さい。

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承下さい。【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

●プロジェクトインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570-00-4110(ナビダイヤル)※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日・弊社指定日を除く)

※プロジェクトインフォメーションセンターへは携帯電話・PHSからはご利用頂けません。携帯電話・PHSのお客様は、(0263)54-5800にお問い合わせください。

※ナビダイヤルとは、全国どこからでも同一の電話番号でかけることができるNTTの電話サービスの名称です。

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221-7911 東京(042)585-8500 名古屋(052)202-9532 大阪(06)6397-4359 福岡(092)452-3305

●エプソンデジタルカレッジ(スクール)に関するお問い合わせ・お申し込み

東京 TEL(03)5295-4169 FAX(03)5295-4168 【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:00(祝日・弊社指定休日を除く)

大阪 TEL(06)6634-8570 FAX(06)6634-2570 【受付時間】水曜日を除く毎日10:00～12:00/13:00～17:30(弊社指定休日を除く)

※スケジュールはホームページ、FAXインフォメーションでもご確認できます。

●ショーラーム ※詳細はホームページでもご確認できます。

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル

【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア秋葉原 〒101-0021 東京都千代田区神田3-13-7

【開館時間】毎日 10:00～18:00(弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋

【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア大阪日本橋 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-4-20 エスビル

【開館時間】毎日 10:00～18:00(弊社指定休日を除く)

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認下さい。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2000.6.1